The essentials of imaging

bizhub C35

プリンタ/コピー/スキャナ ユーザーズガイド

はじめに

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。bizhub C35 は、Windows、Macintosh、Linux の環境でお使いいただくのに最適なプリンター複合機です。

登録商標および商標

Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Adobe、Photoshop は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Apple は、米国 Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DIC は、DIC 株式会社の登録商標です。

ETHERNET は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

IEEE は、The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Mac および Mac OS は、米国 Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

NETWARE は、Novell, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

TOYO は、東洋インキ製造株式会社の登録商標です。

Windows、Windows NT、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の商標および登録商標です。

PageScope、bizhub は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアの所有権について

本機に添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へもコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

著作権について

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響ついて、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンターシステムの一部を構成するソフトウェア（以下、「プリンティングソフトウェア」）、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピューターシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それらすべてのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピューターにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピューターにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェ

アが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピューターにインストールすることができます。

4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションに対する権利および所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人に本ソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物のすべてを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様は本ソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、およびそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利はすべて KMBT およびそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行にしたがって使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、すべての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KMBT およびそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT およびそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第 3 者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

Adobe 社カラープロファイルについて

Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）
カラープロファイル使用許諾契約書

ユーザー様への注意：本契約書をよくお読みください。本ソフトウェアの全部または一部を使用した場合、本ソフトウェアのすべての諸条件ならびに本契約書のすべての諸条件を受諾したものと見なされます。本契約書の条件に同意できない場合は本ソフトウェアの使用をおやめください。

第 1 条　定義

本契約書において「Adobe 社」とは、合衆国デラウェア州法人 Adobe Systems Incorporated（345 Park Avenue, San Jose, California 95110）を意味します。「本ソフトウェア」とは、本契約書が添付されたソフトウェアならびにその関連品目を意味します。

第 2 条　ライセンス

ユーザーが本契約書の諸条件に従うことを条件として、Adobe 社は本ソフトウェアの使用、複製、公での展示を行うライセンスを全世界的、非排他的、譲渡不能、ロイヤルティ不要のものとしてユーザーに許諾します。さらに Adobe 社は、（a）本ソフトウェアがデジタル画像ファイルに埋め込まれた状態であり、しかも（b）スタンドアローン・ベースである場合に限り、本ソフトウェアを配布する権利をユーザーに許諾します。それ以外の場合には本ソフトウェアを配布することはできません。たとえば、何らかのアプリケーションソフトウェアに組み込まれている状態やそうしたソフトウェアにバンドルされている状態では、本ソフトウェアを配布することはできません。個々のプロファイルは、いずれも ICC プロファイル記述文字列によって参照されている必要があります。ユーザーは本ソフトウェアを改変してはいけません。Adobe 社は本ソフトウェアまたはその他品目のアップグレードや将来のバージョンなど、本契約に基づいて何らかの支援を提供する義務を一切負いません。本ソフトウェアの知的所有権に関するいかなる権原も、本契約の条項に基づいてユーザーに移転することは一切ないものとします。ユーザーは本契約に明示的に定められている権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も取得しないものとします。

第 3 条　配布

ユーザーが本ソフトウェアを配布する場合、以下を了解した上で配布を行ったものと見なされます。すなわち、その配布（ユーザーによる本第 3 条の不履行を含み、かつそれに限定されない）に起因して何らかの賠償請求、訴訟、その他の法的措置が行われ損失、損害、費用が発生した場合、それに対してはユーザーが抗弁を行い、損失を補填し、Adobe 社を完全に保護することにユーザーが同意したと見なされることになります。またユーザーが本ソフトウェアをスタンドアローン・ベースで配布する場合、ユーザーは本契約またはユーザー自身の使用許諾契約の諸条件に

基づいて配布を行うものとし、この場合におけるユーザー自身の使用許諾契約は、(a) 本契約の諸条件を遵守している、(b) 明示的にせよ黙示的にせよ、すべての保証および条件付与を有効に排除している、(c) 損害に対するすべての責任を Adobe 社に代わって有効に排除している、(d) 本契約と異なるすべての規定は、Adobe 社ではなくユーザーが単独で提供するものであることを明記している、(e) 本ソフトウェアがユーザーまたは Adobe 社から入手可能であることと、ソフトウェアの交換に一般に用いられている媒体で本ソフトウェアを入手する妥当な方法とを記述している、ものでなければなりません。配布する本ソフトウェアには、Adobe 社の著作権表示を、Adobe 社がユーザーに提供した本ソフトウェアにおけるのと同様に行う必要があります。

第 4 条　保証の排除

Adobe 社は本ソフトウェアを「現状のまま」ユーザーに使用許諾しています。したがって本ソフトウェアが特定目的に適合しているかどうか、あるいは特定の結果を生み出すことができるかどうかについて、Adobe 社は一切の表明を行いません。また Adobe 社は、本契約に起因する損失または損害、あるいは本ソフトウェアまたはその他資料の配布または使用に起因する損失または損害について、一切の責任を負わないものとします。Adobe 社およびそのサプライヤは、ユーザーが本ソフトウェアを使用した場合のパフォーマンスまたは結果について一切保証しません。ただしその居住地域においてユーザーに適用される法律が排除または制限を禁じている保証、条件付与、表明、約定については、その限りではないものとします。
Adobe 社およびそのサプライヤは、制定法、普通法、慣習法、慣行その他いかなる法的根拠に基づくかを問わず、また明示的であるか黙示的であるかを問わず、第三者の権利の不侵害、完全性、品質に対する満足、特定目的への適合性などを含みかつそれに限定されず、一切の保証、条件付与、表明、約定を行いません。ただしユーザーは、法域によって異なるその他の権利を保有する場合もあります。第 4 条、第 5 条、第 6 条の規定は、いかなる原因で本契約が終了したにせよ、その終了後も効力が継続するものとします。ただしこの規定は、本契約の終了後も本ソフトウェアを継続使用する権利を黙示するものではなく、またそうした権利を設定するものでもありません。

第 5 条　責任の制限

Adobe 社またはそのサプライヤは、ユーザーがこうむった損害、請求、費用、派生的損害、間接的損害、付随的損害、利益の喪失、貯蓄の喪失に対して、いかなる場合もその責任を負わないものとし、たとえ Adobe 社の代表者がそうした損失、損害、請求が発生する可能性や第三者による請求の事実を助言されていた場合であっても、責任を負わないものとします。以上の制限および排除の規定は、ユーザー居住地の法律上許容される限度で適用されるものとします。本契約に起因または関連して Adobe 社またはそのサプライヤが負う賠償責任の総額は、本ソフトウェアに対し支払いが行われた金額を上限とします。ただし Adobe 社の過失または不法行為（詐欺）によって生じた死亡または傷害については、本契約のいかなる規定によっても、Adobe 社がユーザーに対して負う責任は制限されません。Adobe 社がサプライヤに代わって行為するのは、本契約の規定のとおりに義務、保証、責任を

排除、除外、制限することが目的である場合に限られており、それ以外の場合または目的でサプライヤのために行為することはありません。

第 6 条　商標

Adobe および Adobe のロゴは、合衆国およびその他の国における Adobe 社の商標または登録商標です。参照のために使用する場合を除き、Adobe 社による別個の書面による許可を事前に得ていない場合には、ユーザーは上記の商標あるいは Adobe 社のその他の商標またはロゴを使用することはできません。

第 7 条　期間

本契約はその終了まで効力が存続するものとします。ユーザーが本契約の規定遵守を怠った場合、Adobe 社はただちに本契約を終了させる権利を有します。そうした契約終了時には、ユーザーはその占有下または管理下にある本ソフトウェアの全体コピーおよび部分的コピーのすべてを、Adobe 社に返却しなければなりません。

第 8 条　政府規制

本ソフトウェアの一部が合衆国輸出管理規則その他の輸出に関する法律、制限、規制（以下「輸出法」という）において輸出規制品目と認められた場合、ユーザーは自身が輸出規制対象国（イラン、イラク、シリア、スーダン、リビア、キューバ、北朝鮮、セルビアなど）の国民ではなく、しかもそれらの国に居住していないこと、さらに、ユーザーが本ソフトウェアを受領することが輸出法に基づく何らかの理由で禁止されているのではないことを、表明および保証する必要があります。本ソフトウェアを使用する一切の権利は、本契約の諸条件の遵守を怠るとただちに失われるという条件に基づき提供されています。

第 9 条　準拠法

本契約は、カリフォルニア州内でその住民同士が締結、履行する契約に適用される法律など、カリフォルニア州で施行されている実体法に準拠し、それに基づいて解釈されるものとします。本契約には、いかなる法域の抵触法の原則も、あるいは「国際物品売買契約に関する国連条約」も適用されないものとし、それらの適用を明示的に排除します。本契約に由来、起因、関連して発生したすべての紛争は、合衆国カリフォルニア州サンタクララ郡において解決を図るものとします。

第 10 条　一般条項

Adobe 社による事前の書面による同意がある場合を除き、ユーザーは本契約に基づいて得た権利または義務を譲渡することはできません。本契約のいかなる規定も、Adobe 社、その代理人、その被用者の側のいかなる行為または黙認によっても放棄されたと見なされることはないものとしますが、正当な権限を有する Adobe 社社員が署名を行った法律的文書による場合にはその限りではないものとします。本ソフトウェアに含まれるその他の合意と本契約とで異なる言語が用いられている場合、その他の合意における条項を適用します。ユーザーまたは Adobe 社が弁護士を雇用し、本契約に依拠または関連する権利の実現を図った場合、勝訴当事者は妥

当な弁護士費用を回収する権利を有するものとします。ユーザーは、本契約を読み了解したこと、さらに本契約がユーザーと Adobe 社との完全で排他的な合意であり、ユーザーに対する本ソフトウェアの使用許諾に関し、口頭または書面によって以前に両者間で成立したあらゆる合意に優先するものであることを認めるものとします。正当な権限を有する Adobe 社社員が書面に署名を行い、Adobe 社が明示的な同意を示している場合を除き、本契約における条項のいかなる改変も Adobe 社に対して効力を持たないものとします。

東洋インキ標準色コート紙プロファイル（TOYO Offset Coated 2.1）

東洋インキ標準色コート紙プロファイル（TOYO Offset Coated 2.1）は、ICC プロファイル規格に準拠したデバイスプロファイルで、東洋インキ製造株式会社が作成した標準オフセット印刷のプロファイルです。

「東洋インキ標準色コート紙」とは

東洋インキ製造株式会社の枚葉インキを用い、東洋インキ製造株式会社が標準と考えるオフセット枚葉印刷の再現色を、コート紙への実機印刷により定めたものです。「東洋インキ標準色コート紙」は日本国内におけるプロセスカラー印刷の色標準である「Japan Color」に準拠しています。

必要システム構成

ICC プロファイルを使用するカラーマネージメントシステムを持つシステムまたはアプリケーションが必要です。

東洋インキ標準色コート紙プロファイルの使用条件および注意事項

1. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルを使用して再現されたコンピュータビデオシミュレーションの色やカラープリンター等により出力された色は、「東洋インキ標準色コート紙」と必ずしも一致するものではありません。
2. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルを使用し、または使用できなかったことにより生じた一切の損害に関して、東洋インキ製造株式会社はいかなる責任も負いかねます。
3. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルの一切の著作権は東洋インキ製造株式会社が所有しており、東洋インキ製造株式会社の事前の書面による許可無く、本データを譲渡、提供、転貸、頒布、公開せず、第三者に使用させることもできません。
4. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルに関して、東洋インキ製造株式会社はいかなる問い合わせも受けかねます。

5. ドキュメント中に記載されている会社名、製品名は、関係各社の商標または登録商標です。

本プロファイルは、東洋インキ製造株式会社が GretagMacbeth 社製ソフトウエア ProfileMaker を使用して作成し、頒布に関して GretagMacbeth 社の許諾を得ています。

DIC 標準色プロファイル使用許諾契約

本使用許諾契約（以下本契約といいます）をよくお読み下さい。本契約は、お客様（個人、法人の別を問いません）と日本国法人 大日本インキ化学工業株式会社（以下 DIC といいます）との間に締結される法的な契約です。お客様が本契約の条項に同意されない場合には、DIC 標準色プロファイル（DIC Standard Color SFC1.0.3、DIC Standard Color SFM1.0.3、DIC Standard Color SFU1.0.3、DIC Standard Color WebC1.0.1、DIC Standard Color SFCFM1.0.2；以下総称してプロファイルといいます）を一切使用することはできません。

1. 使用許諾

DIC は、お客様に対して、本契約の各条項に定める条件に従ったプロファイルの使用のみを無償にて許諾します。プロファイルに関する商標権、著作権等その他の知的財産権を含む権利は DIC に留保され、その利用を許諾するものではありません。

2. 使用方法およびその制限

本契約により、お客様は、プリンタにインストール済みのプロファイルを使用することができます。また、お客様は、プリンタまたはプリンタ用オプションであるハードディスクドライブのいずれか一台にプロファイルをインストールし、かつ使用することができます。

お客様は、プロファイルの全部またはその一部を、複製、解析、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、修正、変換、翻訳、再使用許諾、譲渡、貸与、リース、頒布等をすることはできません。また、お客様は、プロファイルの類似品を製作し、または何らかのソフトウェアを改良するために、プロファイルを利用することはできません。

プロファイルは、人身損害、重大な物理的損害または環境上の損害をもたらす可能性のある用途に使用されることを意図するものではないことをお客様は承認するとともに、このような用途にプロファイルを使用しません。

DIC は、お客様が本契約の各条項のいずれか 1 つにでも違反した場合、本契約を通知なく、お客様が違反した時点に遡って解除することができるものとします。この場合には、お客様は、速やかにプロファイルを全て破棄しなければなりません。

3. 不保証

DIC は、お客様がプロファイルを無償で使用されることに鑑み、明示または黙示を問わず、プロファイルの商品価値および使用可能性、特定目的に対する適合性、な

らびに第三者の権利侵害を侵害しないこと等その他一切の保証を行うことなく、プロファイルをお客様に提供します。これらについての一切のリスクはお客様のご負担とさせていただきます。DIC は、プロファイルに欠陥または瑕疵が発見された場合であっても、有償または無償を問わず、これらの欠陥または瑕疵の修正、修復を保証するものではありません。

4. 免責

過失を含むいかなる場合であっても、DIC は、プロファイルに起因する、または関連する付随的、特別もしくは間接損害、または逸失利益の賠償責任等その他一切の責任を負いません。たとえ、DIC が、これらの損害の可能性について事前に知らされていた場合も同様です。

5. 残存条項

第 3 条（不保証）および第 4 条（免責）の規定は、第 2 条（使用方法およびその制限）に基づき本契約が解除され、お客様がプロファイルを全て破棄された後もなお有効に存続するものとします。

6. 準拠法、契約の分離性および管轄裁判所

本契約は、日本の法律に準拠し、同法律に従って解釈されます。何らかの理由により、管轄権を有する裁判所が本契約のいずれかの条項またはその一部について効力を失わせた場合であっても、本契約の他の条項は依然として完全な効力を有するものとします。また、本契約に関する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属合意管轄裁判所とします。

7. 完全な合意

本契約は、プロファイルの使用について、お客様と DIC の取り決めのすべてを記載するものです。

安全にお使いいただくために

製品を安全にお使いいただくために、必ず以下の「取扱上の注意」をよくお読みになってください。また、この説明書の内容を十分理解してから、本機の電源を入れるようにしてください。

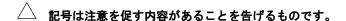
■　このユーザーズガイドはいつでも見られる場所に大切に保管ください。

絵記号の意味

このユーザーズガイドおよび製品への表示では、製品をただしくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。

記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。

⚠警告

	● 本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。 ● 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。
	● 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。 ● この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。 ● 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っぱったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。
	● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。 ● タコ足配線をしないでください。コンセントに表示された電流値を超えて使用すると、火災、感電のおそれがあります。 ● 原則的に延長コードは使用しないで下さい。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご相談ください。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。

	必ずアース接続してください。アース接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。 ● アース（接地）接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。 ● アース（接地）接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。 アース線を接続する場合は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。 ● コンセントのアース端子 ● 接地工事を施してある接地端子（第 D 種） 次のような所には絶対にアース線を取り付けないでください。 ● ガス管（ガス爆発の原因になります） ● 電話専用アース（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります） ● 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）
	本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。
	● 本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。 ● 本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。
	トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

⚠注意

	● 本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。 ● 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
	● 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。インストレーションガイドで固定脚を使用するよう指示がある製品については、固定脚で本体を固定してください。動いたり、倒れたりして怪我の原因になることがあります。
	本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。
	● 本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。 ● 本製品の周囲で引火性のスプレイや液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。
	● トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。 ● トナーカートリッジや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。
	● プラグを抜くときは電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ● 電源プラグのまわりに物を置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。

	本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 連休等で本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	● 本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。 ● 本製品を狭い部屋等で使用される場合は、定期的に部屋の換気をしてください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性があります。 ● 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

換気について

換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量の印刷を行うと、オゾンなどの臭気が気になり、快適なオフィス・家庭環境が保てない原因となります。また、印刷動作中には、化学物質の放散がありますので、換気や通風を十分行うように心掛けてください。

物質エミッションについて

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No.117「複写機 Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております純正品を使用し、複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ122:2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

2 次電池（充電式リチウム電池）について

本機では、2 次電池は一切使用しておりません。

印刷されたものの保存について

- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当たらないところに保管してください。
- 印刷されたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けることがあります。
- 通常の白黒印刷に比べてトナーの層が厚いため、強く折り曲げると折り曲げたところでトナーが剥がれることがあります。

複製禁止事項

法律で禁止されている紙幣などの複製を防止するため本機には、偽造防止機能を搭載しています。
本機は偽造防止機能を搭載しているため、画像に若干のノイズが入ったり、画像データの保存が禁止されたりすることがあります。

もくじ

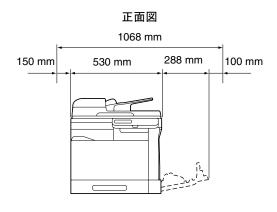
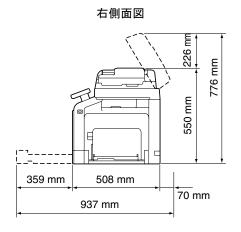
はじめに

1

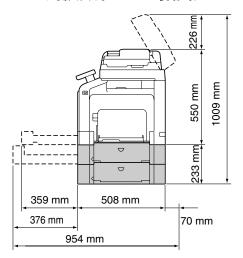
お使いになる前に

設置スペース

操作、消耗品の交換、点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。

正面図

右側面図

単位：mm

右側面図（オプション装着時）

イラストの網掛け部はオプションです。

各部の名称

以下の図は、本書で使用している本機各部の名称を示しています。

前面

1 操作パネル

2 自動原稿送り装置（ADF）

2-a ADF カバー

2-b ガイド板

2-c 原稿給紙トレイ

2-d 原稿排紙トレイ

2-e 原稿ストッパー

リーガルサイズの原稿を ADF で読み込む場合、原稿ストッパーを倒します。

3 USB ホストポート

USB ホストポートには USB ハブを接続できます。また、USB ハブには同時に USB メモリーと認証装置（IC カードタイプ）を 1 つずつ接続することができます。

4 トレイ 1（手差しトレイ）

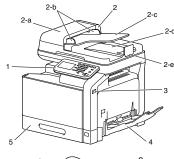
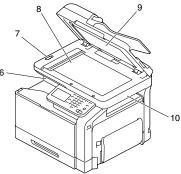
5 トレイ 2

6 排紙トレイ

7 スキャナーロックレバー

8 原稿ガラス

9 原稿カバーパッド

10 スキャナーユニット

11　定着ユニット FU-P02

12　右ドア

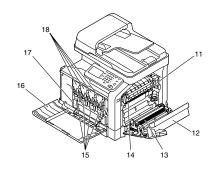
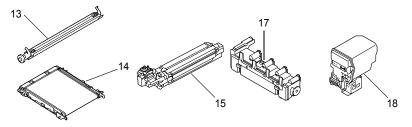
13　転写ローラー TF-P04

14　転写ベルトユニット TF-P05

15　イメージングユニット

16　前ドア

17　廃トナーボトル WB-P03

18　トナーカートリッジ

背面

1　電源スイッチ

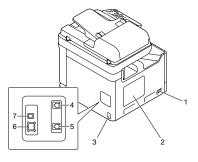
2　背面ドア

3　電源インレット

4　回線コネクター（LINE）

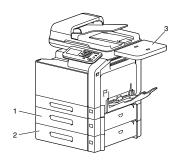
5　外付け電話機接続用コネクター（TEL）

6　10Base-T/100Base-TX/1000Base-T イーサネット（Ethernet）インターフェースポート

7　USB ポート

前面（オプション装着時）

1　給紙ユニット PF-P08
（トレイ 3）

2　給紙ユニット PF-P08
（トレイ 4）

3　ワーキングテーブル WT-P01

操作パネルの角度のかえかた

操作パネルは、上下 3 つの位置に設定できます。使いやすい位置を選んでご使用ください。

1 操作パネルの横側を持ち、操作パネルを上下に動かします。

操作パネルを下向きの角度に動かす場合は、一度上向きに動かしてから、ゆっくり下げてください。

操作パネルを動かす場合に
タッチパネルを持っての移
動は行わないでください。

印刷

同梱されているトナーカートリッジを本機に未装着の状態で印刷すると、本体に損傷を与える可能性がありますので、使用時は必ず、同梱のトナーカートリッジを装着の上、ご使用ください。

Drivers CD-ROM について

プリンタードライバー（PostScript ドライバー）

プリンタードライバー	機能
Windows 7/Vista/Server 2008/XP/Server 2003/2000（32bit）	給紙・排紙設定や複雑なレイアウトなど、本機の印刷機能を設定できます。 詳しくは、「プリンタードライバー設定画面を表示する（Windows）」（p.183）をごらんください。
Windows Server 2008 R2/7/Vista/Server 2008/XP/Server 2003（64bit）	

印刷時に PPD ファイルを指定する必要があるアプリケーション（PageMaker、Coral DRAW 等）用に、専用の PPD ファイルを用意しています。
Windows Server 2008 R2/7/Vista/Server 2008/XP/Server 2003/2000 で、印刷時に PPD ファイルを指定する場合は、Drivers CD-ROM に収録されている、専用の PPD ファイルをご利用ください。

プリンタードライバー（PCL ドライバー）

プリンタードライバー	機能
Windows 7/Vista/Server 2008/XP/Server 2003/2000（32bit）	給紙・排紙設定や複雑なレイアウトなど、本機の印刷機能を設定できます。 詳しくは、「プリンタードライバー設定画面を表示する（Windows）」（p.183）をごらんください。
Windows Server 2008 R2/7/Vista/Server 2008/XP/Server 2003（64bit）	

プリンタードライバー（XPS ドライバー）

プリンタードライバー	機能
Windows 7/Vista/Server 2008（32bit）	給紙・排紙設定や複雑なレイアウトなど、本機の印刷機能を設定できます。 詳しくは、「プリンタードライバー設定画面を表示する（Windows）」（p.183）をごらんください。
Windows Server 2008 R2/7/Vista/Server 2008（64bit）	

プリンタードライバー（PPD ファイル）

ファイル	機能
Macintosh OS X（10.2.8/10.3/10.4/10.5/10.6） Macintosh OS X Server (10.2.8/10.3/10.4/10.5/10.6)	Macintosh OS X、Linux のプリンタードライバーを使用する場合に必要です。 Macintosh、Linux 用の PPD ファイルについては、「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
Red Hat Enterprise Linux 5 Desktop SUSE Linux Enterprise Desktop 10	

スキャナードライバー

スキャナードライバー	機能
TWAIN ドライバー Windows 7/Vista/Server 2008/XP/Server 2003/2000	色の設定やサイズの調整など、スキャナーの機能を設定できます。詳しくは、「Windows TWAIN ドライバーの設定」（p.251）または「Macintosh TWAIN ドライバーの設定」（p.255）をごらんください。
TWAIN ドライバー Mac OS X（10.3.9/10.4/10.5/10.6）	
WIA ドライバー Windows 7/Vista/Server 2008/XP	色の設定やサイズの調整など、スキャナーの機能を設定できます。詳しくは、「Windows WIA ドライバーの設定」（p.254）をごらんください。
WIA ドライバー Windows 7/Vista/Server 2008/XP（64 bit）	

TWAIN Driver を 64 bit OS へインストールする場合、32 bit 互換モードで動作し、32 bit 対応アプリケーションでのみ使用可となります。

ファクスドライバー

ファクスドライバー	機能
Windows 7/Vista/Server 2008/XP/ Server 2003/2000	ファクス送信する用紙の設定やアドレス帳の編集など、ファクスの機能を設定できます。詳しくは、「ファクスユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
Windows Server 2008 R2/7/Vista/ Server 2008/XP/Server 2003 (64 bit)	

Windows 用ドライバーのインストールについては、「インストレーションガイド」をごらんください。

Macintosh 用または Linux 用ドライバーのインストールについては、「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

Applications CD-ROM について

アプリケーション

アプリケーション	機能
ダウンロード マネージャー ユーティリティー（Windows Server 2008 R2/7/Vista/Server 2008/XP/Server 2003/2000、Macintosh OS X（10.2.8/10.3/10.4/10.5/10.6））	本機のハードディスクにフォントやオーバーレイ用のデータをダウンロードできます。 機能や使いかたについて詳しくは、ダウンロードマネージャーのオンラインヘルプをごらんください。
PageScope Data Administrator	本機の操作パネルで登録された認証データやアドレスを、ネットワーク上のコンピューターから変更できます。 詳しくは、「PageScope Data Administrator ユーザーズガイド」（Applications CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
PageScope Net Care Device Manager	ステータス監視、ネットワーク設定などの本機の管理機能にアクセスできます。 詳しくは、「PageScope Net Care Device Manager ユーザーズガイド」（Applications CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
PageScope Enterprise Suite Plug-in	この Plug-in は、PageScope Enterprise Suite に本モデルをサポートするためのモジュールです。
PageScope Direct Print	PDF ファイルや TIFF ファイルを直接本機に送信して印刷する機能を持つアプリケーションです。 詳しくは、「PageScope Direct Print ユーザーズガイド」（Applications CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
Driver Packaging Utility	プリンタードライバーのインストール時の設定値を編集したインストールパッケージを作成できるユーティリティーです。

Documentation CD-ROM について

マニュアル

インストレーションガイド	本機の設置やドライバーのインストールなど、本機を使用する際に最初に必要な事項を説明しています。
プリンタ / コピー / スキャナユーザーズガイド（本書）	ドライバーの使いかたや消耗品の交換方法、操作パネルの使いかたなど、日常の使いかた全般について説明しています。
ファクスユーザーズガイド	ファクスの送受信方法、操作パネルの使いかたなど、ファクス機能全般について説明しています。
リファレンスガイド	Macintosh、Linux ドライバーのインストール、ネットワークの設定、管理ユーティリティーなど、より詳細な設定について説明しています。
すぐに使える操作ガイド	コピー、ファクス、スキャナーの使用手順や消耗品の交換方法が確認できる簡易マニュアルです。

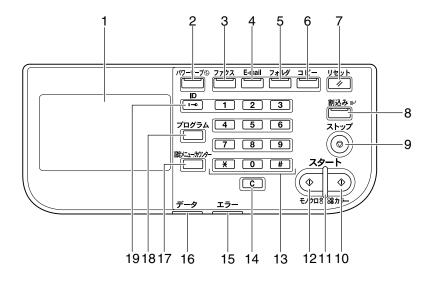
必要なシステム

- コンピューター：
  - Pentium 3：400 MHz 以上の CPU を搭載した IBM PC/AT 互換機（Windows Vista：1 GHz 以上）
  - PowerPC G3 以降（G4 以降を推奨）を搭載した Macintosh
  - Intel プロセッサを搭載した Macintosh
- オペレーティングシステム：
  - 32bit
    Microsoft Windows 7 Home Premium/Professional/Ultimate/Enterprise, Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise, Windows Server 2008 Standard/Enterprise, Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 2 以降），Windows Server 2003, Windows 2000（Service Pack 4 以降）
  - 64bit
    Microsoft Windows 7 Home Premium/Professional/Ultimate/Enterprise x64 Edition, Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition, Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise, Windows Server 2008 Standard/Enterprise x64 Edition, Windows XP Professional x64 Edition, Windows Server 2003 x64 Edition

     64bit ドライバーは、AMD64 プロセッサまたは、EM64T 搭載の Intel プロセッサが稼動する x64 オペレーティングシステムに対応しています。
  - Mac OS X および X Server（10.2.8/10.3/10.4/10.5/10.6：最新のパッチの適用を推奨）
  - Red Hat Enterprise Linux 5 Desktop, SUSE Linux Enterprise Desktop 10

     Macintosh および Linux のプリンタードライバーについては、「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
- 空きハードディスク容量：
  - 256 MB 以上
- メモリー：
  512 MB 以上（ただし OS が推奨する以上の RAM）
- CD/DVD-ROM ドライブ
- インターフェース：
  - 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T イーサネット（Ethernet）インターフェースポート
  - USB 2.0（High Speed）準拠インターフェースポート

操作パネルと タッチパネル

操作パネルについて

No.	名称	説明
1	タッチパネル	設定画面やメッセージが表示されます。 タッチパネルを直接タッチして操作することができます。
2	［パワーセーブ］キー／ランプ	スリープモードに切換わります。 スリープモード時はランプが緑色に点灯し、タッチパネルの表示が消えます。 スリープモード時に［パワーセーブ］キーを押すと、スリープモードは解除されます。
3	［ファクス］キー／ランプ	ファクスモードに切換わります。 ファクスモード時はランプが緑色に点灯します。
4	［E-mail］キー／ランプ	E-mail 送信モードに切換わります。 E-mail 送信モード時はランプが緑色に点灯します。

No.	名称	説明
5	［フォルダ］キー／ランプ	ファイル送信モードに切換わります。 ファイル送信モード時はランプが緑色に点灯します。
6	［コピー］キー／ランプ	コピーモードに切換わります。 コピーモード時はランプが緑色に点灯します。
7	［リセット］キー	表示中のモードの設定（登録した設定は除く）を初期状態にします。
8	［割込み］キー／ランプ	割込みモードに切換わります。 割込みモード時はランプが緑色に点灯します。 割込みモード時に［割込み］キーを押すと、割込みモードは解除されます。
9	［ストップ］キー	動作中のコピー、スキャン、印刷を一時停止します。
10	［スタート（カラー）］キー	カラーコピー、カラースキャン、ファクス（モノクロ）を開始します。 また、停止中のスキャンや印刷を再開します。
11	［スタート］ランプ	コピー、スキャン、ファクスを開始できるときは、青色に点灯します。 コピー、スキャン、ファクスを開始できないときは、オレンジ色に点灯します。
12	［スタート（モノクロ）］キー	モノクロコピー、モノクロスキャン、ファクスを開始します。 また、停止中のスキャンや印刷を再開します。
13	テンキー	コピー部数、ファクス番号、E-mail アドレス、名前などを入力します。 また、設定画面で数値を入力します。
14	［C］（クリア）キー	入力した数値や文字列を取り消します。
15	［エラー］ランプ	エラー発生時はオレンジ色に点滅します。 サービス実施店への連絡が必要なエラー発生時は、オレンジ色に点灯します。
16	［データ］ランプ	印刷ジョブの受信中は青色に点滅します。 印刷時、または印刷待ちのときは青色に点灯します。

No.	名称	説明
17	[設定メニュー/カウンター]キー	[設定メニュー]画面に切換わります。 [設定メニュー]画面では、[ユニバーサル設定]、[セールスカウンター]、[宛先登録]、[ユーザー設定]、[管理者設定]の各設定や確認ができます。
18	[プログラム]キー	コピー、ファクス、スキャンの設定をプログラムに登録します。 また、登録されているプログラムを呼び出します。
19	[ID]キー	ユーザー認証や部門認証を行っている場合に、認証を実施してログインします。 また、ログイン状態からログアウトし、認証画面に戻ります。

タッチパネルについて

ホーム画面

No.	名称	説明
1	ステータス	操作状況に応じてメッセージが表示されます。
2	[ファクス]	ファクスモードに切換わります。
3	[E-mail 送信]	E-mail 送信モードに切換わります。
4	[ファイル送信]	ファイル送信モードに切換わります。
5	[コピー]	コピーモードに切換わります。
6	日時表示	現在の日付と時刻が表示されます。
7	[USB/HDD]	本機のハードディスク内のデータや、外部メモリー内のデータを印刷します。
8	[状態]	消耗品や本機の情報が表示されます。
9	[ジョブ]	印刷、送信、受信、保存の各ジョブの状況と履歴が表示されます。
10	トナー残量表示	イエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）、ブラック（K）の各色のトナー残量が表示されます。

コピーモードの初期画面

No.	名称	説明
1	コピー枚数	設定したコピー枚数を表示します。
2	コピーモードの設定機能	設定画面を表示し、機能を設定します。
3	[設定内容]	コピー設定の内容を確認します。
4		ホーム画面に戻ります。

ファイル送信モードの初期画面

No.	名称	説明
1	［常用］	常用（よく使う宛先）に設定されている登録宛先を指定します。
2	［直接入力］	直接入力して宛先を指定します。
3	［履歴］	送信履歴から宛先を指定します。
4	［設定内容］	指定した宛先と、ファイル送信設定の内容を確認します。
5	［設定］	ファイル送信に関する設定をします。
6		ホーム画面に戻ります。

E-mail 送信モードの初期画面

No.	名称	説明
1	[常用]	常用（よく使う宛先）に設定されている登録宛先を指定します。
2	[直接入力]	直接入力して宛先を指定します。
3	[履歴]	送信履歴から宛先を指定します。
4	[設定内容]	指定した宛先と、E-mail 送信設定の内容を確認します。
5	[設定]	E-mail 送信に関する設定をします。
6		ホーム画面に戻ります。

ファクスモードの初期画面

ファクスモードの画面について詳しくは、「ファクス ユーザーズガイド」をごらんください。

ジョブ画面

No.	名称	説明
1	[印刷]	印刷ジョブ一覧を表示します。
2	[送信]	送信ジョブ一覧を表示します。
3	[受信]	受信ジョブ一覧を表示します。
4	[実行中] ／ [履歴]	実行中または終了したジョブ一覧を表示します。
5	ジョブリスト	ジョブ一覧を表示します。 ジョブ番号やユーザー名を確認できます。
6	[削除]	選択したジョブを削除します。確認画面で [はい] を選択し、[OK] を押します。 [履歴] 画面で [詳細] が表示されている場合は、ジョブの詳細を表示します。
7		ホーム画面に戻ります。

状態画面

No.	名称	説明
1	[消耗品情報]	消耗品の状態（消耗レベル）を表示します。 表示される消耗品の残量表示は、実際の使用量と完全に一致するものではなく、あくまで目安の値です。
2	[装置情報]	装着しているオプションの情報を表示します。
3		ホーム画面に戻ります。

USB/HDD 画面

No.	名称		説明
1	[確認プリント]		HDD に保存されている確認プリントジョブを印刷します。
		[ユーザー名]	ユーザー名を選択します。
2	[外部メモリ]		USB メモリーに保存されているファイルを指定して印刷します。
		[ファイルリスト]	ファイルの一覧を表示します。 選択後、印刷機能を設定して印刷できます。
		[ファイルの種類]	表示するファイルの種類を設定します。
3	[認証＆プリント]		登録ユーザーまたはパブリックユーザーとして送ったプリントジョブを印刷するときに押します。
		[パブリックユーザー]	パブリックユーザーのジョブを表示し、印刷できます。
		[ログインユーザー]	ログインしているユーザーのジョブを表示し、印刷できます。

No.	名称	説明
4		ホーム画面に戻ります。

「確認プリント」機能については、「保存ジョブ（確認プリント）」（p.216）をごらんください。

「外部メモリ」機能については、「外部メモリプリント」（p.219）をごらんください。

「認証＆プリント」機能については、「認証 & プリント」（p.222）をごらんください。

タッチパネルに表示されるアイコン

アイコン	説明
	画面が複数ページある場合、ページを切換えます。 ［↑］と［↓］の間の数値は、画面の「現在のページ数／総ページ数」を示しています。
	複数のタブがある場合、タブの表示を切換えます。
	設定値を増減します。
	設定値を増減します。
	エラー発生時に表示されます。アイコンを押すと、エラー画面が表示されます。
	表示中の機能や設定のヘルプが表示されます。
	本機に登録されている宛先が表示されます。短縮宛先やグループ宛先を指定できます。

アイコン	説明
	コピー動作中に表示されます。
	原稿の読込み動作中に表示されます。
	印刷動作中に表示されます。
	G3 ファクス回線の使用中に表示されます。
	タイマー送信機能により送信予約したジョブがあるときに表示されます。
	強制メモリー受信機能や PC ファクス受信機能により本機のメモリーに保存された文書があるときに表示されます。
	本機から送信しているときに表示されます。
	本機が受信しているときに表示されます。
	セキュリティー強化モードが設定されているときに表示されます。
	外部メモリーが接続されているときに表示されます。

ユーザー認証と部門認証

本機でユーザー認証や部門認証が設定されている場合、本機の機能を使用するためには、ユーザー名、部門名、パスワードを指定して認証を行う必要があります。

ここでは、本機でユーザー認証や部門認証が設定されている場合のログインのしかたについて説明します。

ユーザー認証や部門認証はPageScope Web Connectionから設定します。詳しくは、「リファレンスガイド」をごらんください。

ユーザー認証の場合

本体装置認証

1 ［ユーザー名］と［パスワード］を入力します。
   – ［ユーザー名］は直接入力またはユーザー一覧から指定します。

2 ［ログイン］を押します。
   認証に成功すると、本機の機能を使用できるようになります。

外部サーバー認証

1 ［ユーザー名］と［パスワード］を入力します。
   – ［ユーザー名］は直接入力またはユーザー一覧から指定します。

2 ［サーバー］を指定します。

3 ［ログイン］を押します。
   認証に成功すると、本機の機能を使用できるようになります。

ユーザー認証と部門認証の両方を設定している場合は、［ログイン］を押したあと、部門認証を行います。ただし、ユーザー認証と部門認証が連動するように設定され、ログインするユーザーの所属部門が登録されている場合は、部門認証は行いません。詳しくは、「リファレンスガイド」をごらんください。

認証装置でログインする

IC カードによる認証で、本機にログインする方法を説明します。

■ IC カードで認証を行う場合は、あらかじめ IC カードに記録された情報を登録しておいてください。

■ 認証の失敗が多く発生する場合は、正しく IC カードの情報が登録されていない可能性があります。IC カードの情報を登録しなおしてください。

■ 認証装置を使用せず、［ユーザー名］と［パスワード］を入力してログインする場合は、［本体認証］を押してください。

1 ［IC カード認証］を押します。

2 ［基本画面へ］を押します。
   – 認証＆プリントジョブがある場合は、［印刷開始］を押すと、認証と同時に印刷することができます。

3 IC カードを認証装置の上に置きます。

ユーザーに対して IC カードを登録する操作について、詳しくは、「認証装置でカードを関連付ける」（p.443）を参照してください。

部門認証の場合

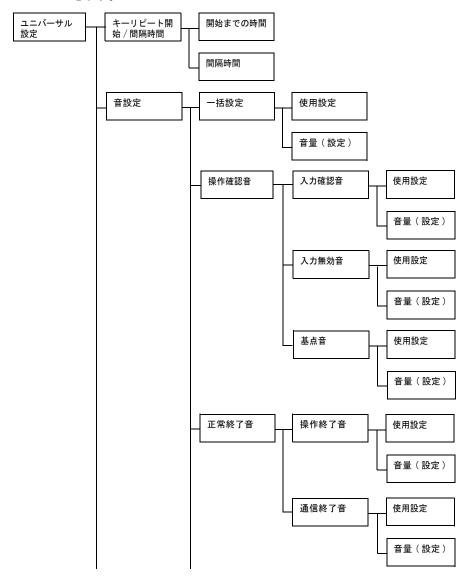
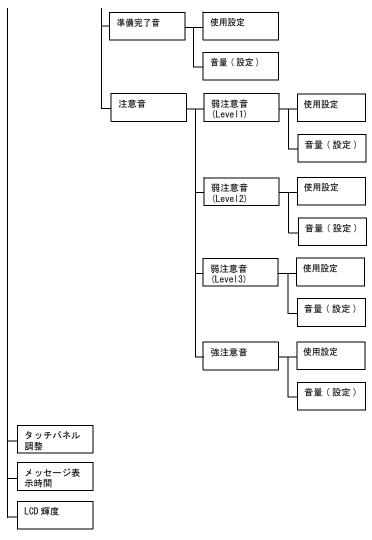
1 ［部門名］と［パスワード］を入力します。

2 ［ログイン］を押します。
   認証に成功すると、本機の機能を使用できるようになります。

設定メニュー/カウンター

3

ユニバーサル設定

［ユニバーサル設定］画面では、操作パネルのキー操作や表示に関する設定ができます。

1 操作パネルの［設定メニュー / カウンター］キーを押します。

2 ［ユニバーサル設定］を押します。
ユニバーサル設定画面が表示されます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

項目	説明	
[キーリピート開始 / 間隔時間]	数値設定のキーを長押しする場合、キーを押してから数値が変わり始めるまでの時間と、数値が変わる間隔を設定します。	
[開始までの時間]	設定	0.1 〜 3.0 秒（**0.8**）
	キーの長押しにより、数値が変わり始めるまでの時間（単位：秒）を設定します。	
[間隔時間]	設定	0.1 〜 3.0 秒（**0.3**）
	キーを押し続けている間に数値が変わる間隔（単位：秒）を設定します。	
[音設定]	キー操作などに関連して音を鳴らす設定ができます。	
[一括設定]	設定	使用設定：[する] / [しない] 音量（設定）：[小] / [中] / [大]
	操作音を一括して設定します。音を鳴らす場合は [使用設定] を押し [する] を選択します。音量は、[音量（設定）] を押し [小] / [中] / [大] から選択します。鳴らさない場合は [使用設定] を押し [しない] を選択します。	
[操作確認音]	キー操作の確認音を設定します。	
[入力確認音]	設定	使用設定：[**する**] / [しない] 音量（設定）：[小] / [**中**] / [大]
	キーを押して入力を行ったときの音を設定します。	
[入力無効音]	設定	使用設定：[**する**] / [しない] 音量（設定）：[小] / [**中**] / [大]
	キーを押したが無効な入力だったときの音を設定します。	
[基点音]	設定	使用設定：[**する**] / [しない] 音量（設定）：[小] / [**中**] / [大]
	スクロールする選択項目の場合に、初期値となる項目が選ばれたときの音を設定します。	
[正常終了音]	操作や通信が正常に終了した確認音を設定します。	

項目			説明	
		［操作終了音］	設定	使用設定：［する］/［しない］ 音量（設定）：［小］/［中］/［大］
			操作が正常に終了したときの音を設定します。	
		［通信終了音］	設定	使用設定：［する］/［しない］ 音量（設定）：［小］/［中］/［大］
			通信関連の操作が正常に終了したときの音を設定します。	
	［準備完了音］		設定	使用設定：［する］/［しない］ 音量（設定）：［小］/［中］/［大］
			装置の準備が完了したときの音を設定します。	
	［注意音］		注意を喚起する確認音を設定します。	
		［弱注意音(Level1)］	設定	使用設定：［する］/［しない］ 音量（設定）：［小］/［中］/［大］
			各消耗品および交換部品が交換時期に近づき、タッチパネルにメッセージが表示されたときの音を設定します。	
		［弱注意音(Level2)］	設定	使用設定：［する］/［しない］ 音量（設定）：［小］/［中］/［大］
			ユーザーが誤操作を行ったときの音を設定します。	
		［弱注意音(Level3)］	設定	使用設定：［する］/［しない］ 音量（設定）：［小］/［中］/［大］
			対処可能なエラーが発生したときの音を設定します。画面メッセージおよびマニュアルを参照して対処してください。	
		［強注意音］	設定	使用設定：［する］/［しない］ 音量（設定）：［小］/［中］/［大］
			ユーザーでは復帰不可能な、サービス技術者対応レベルのエラーが発生したときの音を設定します。	

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>［タッチパネル調整］</td><td colspan="2">タッチパネルのキーを押しても正常に反応しないときは、タッチパネルのキー表示位置と実際のタッチセンサーの位置がずれている可能性があります。

タッチパネルの表示位置を調整します。

■ タッチパネル調整画面で 4 つのチェックポイント［+］を、ブザー音を確認しながら押し、続いて［スタート］キーを押します。

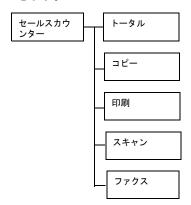
■ チェックキー［+］を押す順番は、任意でかまいません。

■ 調整をやりなおすときは［C］キーを押し、4 つのチェックポイント［+］を押しなおしてください。

■ タッチパネルの調整を中断する場合は、［ストップ］キーを押します。

■ 調整できない場合は、サービス技術者にご連絡ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［メッセージ表示時間］</td><td>設定</td><td>［3 秒］/［5 秒］</td></tr>
<tr><td colspan="2">誤った操作を行ったときなどに表示される警告メッセージの表示時間を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［LCD 輝度］</td><td>設定</td><td>-3 ～ 3（0）</td></tr>
<tr><td colspan="2">LCD 画面のコントラストを調整します。</td></tr>
</table>

セールスカウンター

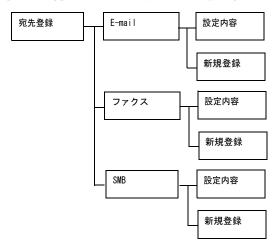
［セールスカウンター］画面では、各機能の実行した回数や合計回数を確認できます。

1 操作パネルの［設定メニュー / カウンター］キーを押します。

2 ［セールスカウンター］を押します。

3 ［←］［→］［↑］［↓］でカウンターを確認します。

項目	説明
トータル	各機能の合計のカウントを確認します。
コピー	コピー機能のカウントを確認します。
印刷	プリント機能のカウントを確認します。
スキャン	スキャン機能のカウントを確認します。
ファクス	ファクス機能のカウントを確認します。

宛先登録

［宛先登録］画面では、送信先の宛先を登録できます。

1 操作パネルの［設定メニュー / カウンター］キーを押します。

2 ［宛先登録］を押します。
宛先登録画面が表示されます。

［宛先登録］は、本機で部門認証のみの認証設定している場合は、ログインしていない状態では表示しません。

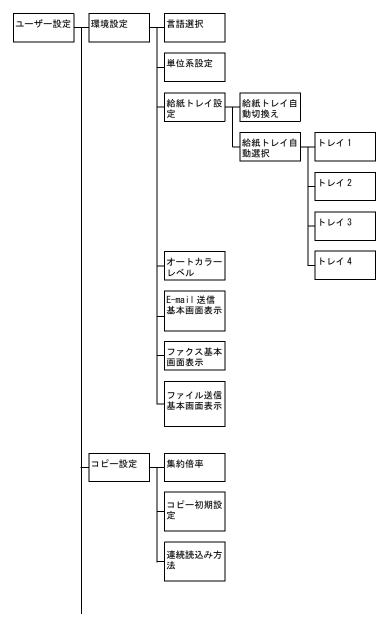
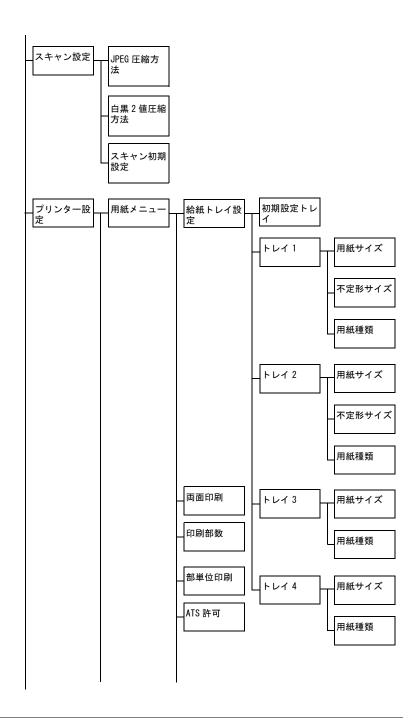
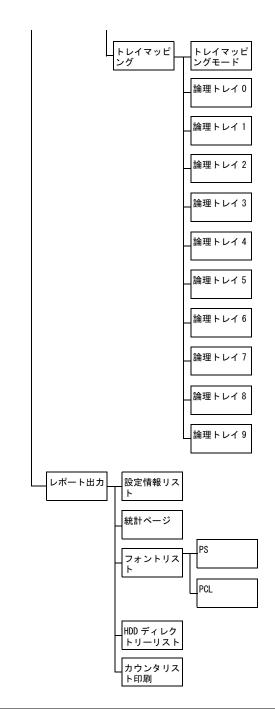
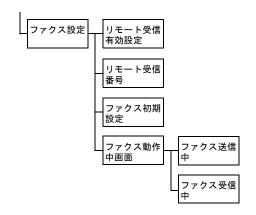
項目	説明
［E-mail］	E-mail 送信の宛先を確認、登録します。 登録のしかたについて詳しくは、「短縮宛先を登録する」（p.308）をごらんください。
［設定内容］	選択した宛先の内容を確認します。
［新規登録］	新しく宛先を登録します。 ［番号］、［名前］、［E-mail］、［常用］、［検索文字］の各項目を設定して登録します。

項目	説明
［ファクス］	ファクス送信の宛先を確認、登録します。 登録のしかたについて詳しくは、「ファクス ユーザーズガイド」をごらんください。
［設定内容］	選択した宛先の内容を確認します。
［新規登録］	新しく宛先を登録します。 ［番号］、［名前］、［ファクス番号］、［常用］、［検索文字］、［回線設定］の各項目を設定して登録します。
［SMB］	SMB 送信の宛先を確認、登録します。 登録のしかたについて詳しくは、「短縮宛先を登録する」（p.308）をごらんください。
［設定内容］	選択した宛先の内容を確認します。
［新規登録］	新しく宛先を登録します。 ［番号］、［名称］、［接続先］（［ホスト名］、［ファイルパス］、［ユーザー ID］、［パスワード］）、［常用］、［検索文字］の各項目を設定して登録します。

ユーザー設定

［ユーザー設定］画面では、ユーザーが変更可能な設定項目を調整できます。

スキャン設定
JPEG 圧縮方法
白黒 2 値圧縮方法
スキャン初期設定
プリンター設定
用紙メニュー
給紙トレイ設定
初期設定トレイ
トレイ 1
用紙サイズ
不定形サイズ
用紙種類
トレイ 2
用紙サイズ
不定形サイズ
用紙種類
両面印刷
トレイ 3
用紙サイズ
印刷部数
用紙種類
部単位印刷
トレイ 4
用紙サイズ
ATS 許可
用紙種類

トレイマッピング
トレイマッピングモード
論理トレイ 0
論理トレイ 1
論理トレイ 2
論理トレイ 3
論理トレイ 4
論理トレイ 5
論理トレイ 6
論理トレイ 7
論理トレイ 8
論理トレイ 9
レポート出力
設定情報リスト
統計ページ
フォントリスト
PS
PCL
HDD ディレクトリーリスト
カウンタリスト印刷

1 操作パネルの［設定メニュー / カウンター］キーを押します。

2 ［ユーザー設定］を押します。
ユーザー設定画面が表示されます。

［ユーザー設定］は、ジョブ履歴が一杯になっている場合は表示されません。

［環境設定］

太字は工場出荷時の設定値を表します。

項目	説明	
［言語選択］	設定	［英語］/［フランス語］/［イタリア語］/［ドイツ語］/［スペイン語］/［ポルトガル語］/［韓国語］/［簡体語］/［繁体語］/［チェコ語］/［ハンガリー語］/［ポーランド語］/［スロバキア語］/［ロシア語］/［オランダ語］/［デンマーク語］/［ノルウェー語］/［スウェーデン語］/［フィンランド語］/［ギリシャ語］/［トルコ語］/［カタロニア語］/［**日本語**］ メッセージウィンドウの表示では、上記の選択言語は、ドイツ語は「DEUTSCH」のように、各国の言語で表示されます
	タッチパネルに表示される言語を設定します。	

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td rowspan="2">[単位系設定]</td><td>設定</td><td>[インチ] / [mm]</td></tr>
<tr><td colspan="2">タッチパネルに表示される数値の単位を設定します。</td></tr>
<tr><td>[給紙トレイ設定]</td><td colspan="2">給紙トレイについて設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">[給紙トレイ自動切換え]</td><td>設定</td><td>[する] / [しない]</td></tr>
<tr><td colspan="2">給紙トレイを手動で選択している場合、印刷中にそのトレイの用紙がなくなった場合に、同じサイズの用紙がセットされている給紙トレイに自動的に切換えるかを設定できます。</td></tr>
<tr><td>[給紙トレイ自動選択]</td><td colspan="2">給紙トレイ自動切換え機能がはたらいたとき、自動選択の対象となるトレイを設定できます。
オプションの給紙ユニットを装着していない場合、[トレイ 3]、[トレイ 4] は表示されません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">[トレイ 1]</td><td>設定</td><td>[する] / [しない]</td></tr>
<tr><td colspan="2">[トレイ 1] を給紙トレイ自動切換え機能での選択対象にするかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">[トレイ 2]</td><td>設定</td><td>[する] / [しない]</td></tr>
<tr><td colspan="2">[トレイ 2] を給紙トレイ自動切換え機能での選択対象にするかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">[トレイ 3]</td><td>設定</td><td>[する] / [しない]</td></tr>
<tr><td colspan="2">[トレイ 3] を給紙トレイ自動切換え機能での選択対象にするかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">[トレイ 4]</td><td>設定</td><td>[する] / [しない]</td></tr>
<tr><td colspan="2">[トレイ 4] を給紙トレイ自動切換え機能での選択対象にするかどうかを設定します。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td rowspan="2">［オートカラーレベル］</td><td>設定</td><td>0 〜 4（2）</td></tr>
<tr><td colspan="2">オートカラー設定時のカラー原稿と白黒原稿の判定基準レベルを調整します。
［0］、［1］に設定すると白黒判定しやすい傾向になり、［3］、［4］に設定するとカラー判定しやすい傾向になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［E-mail 送信基本画面表示］</td><td>設定</td><td>［常用］/［直接入力］/［履歴］</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源を入れた場合やリセットを押した場合に表示される、E-mail 送信機能の初期値を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［ファクス基本画面表示］</td><td>設定</td><td>［常用］/［直接入力］/［拡張］</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源を入れた場合やリセットを押した場合に表示される、ファクス機能の初期値を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［ファイル送信基本画面表示］</td><td>設定</td><td>［常用］/［直接入力］/［履歴］</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源を入れた場合やリセットを押した場合に表示される、ファイル送信機能の初期値を設定します。</td></tr>
</table>

［コピー設定］

 太字は工場出荷時の設定値を表します。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td rowspan="2">［集約倍率］</td><td>設定</td><td>［はい］/［いいえ］</td></tr>
<tr><td colspan="2">給紙トレイ自動切換え設定時に［集約］を選択した場合に、自動で適した倍率にするかしないかを設定できます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［コピー初期設定］</td><td>設定</td><td>［工場時の出荷値］/［現在の設定値］</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源を入れた場合やリセットを押した場合に表示される、コピー機能の初期値を設定します。
［工場時の出荷値］：工場出荷値を初期値とします。
［現在の設定値］：現在の設定値を初期値として登録します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［連続読込み方法］</td><td>設定</td><td>［一括出力］/［自動出力］</td></tr>
<tr><td colspan="2">ADF に原稿を分割してセットする場合や、原稿ガラスで複数枚の原稿が読込まれる場合、読込み終了後に一括して出力するかどうかを設定します。
［一括出力］：全ての原稿読込み終了後に印刷が開始されます。
［自動出力］：原稿読込み中でも出力可能な印刷が開始されます。</td></tr>
</table>

［スキャン設定］

 太字は工場出荷時の設定値を表します。

項目	説明	
［JPEG 圧縮方法］	設定	［高画質］/［**標準**］/［高圧縮］
	画像をフルカラーで保存するときの圧縮方法を設定します。 ［高画質］：データサイズが大きくなりますが、高画質になります。 ［標準］：データサイズ、画質ともに「高画質」と「高圧縮」の中間になります。 ［高圧縮］：データサイズが小さくなりますが、低画質になります。	
［白黒 2 値圧縮方法］	設定	［MH］/［**MMR**］
	ファイル形式に TIFF を選択して送信する場合の本機送信能力を設定します。 ［MH］：データサイズが大きくなります。 ［MMR］：データサイズが小さくなります。	
［スキャン初期設定］	設定	［**工場時の出荷値**］/［現在の設定値］
	電源を入れた場合やリセットを押した場合に表示される、スキャン機能の初期値を設定します。 ［工場時の出荷値］：工場出荷値を初期値とします。 ［現在の設定値］：現在の設定値を初期値として登録します。	

［プリンター設定］

 太字は工場出荷時の設定値を表します。

項目	説明	
［用紙メニュー］	用紙やトレイの設定をします。	
［給紙トレイ設定］	給紙トレイを設定します。	
［初期設定トレイ］	設定	［トレイ 1］/［**トレイ 2**］/［トレイ 3］/［トレイ 4］
	優先する給紙トレイを設定します。 オプションの給紙ユニットを装着していない場合、［トレイ 3］、［トレイ 4］は表示されません。	
［トレイ 1］～［トレイ 4］	［トレイ 1］～［トレイ 4］の初期値を設定します。 オプションの給紙ユニットを装着していない場合、［トレイ 3］、［トレイ 4］は表示されません。	
［用紙サイズ］	設定	［任意］/［レター］/［リーガル］/［エグゼクティブ］/［**A4**］/［A5］/［A6］/［B5(JIS)］/［B6］/［G. レター］/［Statement］/［Folio］/［SP Folio］/［UK Quarto］/［Foolscap］/［G. リーガル］/［16K］/［10 x 15cm］/［カイ 16］/［カイ 32］/［洋形 2 号］/［封筒 DL］/［洋形 6 号］/［長形 3 号］/［長形 4 号］/［B5(ISO)］/［封筒 #10］/［ハガキ］/［往復ハガキ］/［8 1/8x13 1/4］/［8 1/2x13 1/2］/［不定形サイズ］
	選択したトレイの用紙サイズを選択します。 ［トレイ 2］には、［洋形 2 号］/［封筒 DL］/［洋形 6 号］/［長形 3 号］/［長形 4 号］/［B5(ISO)］/［封筒 #10］は表示されません。 ［トレイ 3］、［トレイ 4］には、［レター］/［リーガル］/［G. リーガル］/［エグゼクティブ］/［A4］/［B5(JIS)］のみ表示されます。	

項目	説明	
［不定形サイズ］	［幅］と［長さ］を選択して、カスタム用紙サイズを登録します。 ［用紙サイズ］で［不定形サイズ］を選択した場合に設定できます。 ［トレイ 3］、［トレイ 4］では、［不定形サイズ］を選択できません。	
［用紙種類］	設定	［任意］/［**普通紙**］/［再生紙］/［厚紙 1］/［厚紙 2］/［ラベル紙］/［封筒］/［ハガキ］/［レターヘッド紙］/［光沢紙 1］/［光沢紙 2］/［両面不可紙］/［特殊紙］
	用紙種類を選択します。 ［封筒］は［トレイ 1］にのみ表示されます。 ［トレイ 3］、［トレイ 4］には、［任意］/［普通紙］/［再生紙］/［両面不可紙］/［特殊紙］のみ表示されます。	
［両面印刷］	設定	［**しない**］/［長辺とじ］/［短辺とじ］
	両面印刷を設定します。 ［長辺とじ］: 用紙の長辺をとじる辺にして両面印刷します。 ［短辺とじ］: 用紙の短辺をとじる辺にして両面印刷します。	
［印刷部数］	設定	1 ～ 9999（**1**）
	印刷部数を設定します。	
［部単位印刷］	設定	［する］/［**しない**］
	複数部印刷する場合に、部単位で印刷するかどうかを設定します。	

項目	説明	
［ATS 許可］	設定	［**する**］/［しない］
	［する］：給紙トレイを手動で選択しているとき、印刷中に指定したトレイの用紙がなくなった場合に、同じサイズの用紙がセットされている給紙トレイに自動的に切換えます。 ［しない］：給紙トレイを手動で選択しているとき、印刷中にそのトレイの用紙がなくなった場合は印刷を停止します。	
［トレイマッピング］	トレイマッピングの設定をします。	
［トレイマッピングモード］	設定	［する］/［**しない**］
	トレイマッピング機能を使用するかどうかを設定します。	
［論理トレイ 0］～［論理トレイ 9］	設定	［物理トレイ 1］/［**物理トレイ 2**］/［物理トレイ 3］/［物理トレイ 4］
	他社のプリンタドライバからプリントジョブを受信した時に、どの給紙トレイを使用して印刷するかを設定します。 ［論理トレイ 1］のみ初期値が［物理トレイ 1］です。	

項目	説明
[レポート出力]	各種レポートの出力を行います。
[設定情報リスト]	本機の情報と設定内容を印刷します。
[統計ページ]	印刷枚数などの統計ページを出力します。
[フォントリスト]	フォントリストを出力します。
[PS]	PS フォントリストを出力します。
[PCL]	PCL フォントリストを出力します。
[HDD ディレクトリーリスト]	HDD 内のフォルダーリストを出力します。
[カウンタリスト印刷]	カウンタリストを出力します。

[ファクス設定]

ファクスに関する機能を設定します。詳しくは、「ファクス ユーザーズガイド」をごらんください。

[初期起動アプリ選択]

拡張サーバー認証を設定しており、使用できるアプリケーションが登録されている場合に表示します。

管理者設定

［管理者設定］画面では、本機の管理者が変更可能な設定項目を調整できます。
管理者画面にログインするときは、管理者パスワードが必要です。

マシン登録
装置名
宛先
宛先登録
アドレス帳
短縮宛先
ファクス
開始番号
宛先件数
リスト出力
E-mail
開始番号
宛先件数
リスト出力
FTP
開始番号
宛先件数
リスト出力
WebDAV
開始番号
宛先件数
リスト出力
SMB
開始番号
宛先件数
リスト出力

インターネットファクス
開始番号
宛先件数
リスト出力
グループ宛先
開始番号
宛先件数
リスト出力
プログラム宛先
ファクス
開始番号
宛先件数
リスト出力
E-mail
開始番号
宛先件数
リスト出力
FTP
開始番号
宛先件数
リスト出力

WebDAV
開始番号
宛先件数
リスト出力
SMB
開始番号
宛先件数
リスト出力
インターネットファクス
開始番号
宛先件数
リスト出力
短縮宛先
開始番号
宛先件数
リスト出力
グループ宛先
開始番号
宛先件数
リスト出力

認証設定
ユーザーリスト表示設定
ログアウト確認画面表示
IC カード認証
イーサネット
TCP/IP
有効
IP アドレス
サブネットマスク
ゲートウェイ
DHCP
BOOTP
ARP/PING
HTTP
FTP
Telnet
Bonjour
Dynamic DNS
IPP
RAW ポート
有効
双方向通信

SLP
SMTP
SNMP
WSD 印刷
IPSec
IP アドレスフィルター
IP 許可設定
IP 拒否設定
IPv6
有効
IPv6 自動設定
リンクローカルアドレス
グローバルアドレス
ゲートウェイアドレス
Netware
AppleTalk
ネットワーク速度
IEEE802.1X 認証設定
バイナリ分割

S/MIME 通信設定
S/MIME 使用設定
デジタル署名
メール本文の暗号化種類
証明書の自動取得
S/MIME 情報の印刷
外部メモリプリント
ジョブタイムアウト
コピー設定
APS 解除時のトレイ設定
記録用紙優先選択
プリンター設定
スタートページ設定
自動継続
用紙設定
用紙設定
用紙サイズ
不定形サイズ
幅
長さ
用紙種類
単位系設定

ジョブ保持タイムアウト
画質設定
カラー設定
明度
ハーフトーン
イメージ印刷
文字印刷
グラフィック印刷
エッジ強調
イメージ印刷
文字印刷
グラフィック印刷
エッジ強度
エコノミー印刷
PCL 設定
コントラスト
イメージ印刷
RGB ソース
RGB 特性
RGB グレー再現
文字印刷
RGB ソース
RGB 特性
RGB グレー再現

グラフィック印刷
RGB ソース
RGB 特性
RGB グレー再現
PS 設定
イメージ印刷
RGB ソース
RGB 特性
RGB グレー再現
登録プロファイル
文字印刷
RGB ソース
RGB 特性
RGB グレー再現
登録プロファイル
グラフィック印刷
RGB ソース
RGB 特性
RGB グレー再現
登録プロファイル
シミュレーション
シミュレーションプロファイル
シミュレーション特性
CMYK グレー再現

階調補正
濃度補正
画像安定化制御
CMYK 濃度調整
シアン
ハイライト部
中間部
シャドウ部
マゼンタ
ハイライト部
中間部
シャドウ部
イエロー
ハイライト部
中間部
シャドウ部
白黒 2 値
ハイライト部
中間部
シャドウ部

色分解
エミュレーション
優先エミュレーション
PS
ウェイトタイムアウト時間
PS エラー印刷
PS プロトコル
自動トラッピング
ブラックオーバープリント
PCL
CR/LF マッピング
ライン / ページ
フォント設定
フォント番号
ピッチサイズ
シンボルセット
XPS
デジタル署名
XPS エラー印刷
ファクス設定
発信元設定
発信元
ファクス ID

ヘッダー／
フッター設定
発信元情報
相手先印字
受信情報
通信設定
ダイアル方式
受信方式
着信回数設定
オートリダイアル
オートリダイアル間隔
回線モニター音
回線モニター音レベル
手動受信時 V.34 OFF
外部 TEL 呼出時間
ナンバーディスプレイ機能
ナンバーディスプレイ
ネームディスプレイ
発信者情報

機能設定
インチ系用紙優先選択
記録用紙優先選択
記録用紙サイズ
給紙トレイ固定
受信印刷縮小率
ページ分割記録
受信原稿両面印刷
ファクス機能設定
F コード送信
宛先確認表示機能
宛先 2 度入力機能（送信）
宛先 2 度入力機能（登録）
ファクス送信禁止
ファクス受信禁止
PC-Fax 送信禁止
インターネットファクス送信禁止
インターネットファクス受信禁止
強制メモリ受信
強制メモリ受信
パスワード

閉域受信パスワード
使用設定
パスワード
転送ファクス設定
使用設定
転送先
常時印刷設定
リモート受信設定
リモート受信有効設定
リモート受信番号
PC-Fax 受信設定
使用設定
PC-Fax 受信後印刷
夜間受信設定
夜間受信使用設定
夜間受信開始時刻
夜間受信終了時刻
PBX 接続設定
PBX 使用設定
外線番号
ファクスレポート
通信管理レポート
出力の設定
出力時刻設定
出力限定設定
送信結果レポート
送信結果レポート画像付き

予約レポート
PC-Fax 送信エラーレポート
同報送信結果レポート
同報結果レポート出力
送信結果レポート画面
I-Fax 受信エラーレポート
リスト印刷
ファクス設定値リスト
ファクス仕向
ファクス設定初期化
ファクス初期設定
メンテナンスメニュー
印刷メニュー
エラーログ情報
ハーフトーン 64
シアン 64
マゼンタ 64
イエロー 64
ブラック 64
ハーフトーン 128
シアン 128
マゼンタ 128
イエロー 128
ブラック 128

ハーフトーン 256
シアン 256
マゼンタ 256
イエロー 256
ブラック 256
グラデーション
通信管理レポート
スキャン送信レポート
スキャナイベントログ
プリンター調整
印刷位置調整：先端
普通紙
厚紙 1
厚紙 2
封筒
印刷位置：側端
トレイ 1
トレイ 2
トレイ 3
トレイ 4

両面印刷位置：側端
トレイ 1
トレイ 2
トレイ 3
トレイ 4
2 次転写電流補正
片面
普通紙
厚紙 1
厚紙 2
ハガキ
封筒
ラベル紙
光沢紙 1
光沢紙 2
両面 2 面目
普通紙
厚紙 1
厚紙 2
ハガキ
封筒
ラベル紙

光沢紙 1
光沢紙 2
厚紙画像濃度補正
シアン
マゼンタ
イエロー
白黒 2 値
モノクロ画像濃度補正
細線調整
AIDC モード
厚紙時優先設定
エンジン DipSW
エンジン DipSW 1
エンジン DipSW 2
エンジン DipSW 3
エンジン DipSW 26
エンジン DipSW 27
エンジン DipSW 28

マニュアル主倍補正
マニュアル主倍補正印刷
マニュアル主倍補正値
イエロー
マゼンタ
シアン
サプライ品
交換
転写ベルトユニット
転写ローラーユニット
定着ユニット
フォルダー設定
自動削除間隔
自動文書削除時間
文書保持設定
セキュリティ設定
管理者パスワード
セキュリティ詳細
パスワード規約
登録宛先変更
手動宛先入力
個人情報非表示
通信履歴非表示
外部メモリ保存禁止

1 操作パネルの［設定メニュー / カウンター］キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力します（初期値：12345678）。

4 ［OK］を押します。
管理者設定画面が表示されます。

［環境設定］

太字は工場出荷時の設定値を表します。

項目	説明	
［スリープ時間設定］	設定	［5 分］/［6 分］/［7 分］/［8 分］/［9 分］/［10 分］/［11 分］/［12 分］/［13 分］/［14 分］/［15 分］/［**30 分**］/［1 時間］/［3 時間］
	本機の操作が行われず、スリープモードに切換わるまでの時間を設定します。	
［日付 / 時刻設定］	本機の日付、時刻、タイムゾーンを設定します。	
［日付 (YY.MM.DD)］	本機の日付を設定します。	
［時刻］	本機の時刻を設定します。	
［タイムゾーン］	設定	-12:00 ～ +13:00（**00:00**）
	UTC（協定世界時）のタイムゾーンを設定します。日本の場合は +9:00 です。	
［サマータイム設定］	サマータイムを適用するかどうかと、UTC（協定世界時）からの時差を設定します。	
［有効］	設定	［する］/［**しない**］
	サマータイムを適用するかどうかを設定します。 ［する］にすると、［オフセット］が設定できるようになります。	
［オフセット］	設定	1 ～ 150（**60**）
	時差を設定します。	

項目		説明	
［リスト / カウンタ］		本機の設定を印刷できます。	
	［ジョブ設定リスト］	設定	［**印刷**］/［中止］
		本機の設定を印刷します。	
［レポート入力トレイ］		設定	［トレイ 1］/［**トレイ 2**］/［トレイ 3］/［トレイ 4］
		レポート印刷に使用するトレイを設定します。	
［オートリセット設定］		オートリセット機能の動作を設定します。	
	［有効］	設定	［**する**］/［しない］
		オートリセット機能を使用するかどうかを設定します。	
	［オートリセット］	設定	1 ～ 9（**1**）
		オートリセット機能が動作し、コピーの設定が初期状態に戻されるまでの時間を設定します。	
	［優先機能］	設定	［**ホーム**］/［コピー］/［E-mail］/［フォルダー］/［ファクス］
		オートリセット後の表示画面を設定します。	

[管理者登録]

項目	説明
[管理者登録]	管理者情報を登録します。
[名前]	管理者の名前を登録します。
[内線番号]	管理者の内線番号を登録します。
[E-mail アドレス]	管理者のメールアドレスを登録します。 このアドレスに本機からの状態通知が送られます。
[マシン登録]	本機の情報を登録します。
[装置名]	装置名を登録します。 この [装置名] がスキャンファイル名にも使用されます。
[宛先]	本機のメールアドレスを登録します。

[宛先登録]

項目	説明
[アドレス帳]	短縮宛先やグループ宛先、プログラム宛先に登録されている宛先一覧を表示、印刷できます。
[短縮宛先]	印刷するアドレスを短縮宛先から設定します。
[ファクス] / [E-mail] / [FTP] / [WebDAV] / [SMB] / [インターネットファクス]	[開始番号]：開始アドレスを短縮宛先の登録番号で指定します。 [宛先件数]：宛先件数を指定します。 [リスト出力]：短縮宛先一覧を印刷します。

項目			説明
	［グループ宛先］		印刷するアドレスをグループ宛先から設定します。 ［開始番号］: 開始アドレスをグループ宛先の登録番号で指定します。 ［宛先件数］: グループ件数を指定します。 ［リスト出力］: グループ宛先一覧を印刷します。
	［プログラム宛先］		印刷するアドレスをプログラム宛先から設定します。
		［ファクス］/［E-mail］/［FTP］/［WebDAV］/［SMB］/［インターネットファクス］/［短縮宛先］/［グループ宛先］	［開始番号］: 開始アドレスをプログラム宛先の登録番号で指定します。 ［宛先件数］: 宛先件数を指定します。 ［リスト出力］: プログラム宛先一覧を印刷します。

［認証設定］

太字は工場出荷時の設定値を表します。

項目	説明	
［ユーザーリスト表示設定］	設定	［する］/［**しない**］
	ユーザーリストを表示するかどうかを設定します。	
［ログアウト確認画面表示］	設定	［する］/［**しない**］
	［ID］キーを押したときに、ログアウト確認画面を表示するかどうかを設定します。	
［IC カード認証］	IC カードで認証を行うかどうかを設定します。 認証装置が装着されているときのみ表示します。 認証装置について詳しくは、「認証装置でカードを関連付ける」（p.443）を参照してください。	

［イーサネット］

 太字は工場出荷時の設定値を表します。

項目	説明	
［TCP/IP］	TCP/IP のネットワークを設定します。	
［有効］	設定	［**する**］/［しない］
	TCP/IP のネットワークを有効にするかどうかを設定します。 ［しない］に設定すると、TCP/IP の設定項目は表示されません。	
［IP アドレス］	設定	［0.0.0.0］
	ネットワーク上の本機の IP アドレスを設定します。	
［サブネットマスク］	設定	［0.0.0.0］
	サブネットマスクを設定します。	
［ゲートウェイ］	設定	［0.0.0.0］
	ゲートウェイアドレスを設定します。	
［DHCP］	設定	［**ON**］/［OFF］
	ネットワーク上に DHCP サーバーがある場合に、自動的に IP アドレスなどのネットワーク情報を取得するかどうかを設定します。	
［BOOTP］	設定	［ON］/［**OFF**］
	ネットワーク上に BOOTP サーバーがある場合に、自動的に IP アドレスなどのネットワーク情報を取得するかどうかを設定します。	
［ARP/PING］	設定	［ON］/［**OFF**］
	IP アドレスを取得する際に、ARP/PING コマンドを使用するかどうかを設定します。	
［HTTP］	設定	［**有効**］/［無効］
	HTTP を有効にするかどうかを設定します。	

項目	説明	
［FTP］	設定	［**有効**］/［無効］
	FTP サーバーを有効にするかどうかを設定します。	
［Telnet］	設定	［**有効**］/［無効］
	Telnet による通信を有効にするかどうかを設定します。	
［Bonjour］	設定	［**有効**］/［無効］
	Bonjour を有効にするかどうかを設定します。	
［Dynamic DNS］	設定	［有効］/［**無効**］
	Dynamic DNS を有効にするかどうかを設定します。	
［IPP］	設定	［**有効**］/［無効］
	IPP を有効にするかどうかを設定します。	
［RAW ポート］	RAW ポートを設定します。	
［有効］	設定	［**はい**］/［いいえ］
	RAW ポートを有効にするかどうかを設定します。	
［双方向通信］	設定	［ON］/［**OFF**］
	RAW ポートの双方向通信を有効にするかどうかを設定します。	
［SLP］	設定	［**有効**］/［無効］
	SLP を有効にするかどうかを設定します。	
［SMTP］	設定	［**有効**］/［無効］
	SMTP によるメール送信を有効にするかどうかを設定します。	
［SNMP］	設定	［**使用する**］/［使用しない］
	SNMP を使用するかどうかを設定します。	

項目			説明	
	[WSD 印刷]		設定	**[使用する]** / [使用しない]
			WSD 印刷を使用するかどうかを設定します。	
	[IPsec]		設定	[使用する] / **[使用しない]**
			IPsec を使用するかどうかを設定します。	
	[IP アドレスフィルター]		IP アドレスフィルター機能を設定します。	
		[IP 許可設定]	設定	[有効] / **[無効]**
			IP アドレスによるアクセス許可にするかどうかを設定します。	
		[IP 拒否設定]	設定	[有効] / **[無効]**
			IP アドレスによるアクセス拒否にするかどうかを設定します。	
	[IPv6]		IPv6 を設定します。	
		[有効]	設定	**[する]** / [しない]
			IPv6 を有効にするかどうかを設定します。	
		[IPv6 自動設定]	設定	**[使用する]** / [使用しない]
			IPv6 自動設定を使用するかどうかを設定します。	
		[リンクローカルアドレス]	リンクローカルアドレスを表示します。	
		[グローバルアドレス]	グローバルアドレスを表示します。	
		[ゲートウェイアドレス]	ゲートウェイアドレスを表示します。	
[Netware]			設定	[使用する] / **[使用しない]**
			Netware を使用するかどうかを設定します。	

項目	説明	
［AppleTalk］	設定	［**有効**］/［無効］
	AppleTalk を有効にするかどうかを設定します。	
［ネットワーク速度］	設定	［**自動**］/［10Mbps 全二重］/［10Mbps 半二重］/［100Mbps 全二重］/［100Mbps 半二重］/［1Gbps 全二重］
	ネットワークの通信速度と双方向通信での通信方式を設定します。	
［IEEE802.1X 認証設定］	設定	［使用する］/［**使用しない**］
	IEEE802.1X 認証設定を使用するかどうかを設定します。	
［バイナリ分割］	設定	［する］/［**しない**］
	通信データを分割するかどうか設定します。	
［S/MIME 通信設定］	S/MIME 通信を設定します。	
［S/MIME 使用設定］	設定	［使用する］/［**使用しない**］
	S/MIME 通信を使用するかどうかを設定します。 ［使用しない］に設定すると、S/MIME 通信設定の設定項目は表示されません。	
［デジタル署名］	設定	［常に署名する］/［**常に署名しない**］/［通信時に選択する］
	デジタル署名を設定します。	
［メール本文の暗号化種類］	設定	［RC2-40］/［RC2-64］/［RC2-128］/［DES］/［**3DES**］/［AES-128］/［AES-192］/［AES-256］
	メール本文の暗号化方式を設定します。	
［証明書の自動取得］	設定	［はい］/［**いいえ**］
	証明書の自動取得をするかどうかを設定します。	
［S/MIME 情報の印刷］	設定	［はい］/［**いいえ**］
	S/MIME 情報を印刷するかどうかを設定します。	

[外部メモリプリント]

説明	
設定	[**有効**] / [無効]
外部メモリプリント機能を有効にするかどうかを設定します。	

[ジョブタイムアウト]

太字は工場出荷時の設定値を表します。

説明	
設定	5 ～ 300（**15**）
ジョブタイムアウトまでの時間を設定します。	

[コピー設定]

太字は工場出荷時の設定値を表します。

項目	説明	
[APS 解除時のトレイ設定]	設定	[**APS 選択前トレイ**] / [初期設定トレイ]
	給紙トレイ自動切換え（APS）を解除している場合に、選択するトレイを設定します。	
[記録用紙優先選択]	設定	[トレイ 1] / [**トレイ 2**] / [トレイ 3] / [トレイ 4]
	通常使用する給紙トレイを設定します。 オプションの給紙ユニットを装着していない場合、[トレイ 3]、[トレイ 4] は表示されません。	

[プリンター設定]

 太字は工場出荷時の設定値を表します。

項目	説明	
[スタートページ設定]	設定	[する] / [**しない**]
	本機の電源 ON 時にスタートページを印刷するかどうかを設定します。	
[自動継続]	設定	[する] / [**しない**]
	プリントジョブの用紙サイズ・種類と、指定した給紙トレイの用紙サイズ・種類が異なる場合に、印刷を継続するかどうかを設定します。	
[用紙設定]	プリント機能で使用する用紙の設定をします。	
[用紙設定]	通常使用する用紙を設定します。	
[用紙サイズ]	設定	[レター] / [リーガル] / [エグゼクティブ] / [**A4**] / [A5] / [A6] / [B5(JIS)] / [B6] / [G. レター] / [Statement] / [Folio] / [SP Folio] / [UK Quarto] / [Foolscap] / [G. リーガル] / [16K] / [10 x 15cm] / [カイ 16] / [カイ 32] / [洋形 2 号] / [封筒 DL] / [洋形 6 号] / [長形 3 号] / [長形 4 号] / [B5(ISO)] / [封筒 #10] / [ハガキ] / [往復ハガキ] / [8 1/8x13 1/4] / [8 1/2x13 1/2] / [不定形サイズ]
	用紙サイズを選択します。	
[不定形サイズ]	[幅] と [長さ] を選択して、カスタム用紙サイズを登録します。 [幅] の範囲：92 ～ 216mm [長さ] の範囲：148 ～ 356mm [用紙サイズ] で [不定形サイズ] を選択した場合に設定できます。	

項目			説明	
		［用紙種類］	設定	［普通紙］/［再生紙］/［厚紙 1］/［厚紙 2］/［ラベル紙］/［封筒］/［ハガキ］/［レターヘッド紙］/［光沢紙 1］/［光沢紙 2］/［両面不可紙］/［特殊紙］
			用紙種類を選択します。	
［単位系設定］			設定	［インチ］/［**mm**］
			使用する単位系を設定します。	
［ジョブ保持タイムアウト］			設定	［**保持しない**］/［1 時間］/［4 時間］/［1 日］/［1 週間］
			ハードディスクに保存したプリントジョブを消去するまでの時間の設定をします。	
［画質設定］			印刷品質に関する設定ができます。	
	［カラー設定］		設定	［**カラー**］/［グレースケール］
			［カラー］で印刷するか［グレースケール］で印刷するかを設定します。	
	［明度］		設定	-15 ～ 15%（**0%**）
			印刷する画像の明るさを調節します。	
	［ハーフトーン］		イメージ、文字、グラフィックそれぞれに対し、ハーフトーンの処理方法を設定します。	
		［イメージ印刷］	設定	［ラインアート］/［**詳細**］/［スムージング］
			イメージの中間色の再現性を設定します。 「ラインアート」: 高精密に中間色を再現します。 「詳細」: 詳細に中間色を再現します。 「スムージング」: スムーズに中間色を再現します。	

項目	説明	
［文字印刷］	設定	［**ラインアート**］/［詳細］/［スムージング］
	文字の中間色の再現性を設定します。 「ラインアート」: 高精密に中間色を再現します。 「詳細」: 詳細に中間色を再現します。 「スムージング」: スムーズに中間色を再現します。	
［グラフィック印刷］	設定	［ラインアート］/［**詳細**］/［スムージング］
	グラフィックの中間色の再現性を設定します。 「ラインアート」: 高精密に中間色を再現します。 「詳細」: 詳細に中間色を再現します。 「スムージング」: スムーズに中間色を再現します。	
［エッジ強調］	イメージ、文字、グラフィックそれぞれに対し、エッジ強調の処理方法を設定します。	
［イメージ印刷］	設定	［する］/［**しない**］
	イメージのエッジを強調します。 ［する］: エッジを強調します。 ［しない］: エッジを強調しません。	
［文字印刷］	設定	［**する**］/［しない］
	文字のエッジを強調します。 ［する］: エッジを強調します。 ［しない］: エッジを強調しません。	
［グラフィック印刷］	設定	［**する**］/［しない］
	グラフィックのエッジを強調します。 ［する］: エッジを強調します。 ［しない］: エッジを強調しません。	

項目	説明	
[エッジ強度]	設定	[しない] / [低] / [**中**] / [高]
	エッジを強くする場合、付加するエッジ強度ドットの強さを設定します。 [しない]：エッジ強度ドットを付加しません。 [低]：エッジ強度ドットを弱めに付加します。 [中]：エッジ強度ドットを付加します。 [高]：エッジ強度ドットを強めに付加します。	
[エコノミー印刷]	設定	[する] / [**しない**]
	トナー消費量を抑えた印刷を行うかどうかを設定します。 [する]：消費量を抑えた印刷を行います。 [しない]：消費量を抑えた印刷を行いません。	
[PCL 設定]	PCL モードでの印刷品質を設定します。	
[コントラスト]	設定	-15 ～ 15%（**0%**）
	印刷する画像のコントラストを調節します。	
[イメージ印刷]	RGB イメージデータの処理方法を設定します。	
[RGB ソース]	設定	[デバイス色] / [**sRGB**]
	RGB の画像データのカラースペースを設定します。 [デバイス色] を選択した場合は、本機のデバイスプロファイルを使用します。 ダウンロードマネージャーで RGB ソースプロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。	
[RGB 特性]	設定	[鮮やか] / [**写真調**]
	RGB の画像データを CMYK のデータに変換する時の特性を設定します。 [鮮やか]：鮮やかな出力になります。 [写真調]：より明るい出力になります。	

項目				説明	
			［RGB グレー再現］	設定	［ブラック =CMYK グレー＝ CMYK］ / ［**ブラック =K グレー＝ K**］ / ［ブラック =K グレー＝ CMYK］
				RGB の画像データの黒色とグレーの再現方法を設定します。 ［ブラック =CMYK グレー＝ CMYK］：CMYK を使用して再現します。 ［ブラック =K グレー＝ K］：グレースケールのみブラックを使用して再現します。 ［ブラック =K グレー＝ CMYK］：黒色のみブラックを使用して再現します。	
		［文字印刷］		RGB 文字データの処理方法を設定します。	
			［RGB ソース］	設定	［デバイス色］ / ［**sRGB**］
				RGB の文字データのカラースペースを設定します。 ［デバイス色］を選択した場合は、本機のデバイスプロファイルを使用します。	
			［RGB 特性］	設定	［**鮮やか**］ / ［写真調］
				RGB の文字データを CMYK のデータに変換する時の特性を設定します。 ［鮮やか］：鮮やかな出力になります。 ［写真調］：より明るい出力になります。	
			［RGB グレー再現］	設定	［ブラック =CMYK グレー＝ CMYK］ / ［**ブラック =K グレー＝ K**］ / ［ブラック =K グレー＝ CMYK］
				RGB の文字データの黒色とグレーの再現方法を設定します。 ［ブラック =CMYK グレー＝ CMYK］：CMYK を使用して再現します。 ［ブラック =K グレー＝ K］：グレースケールのみブラックを使用して再現します。 ［ブラック =K グレー＝ CMYK］：黒色のみブラックを使用して再現します。	

項目		説明
［グラフィック印刷］		RGB グラフィックデータの処理方法を設定します。
［RGB ソース］	設定	［デバイス色］/［**sRGB**］
		RGB のグラフィックデータのカラースペースを設定します。 ［デバイス色］を選択した場合は、本機のデバイスプロファイルを使用します。
［RGB 特性］	設定	［**鮮やか**］/［写真調］
		RGB のグラフィックデータを CMYK のデータに変換する時の特性を設定します。 ［鮮やか］: 鮮やかな出力になります。 ［写真調］: より明るい出力になります。
［RGB グレー再現］	設定	［ブラック =CMYK グレー＝ CMYK］/［**ブラック =K グレー＝ K**］/［ブラック =K グレー＝ CMYK］
		RGB のグラフィックデータの黒色とグレーの再現方法を設定します。 ［ブラック =CMYK グレー＝ CMYK］: CMYK を使用して再現します。 ［ブラック =K グレー＝ K］: グレースケールのみブラックを使用して再現します。 ［ブラック =K グレー＝ CMYK］: 黒色のみブラックを使用して再現します。
［PS 設定］		PS モードでの印刷品質を設定します。
［イメージ印刷］		RGB イメージデータの処理方法を設定します。

項目	説明	
［RGB ソース］	設定	［デバイス色］/［**sRGB**］/［AppleRGB］/［AdobeRGB1998］/［ColorMatchRGB］/［BlueAdjustRGB］
	RGB の画像データのカラースペースを設定します。 ［デバイス色］を選択した場合は、本機のデバイスプロファイルを使用します。 ダウンロードマネージャーで RGB ソースプロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。	
［RGB 特性］	設定	［鮮やか］/［**写真調**］/［相対色］/［絶対色］
	RGB の画像データを CMYK のデータに変換する時の特性を設定します。 ［鮮やか］：鮮やかな出力になります。 ［写真調］：より明るい出力になります。 ［相対色］：相対色が RGB ソースプロファイルに反映されます。 ［絶対色］：絶対色が RGB ソースプロファイルに反映されます。	
［RGB グレー再現］	設定	［ブラック =CMYK グレー＝ CMYK］/［**ブラック =K グレー＝ K**］/［ブラック =K グレー＝ CMYK］
	RGB の画像データの黒色とグレーの再現方法を設定します。 ［ブラック =CMYK グレー＝ CMYK］：CMYK を使用して再現します。 ［ブラック =K グレー＝ K］：グレースケールのみブラックを使用して再現します。 ［ブラック =K グレー＝ CMYK］：黒色のみブラックを使用して再現します。	

項目	説明	
［登録プロファイル］	設定	［**自動**］
	出力プロファイルを設定します。 「自動」: 設定されたカラーマッチングや、中間色、他のプロファイルの組み合わせにより、本機が自動的に適応する出力プロファイルを選択します。 ダウンロードマネージャーで出力プロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。	
［文字印刷］	RGB 文字データの処理方法を設定します。	
［RGB ソース］	設定	［デバイス色］/［**sRGB**］/［AppleRGB］/［AdobeRGB1998］/［ColorMatchRGB］/［BlueAdjustRGB］
	RGB の文字データのカラースペースを設定します。 ［デバイス色］を選択した場合は、本機のデバイスプロファイルを使用します。 ダウンロードマネージャーで RGB ソースプロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。	
［RGB 特性］	設定	［鮮やか］/［**写真調**］/［相対色］/［絶対色］
	RGB の文字データを CMYK のデータに変換する時の特性を設定します。 ［鮮やか］: 鮮やかな出力になります。 ［写真調］: より明るい出力になります。 ［相対色］: 相対色が RGB ソースプロファイルに反映されます。 ［絶対色］: 絶対色が RGB ソースプロファイルに反映されます。	

項目	説明	
［RGB グレー再現］	設定	［ブラック =CMYK グレー＝ CMYK］/［**ブラック =K グレー＝ K**］/［ブラック =K グレー＝ CMYK］
	RGB の文字データの黒色とグレーの再現方法を設定します。 ［ブラック =CMYK グレー＝ CMYK］：CMYK を使用して再現します。 ［ブラック =K グレー＝ K］：グレースケールのみブラックを使用して再現します。 ［ブラック =K グレー＝ CMYK］：黒色のみブラックを使用して再現します。	
［登録プロファイル］	設定	［**自動**］
	出力プロファイルを設定します。 「自動」：設定されたカラーマッチングや、中間色、他のプロファイルの組み合わせにより、本機が自動的に適応する出力プロファイルを選択します。 ダウンロードマネージャーで出力プロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。	
［グラフィック印刷］	RGB グラフィックデータの処理方法を設定します。	
［RGB ソース］	設定	［デバイス色］/［**sRGB**］/［AppleRGB］/［AdobeRGB1998］/［ColorMatchRGB］/［BlueAdjustRGB］
	RGB のグラフィックデータのカラースペースを設定します。 ［デバイス色］を選択した場合は、本機のデバイスプロファイルを使用します。 ダウンロードマネージャーで RGB ソースプロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。	

項目	説明	
［RGB 特性］	設定	［**鮮やか**］/［写真調］/［相対色］/［絶対色］
	RGB のグラフィックデータを CMYK のデータに変換する時の特性を設定します。 ［鮮やか］：鮮やかな出力になります。 ［写真調］：より明るい出力になります。 ［相対色］：相対色が RGB ソースプロファイルに反映されます。 ［絶対色］：絶対色が RGB ソースプロファイルに反映されます。	
［RGB グレー再現］	設定	［ブラック =CMYK グレー＝ CMYK］/［**ブラック =K グレー＝ K**］/［ブラック =K グレー＝ CMYK］
	RGB のグラフィックデータの黒色とグレーの再現方法を設定します。 ［ブラック =CMYK グレー＝ CMYK］：CMYK を使用して再現します。 ［ブラック =K グレー＝ K］：グレースケールのみブラックを使用して再現します。 ［ブラック =K グレー＝ CMYK］：黒色のみブラックを使用して再現します。	
［登録プロファイル］	設定	［**自動**］
	出力プロファイルを設定します。 「自動」：設定されたカラーマッチングや、中間色、他のプロファイルの組み合わせにより、本機が自動的に適応する出力プロファイルを選択します。 ダウンロードマネージャーで出力プロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。	
［シミュレーション］	シミュレーションプロファイルを設定します。	

項目	説明	
［シミュレーションプロファイル］	設定	［**なし**］/［SWOP］/［Euroscale］/［CommercialPress］/［JapanColor］/［TOYO］/［DIC］
	シミュレーションプロファイルを選択します。 ［なし］を選択した場合は、シミュレーションプロファイルを設定しません。 ダウンロードマネージャーで出力プロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。	
［シミュレーション特性］	設定	［**相対色**］/［絶対色］
	シミュレーションプロファイルの特性を設定します。 ［相対色］: 相対色がシミュレーションプロファイルに反映されます。 ［絶対色］: 絶対色がシミュレーションプロファイルに反映されます。	
［CMYK グレー再現］	設定	［**ブラック =CMYK グレー＝ CMYK**］/［ブラック =K グレー＝ K］/［ブラック =K グレー＝ CMYK］
	CMYK の 4 色で作成された黒色とグレーの再現方法を設定します。 ［ブラック =CMYK グレー＝ CMYK］: CMYK を使用して再現します。 ［ブラック =K グレー＝ K］: グレースケールのみブラックを使用して再現します。 ［ブラック =K グレー＝ CMYK］: 黒色のみブラックを使用して再現します。	
［階調補正］	階調を補正します。	
［濃度補正］	設定	［**する**］/［しない］
	画質調整を有効にするかどうかを設定します。	

項目	説明	
［画像安定化制御］	設定	［実行］/［**中止**］
	［実行］：画質調整を実行します。 ［中止］：画質調整を実行しません。 *この機能を使用すると、トナーが消費されますのでご注意ください。*	
［CMYK 濃度調整］	シアン / マゼンタ / イエロー / ブラックそれぞれに対して CMYK 濃度を調整します。	
［シアン］/［マゼンタ］/［イエロー］/［ブラック］	設定	-3 ～ 3（**0**）
	ハイライト部 / 中間部 / シャドウ部の CMYK 濃度を設定します。	
［色分解］	設定	［する］/［**しない**］
	色分解を有効にするかどうかを設定します。［する］にすると、1 ページを YMCK の色要因で分割して黒で 4 ページ印刷します（YMCK 順）。	
［エミュレーション］	プリンター制御言語を設定します。	
［優先エミュレーション］	設定	［**自動**］/［PS］/［PCL］
	プリンター制御言語を選択します。 ［自動］を選択した場合は、本機が受信したプリントジョブから自動的にプリンター制御言語を選択します。	
［PS］	PS（PostScript）の機能を設定します。	
［ウェイトタイムアウト時間］	設定	0 ～ 300（**0**）
	ポストスクリプトエラーと判断するまでの時間を設定します。 「0」を選択した場合は、タイムアウトを行いません。	

項目	説明	
［PS エラー印刷］	設定	［する］/［**しない**］
	ポストスクリプトエラーが発生した時に、エラーページを印刷するかどうかを設定します。	
［PS プロトコル］	設定	［**自動**］/［通常］/［バイナリ］
	ポストスクリプトのデータストリームとのデータ通信のプロトコルを設定します。 ［自動］を選択した場合は、本機がデータストリームから自動的に適合するプロトコルを判断します。	
［自動トラッピング］	設定	［する］/［**しない**］
	自動トラップ機能を設定すると、絵柄の周囲に白い隙間が出ないように隣り合う色を重ねて印刷します。	
［ブラックオーバープリント］	設定	［文字 / 図］/［文字］/［**しない**］
	ブラックオーバープリント機能を使うと、黒い文字や図形の周囲に白い隙間が出ないように隣り合う色に黒を重ねて印刷します。 ［文字 / 図］: 重なる条件を文字と図に設定します。 ［文字］: 重なる条件を文字に設定します。	
［PCL］	PCL の機能を設定します。	
［CR/LF マッピング］	設定	［**CR=CR LF=LF**］/［CR=CRLF LF=LF］/［CR=CR LF=LFCR］/［CR=CRLF LF=LFCR］
	PCL 言語での改行コードの定義を選択します。	
［ライン / ページ］	設定	5 ～ 128（**60**）
	ページごとの線数を選択します。	
［フォント設定］	PCL 言語でのフォントを設定します。	

項目	説明	
［フォント番号］	設定	0 ～ 110（**000**）
	PCL 言語でのデフォルトのフォントを設定します。 表示されるフォント番号は PCL フォントリストに対応しています。フォントリストの印刷については、「［プリンター設定］」（p.74）をごらんください。	
［ピッチサイズ］	設定	0.44 ～ 99.99（**10.00**）
	PCL 言語でのフォントサイズを設定します。 ［フォント番号］メニューで選択したフォントがビットマップフォントの場合、［ピッチサイズ］と表示されます。アウトラインフォントの場合は、［ポイントサイズ］と表示されます。	
［シンボルセット］	設定	［**PC8**］/［Desktop］/［IOS4］/［ISO6］/［ISO11］/［ISO15］/［ISO17］/［ISO21］/［ISO60］/［ISO69］/［ISOL1］/［ISOL2］/［ISOL5］/［ISOL6］/［ISOL9］/［リーガル］/［Math8］/［MCText］/［MSPUBL］/［PC775］/［PC850］/［PC852］/［PC858］/［PC8DN］/［PC8TK］/［PC1004］/［PiFont］/［PS math］/［PS Text］/［Roman 8］/［WIN30］/［WIN Balt］/［WINL1］/［WINL2］/［WINL5］/［ARABIC8］/［HPWARA］/［PC864ARA］/［HEBREW7］/［HEBREW8］/［ISOHEB］/［PC862HEB］/［ISOCYR］/［PC866CYR］/［WINCYR］/［PC866UKR］/［GREEK 8］/［WINGRK］/［PC851GRK］/［PC8GRK］/［ISOGRK］
	PCL 言語で使用するシンボルセットを選択します。	
［XPS］	XPS の機能を設定します。	
［デジタル署名］	設定	［有効］/［**無効**］
	XPS 電子署名を有効にするかどうかを設定します。	
［XPS エラー印刷］	設定	［**する**］/［しない］
	XPS エラー発生時にエラーページを印刷するかどうかを設定します。	

[ファクス設定]

ファクスに関する機能を設定します。詳しくは、「ファクス ユーザーズガイド」をごらんください。

[メンテナンスメニュー]

太字は工場出荷時の設定値を表します。

項目	説明	
[印刷メニュー]	エラーログやハーフトーンのパターン、レポートなどを印刷できます。	
[エラーログ情報]	設定	[**印刷**] / [中止]
	イベントログを印刷します。	
[ハーフトーン 64]	濃度 25%のハーフトーンパターンを印刷します。	
[シアン 64] / [マゼンタ 64] / [イエロー 64] / [ブラック 64]	設定	[**印刷**] / [中止]
	シアン / マゼンタ / イエロー / ブラックの色ごとに印刷します。	
[ハーフトーン 128]	濃度 50%のハーフトーンパターンを印刷します。	
[シアン 128] / [マゼンタ 128] / [イエロー 128] / [ブラック 128]	設定	[**印刷**] / [中止]
	シアン / マゼンタ / イエロー / ブラックの色ごとに印刷します。	
[ハーフトーン 256]	濃度 100%のハーフトーンパターンを印刷します。	

項目			説明	
		[シアン 256] / [マゼンタ 256] / [イエロー 256] / [ブラック 256]	設定	[**印刷**] / [中止]
			シアン / マゼンタ / イエロー / ブラックの色ごとに印刷します。	
	[グラデーション]		設定	[**印刷**] / [中止]
			グラデーションパターンを印刷します。	
	[通信管理レポート]		設定	[**印刷**] / [中止]
			通信管理レポートを印刷します。	
	[スキャン送信レポート]		設定	[**印刷**] / [中止]
			スキャン送信レポートを印刷します。	
	[スキャナイベントログ]		設定	[**印刷**] / [中止]
			スキャナイベントログを印刷します。	
[プリンター調整]			プリンターの調整ができます。	
	[印刷位置調整 : 先端]		用紙先端（上）の余白を調整します。	
		[普通紙]	設定	-15 ～ 15
			普通紙に片面印刷するときの用紙先端（上）の余白の量を補正します。	
		[厚紙 1]	設定	-15 ～ 15
			厚紙 1 に片面印刷するときの用紙先端（上）の余白の量を補正します。	
		[厚紙 2]	設定	-15 ～ 15
			厚紙 2 に片面印刷するときの用紙先端（上）の余白の量を補正します。	

項目		説明
［封筒］	設定	-15 ~ 15
	封筒に片面印刷するときの用紙先端（上）の余白の量を補正します。	
［印刷位置：側端］	用紙側端（左）の余白を調整します。	
［トレイ 1］	設定	-15 ~ 15
	トレイ 1 の用紙に片面印刷するときの用紙側端（左）の余白の量を補正します。	
［トレイ 2］	設定	-15 ~ 15
	トレイ 2 の用紙に片面印刷するときの用紙側端（左）の余白の量を補正します。	
［トレイ 3］	設定	-15 ~ 15
	トレイ 3 の用紙に片面印刷するときの用紙側端（左）の余白の量を補正します。	
［トレイ 4］	設定	-15 ~ 15
	トレイ 4 の用紙に片面印刷するときの用紙側端（左）の余白の量を補正します。	
［両面印刷位置：側端］	自動両面印刷する場合の用紙側端（左）の余白を調整します。	
［トレイ 1］	設定	-15 ~ 15
	トレイ 1 の用紙に両面印刷するときの用紙側端（左）の余白の量を補正します。	
［トレイ 2］	設定	-15 ~ 15
	トレイ 2 の用紙に両面印刷するときの用紙側端（左）の余白の量を補正します。	
［トレイ 3］	設定	-15 ~ 15
	トレイ 3 の用紙に両面印刷するときの用紙側端（左）の余白の量を補正します。	

項目		説明
［トレイ 4］設定	設定	-15 ～ 15
	トレイ 4 の用紙に両面印刷するときの用紙側端（左）の余白の量を補正します。	
［2 次転写電流補正］	2 次転写出力（ATVC）を調整します。	
［片面］	片面印刷する場合の調整をします。	
［普通紙］	設定	-8 ～ 7
	普通紙に片面印刷する場合の、2 次転写出力（ATVC）を調整します。	
［厚紙 1］	設定	-8 ～ 7
	厚紙 1 に片面印刷する場合の、2 次転写出力（ATVC）を調整します。	
［厚紙 2］	設定	-8 ～ 7
	厚紙 2 に片面印刷する場合の、2 次転写出力（ATVC）を調整します。	
［ハガキ］	設定	-8 ～ 7
	ハガキに片面印刷する場合の、2 次転写出力（ATVC）を調整します。	
［封筒］	設定	-8 ～ 7
	封筒に片面印刷する場合の、2 次転写出力（ATVC）を調整します。	
［ラベル紙］	設定	-8 ～ 7
	ラベル紙に片面印刷する場合の、2 次転写出力（ATVC）を調整します。	
［光沢紙 1］	設定	-8 ～ 7
	光沢紙 1 に片面印刷する場合の、2 次転写出力（ATVC）を調整します。	

項目			説明
［光沢紙 2］	設定	-8 ～ 7	
	光沢紙 2 に片面印刷する場合の、2 次転写出力（ATVC）を調整します。		
［両面 2 面目］	手差し両面印刷する場合の調整をします。		
［普通紙］	設定	-8 ～ 7	
	普通紙に両面印刷する場合の、2 次転写出力（ATVC）を調整します。		
［厚紙 1］	設定	-8 ～ 7	
	厚紙 1 に両面印刷する場合の、2 次転写出力（ATVC）を調整します。		
［厚紙 2］	設定	-8 ～ 7	
	厚紙 2 に両面印刷する場合の、2 次転写出力（ATVC）を調整します。		
［ハガキ］	設定	-8 ～ 7	
	ハガキに両面印刷する場合の、2 次転写出力（ATVC）を調整します。		
［封筒］	設定	-8 ～ 7	
	封筒に両面印刷する場合の、2 次転写出力（ATVC）を調整します。		
［ラベル紙］	設定	-8 ～ 7	
	ラベル紙に両面印刷する場合の、2 次転写出力（ATVC）を調整します。		
［光沢紙 1］	設定	-8 ～ 7	
	光沢紙 1 に両面印刷する場合の、2 次転写出力（ATVC）を調整します。		

項目	説明	
［光沢紙 2］	設定	-8 ～ 7
	光沢紙 2 に両面印刷する場合の、2 次転写出力（ATVC）を調整します。	
［厚紙画像濃度補正］	厚紙に画像を印刷する場合の、各色の濃度を調整します。	
［シアン］	設定	-5 ～ 5（**0**）
	厚紙に画像を印刷する場合の、シアンの濃度を調整します。	
［マゼンタ］	設定	-5 ～ 5（**0**）
	厚紙に画像を印刷する場合の、マゼンタの濃度を調整します。	
［イエロー］	設定	-5 ～ 5（**0**）
	厚紙に画像を印刷する場合の、イエローの濃度を調整します。	
［ブラック］	設定	-5 ～ 5（**0**）
	厚紙に画像を印刷する場合の、ブラックの濃度を調整します。	
［モノクロ画像濃度補正］	設定	-2 ～ 2（**0**）
	黒で印刷する画像の濃度を調整します。	
［細線調整］	設定	-3 ～ 2（**0**）
	帯電ローラーへの印加電圧（VC）を変化させることで、細線の再現性を調整します。	
［AIDC モード］	設定	［モード 1］/［**モード 2**］
	AIDC 動作モードを設定します。 ［モード 1］：標準モードが設定されます。 ［モード 2］：低モードが設定されます。	

項目	説明	
[厚紙時優先設定]	設定	[**画質優先**] / [速度優先]
	現像器の半速駆動による現像器内のトナー詰まりを防止するため、厚紙通紙時に定期的に現像器を全速駆動させるタイミングを設定します。 [画質優先]：厚紙印刷中、定期的に印刷を中断し、現像器を所定時間全速駆動させます。印字が中断されるため、画質の変化はありませんが、半速駆動約 400 秒ごとに約 70 秒の待機時間が生じます。 [速度優先]：厚紙印刷中、現像器の駆動のみを定期的に所定時間全速駆動に切り換えます。全速駆動中も印字は継続されるため、わずかに画質が変化しますが、待機時間は短くなります。	
[エンジン DipSW]	エンジンの設定を調整します。	
[エンジン DipSW 1] ～ [エンジン DipSW 28]	設定	[する] / [**しない**]
	エンジンの設定を変更する場合に使用します。 通常は設定を変更する必要はありません。 設定変更が必要な場合はサービス技術者の指示にしたがって変更してください。	
[マニュアル主倍補正]	主走査方向の倍率を調整します。	
[マニュアル主倍補正印刷]	設定	[**印刷**] / [中止]
	主走査方向の倍率を調整するためのテストパターンを印刷します。	
[マニュアル主倍補正値]	主走査方向の倍率を調整します。	
[イエロー]	設定	-42 ～ 42
	イエローの主走査方向の倍率を調整します。	
[マゼンタ]	設定	-42 ～ 42
	マゼンタの主走査方向の倍率を調整します。	

項目		説明
［シアン］	設定	-42 ～ 42
	シアンの主走査方向の倍率を調整します。	
［サプライ品］	消耗品の交換設定をします。	
［交換］	交換後のカウンター値をリセットします。	
［転写ベルトユニット］	設定	［はい］ / ［**いいえ**］
	転写ベルトユニットのカウンター値をリセットします。	
［転写ローラーユニット］	設定	［はい］ / ［**いいえ**］
	転写ローラーユニットのカウンター値をリセットします。	
［定着ユニット］	設定	［はい］ / ［**いいえ**］
	定着ユニットのカウンター値をリセットします。	

［フォルダー設定］

太字は工場出荷時の設定値を表します。

項目		説明
［自動削除間隔］	設定	［**削除しない**］ / ［12 時間］ / ［1 日］ / ［2 日間］ / ［3 日間］ / ［7 日間］ / ［30 日間］
	データの自動削除を実行する間隔を設定します。	
［自動文書削除時間］	設定	［削除しない］ / ［12 時間］ / ［**1 日**］ / ［2 日間］ / ［3 日間］ / ［7 日間］ / ［30 日間］
	データが HDD に保存されてから自動的に削除されるまでの時間を設定します。	
［文書保持設定］	設定	［する］ / ［**しない**］
	印刷後に文書を保持するかどうかを設定します。	

[セキュリティ設定]

太字は工場出荷時の設定値を表します。

項目	説明	
[管理者パスワード]	設定	[**12345678**]
	管理者パスワードを変更します。 管理者パスワードは 0 〜 8 桁で設定できます。 パスワード規約が設定されている場合は、8 桁のパスワードを設定する必要があります。 管理者パスワードの入力を設定された回数間違えると、本機の操作が禁止されます。この場合は、本機の電源を入れなおしてください。 [パスワード]（上）: 現在のパスワードを入力します。 [パスワード]（下）: 新しいパスワードを入力します。	
[セキュリティ詳細]	セキュリティに関する詳細設定を行い、本機の機能を制限します。機能が制限されることで、セキュリティを強化できます。	
[パスワード規約]	設定	[する] / [**しない**]
	パスワード規約を有効にするかどうかを設定できます。 有効にした場合は、パスワードに制約がかかります。 ＜パスワード規約による制約＞ ■ 8 桁または 8 桁以上のパスワードを設定します。 ■ 英字の大文字と小文字は区別されます。 ■ 使用できる記号は、半角記号です。「"」「+」「スペース」は一部設定が制限されています。 ■ 同一文字のみのパスワードは設定できません。 ■ 変更時に、変更前と同じパスワードは登録できません。	
[登録宛先変更]	設定	[**許可**] / [禁止]
	アドレス帳の登録内容の編集を許可するかどうかを設定します。[禁止] にすると、アドレス帳を変更できません。	

項目	説明	
［手動宛先入力］	設定	［**許可**］/［禁止］
	手動宛先入力を許可するかどうかを設定します。［禁止］にすると、手動で宛先を入力できません。	
［個人情報非表示］	設定	［する］/［**しない**］
	ジョブ表示画面の履歴リストで、宛先を表示するかどうかを設定します。	
［通信履歴非表示］	設定	［する］/［**しない**］
	通信履歴を表示するかどうかを設定します。	
［外部メモリ保存禁止］	設定	［**許可**］/［禁止］
	スキャンデータを USB メモリーに保存することを許可するかどうかを設定します。	
［セキュリティ強化設定］	設定	［する］/［**しない**］
	セキュリティー強化設定を有効にすることで、さまざまなセキュリティー機能が設定され、データ管理において安全性をより高めることができます。詳しくは、「セキュリティ強化設定について」（p.133）をごらんください。	
［HDD 管理設定］	HDD の使用領域、残量などを確認できます。	
［HDD 容量確認］	HDD の使用容量を確認できます。	
［全領域上書き削除］	HDD の全領域を上書きしてデータを削除します。	

項目	説明	
［モード］	設定	**［モード 1］** / ［モード 2］ / ［モード 3］ / ［モード 4］ / ［モード 5］ / ［モード 6］ / ［モード 7］ / ［モード 8］
	HDD の上書き方法を選択します。 ［モード 1］:「0x00」で上書きします。 ［モード 2］: 1 バイトのランダムな数字→ 1 バイトのランダムな数字→「0x00」で上書きします。 ［モード 3］:「0x00」→「0xff」→ 1 バイトのランダムな数字→確認の順で上書きします。 ［モード 4］: 1 バイトのランダムな数字→「0x00」→「0xff」で上書きします。 ［モード 5］:「0x00」→「0xff」→「0x00」→「0xff」で上書きします。 ［モード 6］:「0x00」→「0xff」→「0x00」→「0xff」→「0x00」→「0xff」→固定の 512 バイトのデータで上書きします。 ［モード 7］:「0x00」→「0xff」→「0x00」→「0xff」→「0x00」→「0xff」→「0xaa」で上書きします。 ［モード 8］:「0x00」→「0xff」→「0x00」→「0xff」→「0x00」→「0xff」→「0x00」→「0xff」→「0xaa」→確認の順で上書きします。	

項目	説明
［実行］	HDD の上書きを実行します。 以下のデータも削除されます。 ■ 登録ユーザー、部門データ ■ 機密印刷などのジョブ ■ イメージファイル 上書き中は本機の電源を切らないでください。
［SSD 低レベルフォーマット］	SSD の上書きを実行します。 以下のデータも削除されます。 ■ ファクスデータ ■ アドレス帳 ■ S/MIME の認証情報 ■ イメージファイル 上書き中は本機の電源を切らないでください。

管理者パスワードの変更

1 管理者設定にログインし、［セキュリティ設定］－［管理者パスワード］を押します。
2 ［パスワード］（上）を押します。
3 現在のパスワードを入力し、［OK］を押します。
4 ［パスワード］（下）を押します。
5 新しいパスワードを入力し、［OK］を押します。
6 ［OK］を押します。

パスワード規約について

［パスワード規約］を有効にした場合は、パスワードに制約がかかります。

＜影響するパスワード＞

■ 管理者パスワード

■ ユーザーパスワード

■ 部門パスワード

■ 機密印刷のパスワード

＜パスワード規約による制約＞

■ 8 桁または 8 桁以上のパスワードを設定します。

■ 英字の大文字と小文字は区別されます。

■ 使用できる記号は、半角記号です。「"」「+」「スペース」は一部設定が制限されています。

■ 同一文字のみのパスワードは設定できません。

■ 変更時に、変更前と同じパスワードは登録できません。

セキュリティ強化設定について

セキュリティー強化設定を有効にすることで、さまざまなセキュリティー機能が設定され、データ管理において安全性をより高めることができます。

セキュリティ強化設定に適合しない機能設定がある場合、セキュリティ強化設定を有効にすることができません。

セキュリティ強化設定を有効にすると、セキュリティ強化設定に必要な設定やセキュリティ強化設定で変更される設定は変更できません。

＜セキュリティ強化設定に必要な設定＞

セキュリティ強化設定を有効にするには、あらかじめ以下の設定が必要です。

管理者設定の設定メニュー	必要な設定
[セキュリティ設定] ― [管理者パスワード]	パスワード規約を満たすパスワードに設定します。
[セキュリティ設定] ― [セキュリティ詳細] ― [パスワード規約]	[する] に設定します。
PageScope Web Connection の [セキュリティ] / [認証] / [一般設定]	[ユーザー認証] で [デバイス]、[外部サーバー] のどちらかを選択します。
PageScope Web Connection の [セキュリティ] / [PKI 設定] / [デバイス証明書]	SSL 通信を行うため、証明書を登録します。

＜セキュリティ強化設定で変更される設定＞

セキュリティ強化設定を有効にすると、セキュリティを強化するため連動して以下のように設定変更されます。

- ■ 変更された設定は、［セキュリティ強化設定］を［しない］に戻した場合、変更されません。
- ■ パスワード規約が有効に設定されると、規約を満たしていないパスワードは認証時に認証失敗になります。

管理者設定の設定メニュー	変更される設定
［認証設定］－［ユーザーリスト表示設定］	［しない］に設定されます。
［セキュリティ設定］－［セキュリティ詳細］－［登録宛先変更］	［禁止］に設定されます。
PageScope Web Connection の［セキュリティ］/［認証］/［一般設定］	■ ［パブリック許可］が［制限］に設定されます。 ■ ［認証なしプリント］が［制限］に設定されます。
PageScope Web Connection の［セキュリティ］/［PKI 設定］/［SSL/TLS 設定］	■ ［SSL/TLS］が［有効］に設定されます。 ■ ［暗号化の強度］が［AES-256, 3DES］に設定されます。
PageScope Web Connection の［ネットワーク］/［FTP 設定］/［FTP サーバー設定］	［FTP サーバー］が［無効］に設定されます。
PageScope Web Connection の［ネットワーク］/［SNMP 設定］/［SNMP 設定］	■ ［SNMP v1/v2c 設定］/［ライト］が［無効］に設定されます。 ■ ［SNMP v3 設定］/［ライトユーザー名］/［セキュリティーレベル］が［認証パスワード / プライバシーパスワード］に設定されます。

管理者設定の設定メニュー	変更される設定
PageScope Web Connection の［ネットワーク］/［OpenAPI 設定］/［OpenAPI 設定］	［SSL/TLS］が［SSL のみ可］に設定されます。
PageScope Web Connection の［ネットワーク］/［TCP Socket 設定］/［TCP Socket 設定］	［SSL/TLS］が［SSL のみ可］に設定されます。

［初期化設定］

項目	説明
［ネットワーク設定初期化］	ネットワーク設定を初期化します。 実行すると、自動的に本機が再起動します。
［システム設定初期化］	システム設定を初期化します。 実行すると、自動的に本機が再起動します。
［全設定初期化］	全設定を初期化します。 実行すると、自動的に本機が再起動します。

［HDD フォーマット］

項目	説明
［ユーザーエリア (プリント)］	印刷ジョブ蓄積エリアをフォーマットします。 実行すると、自動的に本機が再起動します。
［ユーザーエリア (スキャン)］	スキャンジョブ蓄積エリアをフォーマットします。 実行すると、自動的に本機が再起動します。
［全領域］	全領域をフォーマットします。 実行すると、自動的に本機が再起動します。

[ペーパーエンプティー設定]

太字は工場出荷時の設定値を表します。

項目	説明	
[トレイ 1]	設定	[する] / [**しない**]
	トレイ 1 の用紙がなくなったときにメッセージを表示するかどうかを設定します。	
[トレイ 2]	設定	[**する**] / [しない]
	トレイ 2 の用紙がなくなったときにメッセージを表示するかどうかを設定します。	
[トレイ 3]	設定	[**する**] / [しない]
	トレイ 3 の用紙がなくなったときにメッセージを表示するかどうかを設定します。	
[トレイ 4]	設定	[**する**] / [しない]
	トレイ 4 の用紙がなくなったときにメッセージを表示するかどうかを設定します。	

[禁止コード設定]

項目	説明
禁止コード設定	OpenAPI 連携アプリケーションの禁止コードの一覧を表示します。 [新規登録]:連携アプリケーションの禁止コードを新規に登録します。コードは、インデックス、開発元コード、アプリケーションが入力できます。

用紙の取り扱い 4

使用できる用紙サイズ

本機では以下の用紙が使用できます。

用紙	用紙サイズ		給紙トレイ *	両面印刷	コピー /スキャン	ファクス
	ミリ（mm）	インチ（in.）				
レター	215.9 × 279.4	8.5 × 11.0	1/2/3/4	○	○	○
レター Plus	215.9 × 322.3	8.5 × 12.69	1/2	○	○	×
G. レター	203.2 × 266.7	8.0 × 10.5	1/2	○	○	×
リーガル	215.9 × 355.6	8.5 × 14.0	1/2/3/4	○	○	○
エグゼクティブ	184.2 × 266.7	7.25 × 10.5	1/2/3/4	○	○	×
Statement	139.7 × 215.9	5.5 × 8.5	1/2	×	○	×
16 K	195.0 × 270.0	7.7 × 10.6	1/2	○	○	×
UK Quarto	203.2 × 254.0	8.0 × 10.0	1/2	○	○	×
Foolscap	203.2 × 330.2	8.0 × 13.0	1/2	○	○	×
G. リーガル	215.9 × 330.2	8.5 × 13.0	1/2/3/4	○	○	×
Folio	210.0 × 330.0	8.25 × 13.0	1/2	○	○	×
8 1/2 x 13 1/2	215.9 × 342.9	8.5 × 13.5	1/2	○	○	○
8 1/8 x 13 1/4	206.4 × 336.6	8.125 × 13.25	1/2	○	○	×
A4	210.0 × 297.0	8.2 × 11.7	1/2/3/4	○	○	○
A5	148.0 × 210.0	5.9 × 8.3	1/2	×	○	×
B5 (JIS)	182.0 × 257.0	7.2 × 10.1	1/2/3/4	○	○	×
A6	105.0 × 148.0	4.1 × 5.8	1/2	×	○ **	×
B6	128.0 × 182.0	5.0 × 7.2	1/2	×	○ **	×
Photo size 4 × 6"	101.6 × 152.4	4.0 × 6.0	1/2	×	○ **	×
Photo size 10 × 15	101.6 × 152.4	4.0 × 6.0	1/2	×	○ **	×
Photo size E size	82.5 × 117.0	3.2 × 4.6	-	×	○ **	×

用紙	用紙サイズ		給紙トレイ *	両面印刷	コピー/スキャン	ファクス
	ミリ（mm）	インチ（in.）				
Photo size L size	89.0 × 127.0	3.5 × 5.0	-	×	○ **	×
Photo size 9 × 13	90.0 × 130.0	3.5 × 5.1	-	×	○ **	×
Photo size 13 × 18	130.0 × 180.0	5.1 × 7.1	-	×	○ **	×
Photo size 3 × 5"	76.2 × 127.0	3.0 × 5.0	-	×	○ **	×
Photo size 2 1/4 × 3 1/4"	57.1 × 82.5	2.25 × 3.29	-	×	○ **	×
ハガキ	100.0 x 148.0	3.9 × 5.8	1/2	×	○ **	×
往復ハガキ	148.0 × 200.0	5.8 × 7.9	1/2	×	○	×
B5 (ISO)	176.0 × 250.0	6.9 × 9.8	1	×	○	×
封筒 #10	104.8 × 241.3	4.125 × 9.5	1	×	×	×
洋形 6 号	190.5 × 98.4	7.5 × 3.875	1	×	×	×
封筒 DL	220.0 × 110.0	8.7 × 4.3	1	×	×	×
洋形 2 号	162.0 × 114.0	6.4 × 4.5	1	×	×	×
長形 3 号	120.0 × 235.0	4.7 × 9.2	1	×	×	×
長形 4 号	90.0 × 205.0	3.5 × 8.1	1	×	×	×
Kai 16	185.0 × 260.0	7.3 × 10.2	1/2	○	○	×
Kai 32	130.0 × 185.0	5.1 × 7.3	1/2	×	○ **	×
カスタムサイズ（最小値）	92.0 × 148.0	3.6 × 5.8	1/2***	○ ****	○	○
カスタムサイズ（最大値）	216.0 × 356.0	8.5 × 14.0	1/2***	○ ****	×	×

備考： *　トレイ 1 ＝手差しトレイ
トレイ 3/4 ＝オプションの給紙ユニット PF-P08

** 原稿ガラス使用時のみ

*** トレイ 1/2 の最大幅は 216.0 mm ですが、封筒 DL（幅：220.0 mm）は例外としてトレイ 1 で印刷可能です。

**** 182.0 - 216.0 × 254.0 - 356.0 の範囲が使用可能です。

用紙種類

用紙はセットするまで包装紙の中に入れ、平らな場所で保管してください。

普通紙以外の特殊紙を使って大量に印刷する際には、十分な品質の印刷結果が得られるか、あらかじめ試し印刷をしてください。

普通紙（再生紙）

容量	**トレイ 1** **（手差しトレイ）**	100 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	250 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 3/4	500 枚（用紙の厚さにより変わります）
用紙のセット方向	**トレイ 1** **（手差しトレイ）**	印刷面が下向き
	トレイ 2/3/4	印刷面が上向き
プリンタードライバーでの用紙種類の設定	普通紙 再生紙	
坪量	60 ～ 90 g/m²	
両面印刷	「使用できる用紙サイズ」（p.138）をごらんください。	

以下の用紙を使用してください。

■ 販売店で取り扱っている OA 用紙、再生紙など、レーザープリンター対応の普通紙（再生紙）

以下のような用紙は使用しないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、本機の故障の原因になります。

- 表面加工されている用紙（カーボン紙、カラー加工された紙など）
- カーボン紙
- 感熱紙、熱転写用紙
- 水転写用紙
- 感圧紙
- アイロンプリント用紙
- インクジェットプリンター用紙（スーパーファイン紙、光沢フィルム、はがきなど）
- 一度印刷に使用した用紙
  - インクジェットプリンターで印刷された用紙
  - モノクロ / カラーのレーザープリンター / コピー機で印刷された用紙
  - 熱転写プリンターで印刷された用紙
  - 他のプリンターやファクス機で印刷された用紙
- 湿気のある用紙
  湿度が 35% ～ 85% の場所に用紙を保管してください。湿気があるとトナーは用紙にうまく付着しません。
- 粘着性のある用紙
- 折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
- 穴の開いた用紙、パンチ穴加工された用紙、破れた用紙
- なめらかすぎる用紙、あらすぎる用紙、織られたもの
- 表と裏で紙質（あらさ）が異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 静電気がたまっている用紙
- アルミ箔や金箔、光っているもの
- 感熱紙、または定着部の温度（180°C）に耐性がない用紙
- 変則的な形の（長方形でない、正しい角度で断裁されていない）用紙
- のり、テープ、クリップ、ステープル、リボン、留め金、ボタンがついているもの
- 酸性のもの
- その他対応していない用紙

厚紙

坪量 90 g/m^2 より厚い用紙を厚紙として扱います。

厚紙は連続印字することができますが、用紙の品質や印刷環境によっては、正しく給紙できない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

容量	**トレイ 1** **（手差しトレイ）** **トレイ 2**	20 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 3/4	対応していません。
用紙のセット方向	**トレイ 1** **（手差しトレイ）**	印刷面が下向き
	トレイ 2	印刷面が上向き
プリンタードライバーでの用紙種類の設定	厚紙 1（91-150 g/m^2） 厚紙 2（151-210 g/m^2）	
坪量	91 ～ 210 g/m^2	
両面印刷	「使用できる用紙サイズ」（p.138）をごらんください。	

封筒

封筒の表面（宛先（表）面）のみに印刷が可能です。種類によっては、3 枚構造になっているものがあります（表面／裏面／折り返し）。その場合、重なっている部分の印刷が欠けたり、かすれる可能性があります。

封筒は連続印字することができますが、用紙の品質や印刷環境によっては、正しく給紙できない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

容量	**トレイ 1** **（手差しトレイ）**	10 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2/3/4	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が下向き	
プリンタードライバーでの用紙種類の設定	封筒	
両面印刷	対応していません。	

以下の封筒を使用してください。

- 接合部が斜めで、折り目と縁がしっかりしている事務用封筒

印刷時に高温のローラー部を通過するため、封にのりがついた封筒はのりが接着してしまう場合があります。乳液質の接着剤が使われている封筒をお使いください。

- レーザープリンター対応の封筒
- 乾いている封筒

以下のような封筒は使用しないでください。

- 折り返し部分にのりがついている封筒、封にのりがついた封筒
- テープシール、金属の留め具、クリップ、ファスナー、はがして使用するシールがついている封筒
- 窓付きの封筒
- 表面が粗い和紙などの封筒
- 定着部の熱（180°C）で溶けたり、燃焼、蒸発、有毒ガスを発生するものが使われている封筒
- すでにのりでとじられている封筒

ラベル紙

ラベル紙は、表面の紙（印刷面）、シール部分、台紙で構成されています。

- 表面の紙は、普通紙の仕様にしたがってください。
- 表面の紙が台紙全体を覆い、シール部分が表面に出ない用紙を使用してください。

ラベル紙は連続印刷することができますが、用紙の品質や印刷環境によっては、正しく給紙できない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってラベル紙用のデータを作成してください。ラベル紙への印刷についての詳細は、お使いのアプリケーションのマニュアルをごらんください。

<table>
<tr><td rowspan="2">容量</td><td>トレイ 1
（手差しトレイ）

トレイ 2</td><td>20 枚（用紙の厚さにより変わります）</td></tr>
<tr><td>トレイ 3/4</td><td>対応していません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">用紙のセット方向</td><td>トレイ 1
（手差しトレイ）</td><td>印刷面が下向き</td></tr>
<tr><td>トレイ 2</td><td>印刷面が上向き</td></tr>
</table>

プリンタードライバーでの用紙種類の設定	ラベル紙
両面印刷	対応していません。

以下のラベル紙を使用してください。

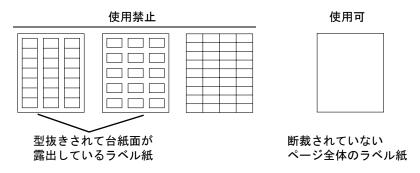
■ レーザープリンター用ラベル紙

以下のようなラベル紙は使用しないでください。

■ はがれやすいラベル紙

■ 裏紙がはがされていたり、のりがむき出しになっているラベル紙

ラベルが定着ユニットに貼り付き、紙づまりが起こる可能性があります。

■ 最初から断裁されているラベル紙

レターヘッド

レターヘッドは連続印字することができますが、用紙の品質や印刷環境によっては、正しく給紙できない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってレターヘッド用のデータを作成してください。

容量	**トレイ 1** **（手差しトレイ）** **トレイ 2**	20 枚（用紙の厚さによって変わります）
	トレイ 3/4	対応していません。

用紙のセット方向	**トレイ 1（手差しトレイ）**	印刷面が下向き
	トレイ 2	印刷面が上向き
プリンタードライバーでの用紙種類の設定	レターヘッド付き用紙	
両面印刷	対応していません。	

はがき

はがきは連続印字することができますが、用紙の品質や印刷環境によっては、正しく給紙できない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってはがき用のデータを作成してください。

容量	**トレイ 1（手差しトレイ）** **トレイ 2**	20 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 3/4	対応していません。
用紙のセット方向	**トレイ 1（手差しトレイ）**	印刷面が下向き
	トレイ 2	印刷面が上向き
プリンタードライバーでの用紙種類の設定	はがき	
両面印刷	対応していません	

以下のはがきを使用してください。

■ はがき（100 × 148 mm）
（市販のはがきには、使用できないものがあります。）

以下のようなはがきは使用しないでください。

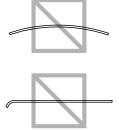
■ 光沢のあるもの

■ 曲がっているもの

■ インクジェットプリンター用はがき

■ 切り込みやミシン目のあるはがき

■ すでに印刷されているもの、色加工されているもの
（はがきの製造時に表面に散布される、紙同士の貼り付きを防止する粉が給紙ローラーに付着して給紙できなくなる場合があります。）

■ 大きく曲がっていたり、先端が曲がっているもの

 はがきが曲がっているときは、トレイ 1/2 にセットする前に曲がっている部分を平らにしておいてください。

光沢紙

光沢紙は連続印字することができますが、用紙の品質や印刷環境によっては、正しく給紙できない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがって光沢紙用のデータを作成してください。

容量	**トレイ 1（手差しトレイ）** **トレイ 2**	20 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 3/4	対応していません。
用紙のセット方向	**トレイ 1（手差しトレイ）**	印刷面が下向き
	トレイ 2	印刷面が上向き
プリンタードライバーでの用紙種類の設定	光沢紙 1（100-128 g/m^2） 光沢紙 2（129-158 g/m^2）	
坪量	100 ～ 158 g/m^2	
両面印刷	対応していません。	

両面不可紙

用紙の片面のみに印刷します。両面不可紙は連続印字することができますが、用紙の品質や印刷環境によっては、正しく給紙できない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

坪量 60 ～ 90 g/ m^2 の普通紙で、両面に印刷したくない用紙（すでに 1 面目に印刷がされている用紙など）をセットする場合に選択します。

容量	**トレイ 1（手差しトレイ）**	100 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	250 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 3/4	500 枚（用紙の厚さにより変わります）
用紙のセット方向	**トレイ 1（手差しトレイ）**	印刷面が下向き
	トレイ 2/3/4	印刷面が上向き
プリンタードライバーでの用紙種類の設定	片面専用用紙（60-90 g/m^2）	
坪量	60 ～ 90 g/ m^2	
両面印刷	対応していません。	

以下の用紙を使用してください。

- 販売店で取り扱っている OA 用紙、再生紙など、レーザープリンター対応の普通紙（再生紙）
- 同じプリンターで印刷された普通紙

以下のような用紙は使用しないでください。

- 普通紙で使用を禁止しているもの

特殊紙

特殊紙は連続印字することができますが、用紙の品質や印刷環境によっては、正しく給紙できない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

坪量 60 ～ 90 g/ ㎡の普通紙で、上質紙などの特別な用紙をセットする場合に選択します。

自動トレイ切り替え時、用紙が自動選択されません。

<table>
<tr><td rowspan="3">容量</td><td>トレイ 1
（手差しトレイ）</td><td>100 枚（用紙の厚さにより変わります）</td></tr>
<tr><td>トレイ 2</td><td>250 枚（用紙の厚さにより変わります）</td></tr>
<tr><td>トレイ 3/4</td><td>500 枚（用紙の厚さにより変わります）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">用紙のセット方向</td><td>トレイ 1
（手差しトレイ）</td><td>印刷面が下向き</td></tr>
<tr><td>トレイ 2/3/4</td><td>印刷面が上向き</td></tr>
<tr><td>プリンタードライバーでの用紙種類の設定</td><td colspan="2">特殊紙（60-90 g/m²）</td></tr>
<tr><td>坪量</td><td colspan="2">60 ～ 90 g/ ㎡</td></tr>
<tr><td>両面印刷</td><td colspan="2">「使用できる用紙サイズ」（p.138）をごらんください。</td></tr>
</table>

以下の用紙を使用してください。

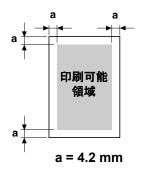
■ レーザープリンター対応の用紙

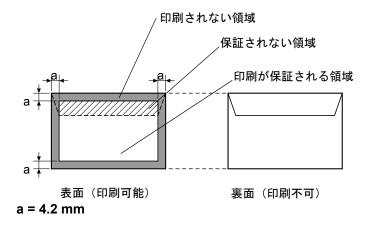
以下のような用紙は使用しないでください。

■ 普通紙で使用を禁止しているもの

印刷可能領域

すべての用紙サイズで、用紙の端から 4.2 mm を除く領域が、印刷可能領域になります。

アプリケーションでページサイズのユーザー設定を行うときは、最適な結果が得られるように印刷可能領域内におさまるサイズを設定してください。

封筒の場合

封筒では、表面（宛先面）への印刷のみが可能です。また、（表面の）封の重なる部分への印刷結果は保証されません。保証されない領域の大きさは、封筒の種類によって異なります。

封筒の印刷方向は、お使いのアプリケーションによって決まります。

ページ余白

ページ余白の設定はお使いのアプリケーションによって決まります。用紙サイズや余白を既定値から選択すると、印刷できない領域が生じる場合があります。最適な結果を得るためには、カスタム設定で本機の印刷可能領域内におさまる設定を行ってください。

用紙のセット

ご注意

種類やサイズの異なる用紙を混ぜてセットしないでください。紙づまりの原因となります。

ご注意

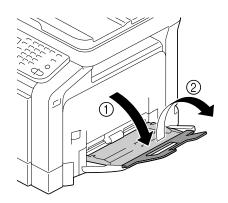
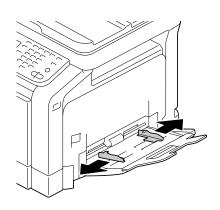
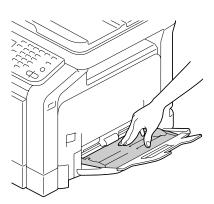
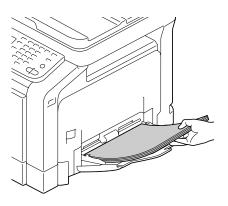
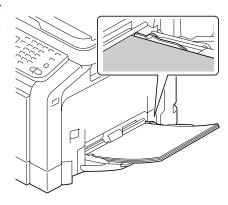
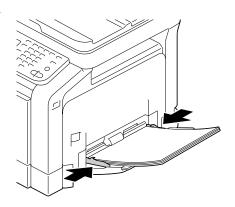
用紙の側面は鋭利なため、けがをする恐れがあります。

用紙を補給するときは、まずトレイ内に残っている用紙をすべて取り除き、補給する用紙とあわせ、用紙の端をそろえてから給紙トレイにセットしてください。

トレイ 1（手差しトレイ）

トレイ 1 から印刷できる用紙の種類、サイズについては、「使用できる用紙サイズ」（p.138）をごらんください。

普通紙／両面不可紙／特殊紙の場合

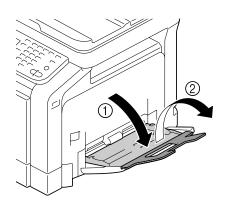
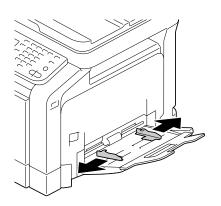
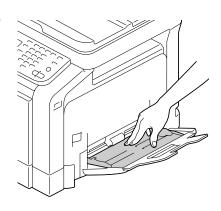
1 トレイ 1 を開きます。

2 用紙ガイドを広げます。

3 押し上げ板の中央付近を左右のロック爪（白色）がロックするまで押し下げます。

4 印刷したい面を下向きにして用紙をセットします。

用紙は上限を示すガイドを超えないようにセットしてください。
普通紙は一度に 100 枚（80 g/m²）までセットできます。

5 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

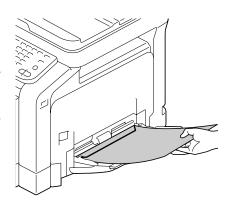
6 操作パネルから「ユーザー設定 / プリンター設定 / 用紙メニュー / 給紙トレイ設定 / トレイ 1」を選択します。「用紙サイズ」および「用紙種類」を選択して、セットした用紙のサイズや種類を設定します。詳細については「[プリンター設定]」（p.74）を参照してください。

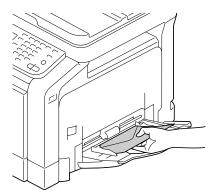
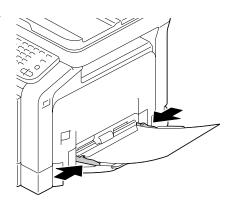
その他の用紙種類の補給

普通紙以外の用紙をセットする場合、最適な印刷結果を得るためにプリンタードライバーで用紙の種類を正しく設定してください。（厚紙 1、厚紙 2、封筒など）

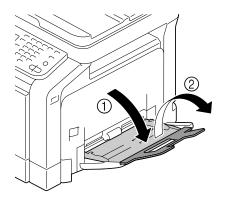
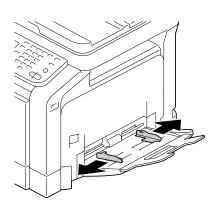
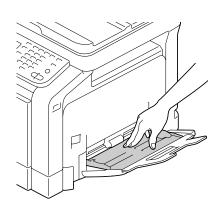
封筒の場合

1 トレイ 1 を開きます。

2 用紙ガイドを広げます。

3 押し上げ板の中央付近を左右のロック爪（白色）がロックするまで押し下げます。

4 フタを上側にして封筒をセットします。

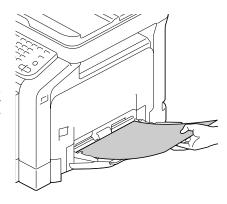
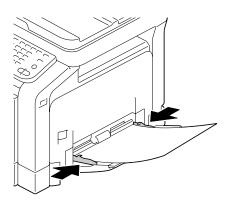
セットする前に、封筒内部の空気を押し出し、封筒の折目をしっかり押えてください。空気が残っていたり折り目がしっかり押えられていないと、封筒にしわが出来たり、紙づまりの原因になります。

封筒は一度に 10 枚までセットできます。

フタが封筒の長辺にある場合（洋形 2 号、洋形 6 号、封筒 DL）はフタを本機側にしてセットしてください。

5 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

6 操作パネルから「ユーザー設定 / プリンター設定 / 用紙メニュー/ 給紙トレイ設定 / トレイ 1」を選択します。「用紙サイズ」および「用紙種類」を選択して、セットした用紙のサイズや種類を設定します。詳細については「[プリンター設定]」(p.74) を参照してください。

ラベル紙／はがき／厚紙／光沢紙の場合

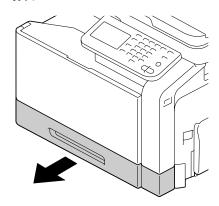
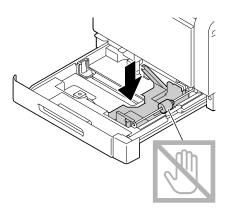
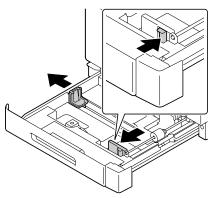
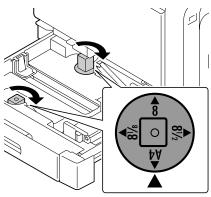
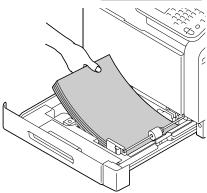
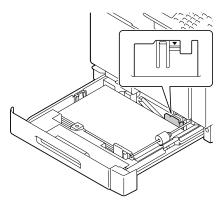
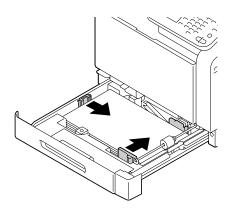
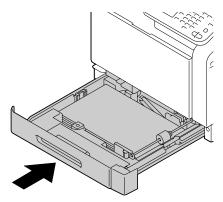
1 トレイ 1 を開きます。

2 用紙ガイドを広げます。

3 押し上げ板の中央付近を左右のロック爪（白色）がロックするまで押し下げます。

4 印刷面を下向きにして用紙をセットします。

用紙は一度に 20 枚までセットできます。

はがき、往復はがきは短辺（長さの短い方）を本機側へ向けてセットします。

5 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

6 操作パネルから「ユーザー設定 / プリンター設定 / 用紙メニュー/ 給紙トレイ設定 / トレイ 1」を選択します。「用紙サイズ」および「用紙種類」を選択して、セットした用紙のサイズや種類を設定します。詳細については「[プリンター設定]」（p.74）を参照してください。

トレイ 2

普通紙／両面不可紙／特殊紙の場合

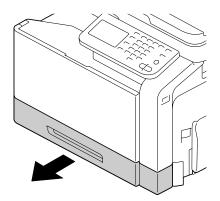
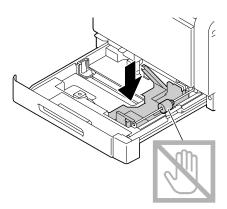
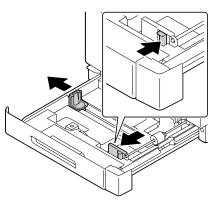
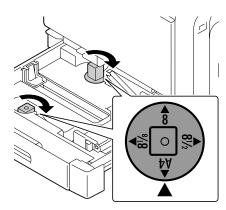
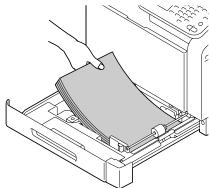
1 トレイ 2 を引き出します。

2 押し上げ板をロックするまで押し下げます。

3 用紙ガイドを広げます。

4 用紙設定ダイヤルを使用する用紙サイズに合わせます。

5 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

用紙は▼マークを超えないようにセットしてください。
普通紙は一度に 250 枚（80 g/m^2）までセットできます。

6 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

7 トレイ 2 を閉じます。

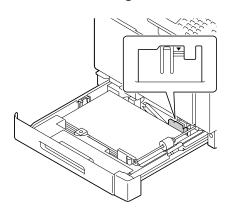
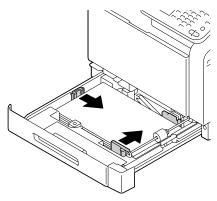
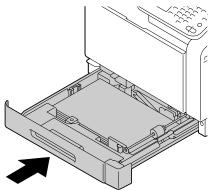
8 操作パネルから「ユーザー設定 / プリンター設定 / 用紙メニュー/ 給紙トレイ設定 / トレイ 2」を選択します。「用紙サイズ」および「用紙種類」を選択して、セットした用紙のサイズや種類を設定します。詳細については「[プリンター設定]」（p.74）を参照してください。

その他の用紙種類の補給

普通紙以外の用紙をセットする場合、最適な印刷結果を得るためにプリンタードライバーで用紙の種類を正しく設定してください。（厚紙 1、厚紙 2、封筒など）

ラベル紙／はがき／厚紙／光沢紙の場合

1 トレイ 2 を引き出します。

2 押し上げ板をロックするまで押し下げます。

3 用紙ガイドを広げます。

4 用紙設定ダイアルを使用する用紙サイズに合わせます。

5 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

用紙は一度に 20 枚までセットできます。

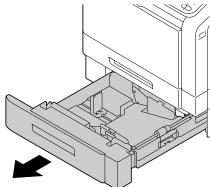
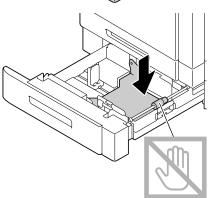
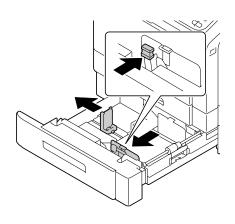
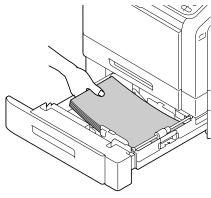
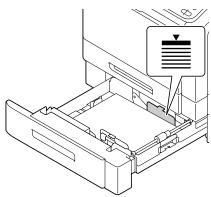
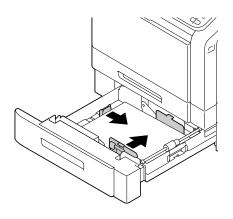
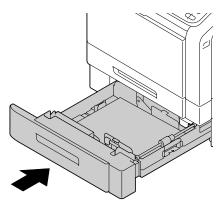
はがき、往復はがきは短辺（長さの短い方）をトレイの右側へ向けてセットします。

6 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

7 トレイ 2 を閉じます。

8 操作パネルから「ユーザー設定 / プリンター設定 / 用紙メニュー/ 給紙トレイ設定 / トレイ 2」を選択します。「用紙サイズ」および「用紙種類」を選択して、セットした用紙のサイズや種類を設定します。詳細については「[プリンター設定]」(p.74) を参照してください。

トレイ 3/4（オプションの給紙ユニット PF-P08）

普通紙／両面不可紙／特殊紙の場合

1 トレイ 3/4 を引き出します。

2 押し上げ板をロックするまで押し下げます。

3 用紙ガイドを広げます。

4 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

用紙は▼マークを超えないようにセットしてください。
普通紙は一度に 500 枚（80 g/m^2）までセットできます。

5 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

6 トレイ 3/4 を閉じます。

7 操作パネルから「ユーザー設定 / プリンター設定 / 用紙メニュー/ 給紙トレイ設定 / トレイ 3/4」を選択します。「用紙サイズ」および「用紙種類」を選択して、セットした用紙のサイズや種類を設定します。詳細については「[プリンター設定]」（p.74）を参照してください。

両面印刷

両面印刷の際には、裏映りしにくい用紙を使用してください。裏映りする用紙のときは、片面に印刷した内容が裏面から透けて見えますのでご注意ください。また、お使いのアプリケーションで余白についても確認してください。あらかじめ試し印刷をし、裏映りの度合いを確認してください。

ご注意

自動両面印刷は、60 ～ 90 g/m² の普通紙（再生紙）、91 ～ 210 g/m² の厚紙、60 ～ 90 g/m² の特殊紙にのみ対応しています。
「使用できる用紙サイズ」（p.138）をごらんください。

封筒、ラベル紙、はがき、光沢紙、レターヘッド、および両面不可紙では、両面印刷できません。

自動両面印刷の方法は？

お使いのアプリケーションでの両面印刷用余白の設定方法を確認してください。

両面印刷の設定には以下の種類があります。

短辺綴じ	短い辺を綴じるレイアウトになります。	原稿の向きが「縦」の場合	1 2 1 3
		原稿の向きが「横」の場合	1 2 1 3
長辺綴じ	長い辺を綴じるレイアウトになります。	原稿の向きが「縦」の場合	1 2 1 3
		原稿の向きが「横」の場合	1 2 1 3

また、プリンタードライバーの「印刷種類」で「小冊子」を選択した場合も自動的に両面印刷になります。

「小冊子」には以下のレイアウトがあります。

	「左開き」に設定すると、左にめくるようにレイアウトされます（原稿の向きが「縦」の場合）。
	「右開き」に設定すると、右にめくるようにレイアウトされます（原稿の向きが「縦」の場合）。
	「上開き」に設定すると、上にめくるようにレイアウトされます（原稿の向きが「横」の場合）。
	「下開き」に設定すると、下にめくるようにレイアウトされます（原稿の向きが「横」の場合）。

1 トレイに普通紙をセットします。

2 プリンタードライバーで、両面印刷のレイアウトを設定します。

3 ［OK］をクリックします。

自動両面印刷では先に裏面が印刷され、あとで表面が印刷されます。

排紙トレイ

どの用紙も排紙トレイに印刷面を下向きにして排出されます。排紙トレイの許容量は、80 g/m^2 の用紙（A4 ／レター）で約 250 枚までです。

排紙トレイの用紙が多くなると、紙づまりが起きたり、用紙が曲がったり、静電気が起きやすくなります。

用紙の保管方法

用紙の保管のしかたは？

■ 用紙をセットするまで、包装紙に入れたままにして平らで水平な場所に置いてください。
包装紙に入れずに長期間放置した用紙は、紙づまりの原因になります。

■ いったん包装紙から取り出した用紙についても、使用しない場合は元の包装紙に入れて、水平な冷暗所に保管してください。

■ 用紙を以下のような場所・環境に置かないでください。
- 湿気が多い場所
- 直射日光があたる場所
- 高温の場所（35°C 以上の場所）
- ほこりの多い場所

■ 他のものに立てかけたり、垂直に置かないでください。

大量の用紙や特殊用紙を購入する場合は、事前に試し印刷をして印刷品質を確認してください。

原稿について

原稿の種類 / サイズ

原稿ガラスにセットできる原稿

原稿ガラスにセットできる原稿の種類は以下の通りです。

原稿種類	シート、ブック（見開き）、立体物
原稿サイズ	最大原稿サイズ：リーガル コピー / スキャン：30-216 x 30-356 mm ファクス：140-216 x 148-356 mm
最大積載量	3 kg

原稿ガラスに原稿をセットする場合、以下の点にご注意ください。

- 質量が 3 kg を超えるものを原稿ガラスに載せないでください。ガラスが破損する原因となります。
- 厚手の本などをセットした場合、強い力で上から押さえつけないでください。ガラスが破損する原因となります。

ADF にセットできる原稿

ADF にセットできる原稿の種類は以下の通りです。

原稿種類 / 坪量	普通紙：50 〜 128 g/m²
原稿サイズ	最大原稿サイズ: リーガル コピー / スキャン：140-216 x 148-356 mm（片面 / 両面） ファクス：140-216 x 148-1000 mm（片面） 140-216 x 148-356 mm（両面）
最大積載量	50 枚（坪量が 80 g/m² の場合）

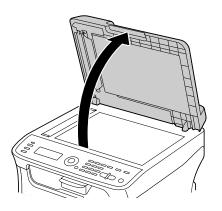
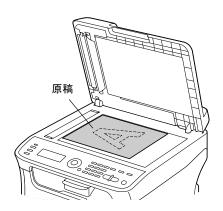
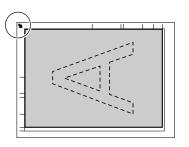
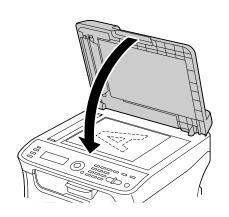
以下のような原稿は、原稿づまりや原稿破損の原因となるため、ADF にはセットしないでください。

- ステープル、クリップなどで留めてある原稿
- ブック原稿
- 貼り合わせ原稿

- 切り欠き、切り抜きのある原稿
- 破れている原稿
- 坪量 50 g/m^2 未満、128 g/m^2 以上の原稿
- 8 mm 以上大きくカールした原稿
- OHP 用紙
- ラベル紙
- オフセットマスター
- 写真印画紙
- 光沢塗工紙等の光沢原稿

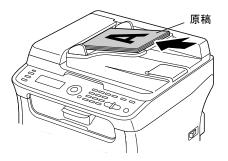
原稿をセットする

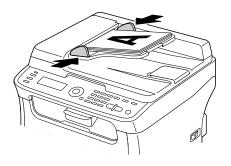
原稿ガラス上に原稿をセットする

1 ADF を開きます。

2 原稿のコピーしたい面を下側に向け、原稿ガラス上に置きます。

原稿の天部（上側）が奥側、または右側になるようにします。また、原稿の端は原稿ガラスの左奥に合わせてください。

3 ADF を閉じます。

ADF 上に原稿をセットする

1 原稿のコピーしたい面（1 ページ目）を上向きにし、原稿給紙トレイへセットします。

ADF に原稿をセットする時は、必ず原稿ガラスに残っている原稿を取り除いてください。

原稿の天部（上側）が奥側または右側になるようにします。

2 ガイド板を原稿に沿わせます。

セットした原稿をコピーする手順については、「コピー機能を使う」（p.223）を、スキャンする手順については、「本体操作によるスキャン」（p.261）をごらんください。

5 プリンタードライバーの使いかた

プリンタードライバーの初期設定／オプションの設定（Windows）

本機を使い始める前に、プリンタードライバーの初期設定を確認／変更しておくことをお薦めします。また、オプションを装着している場合は、プリンタードライバーでそのオプションを設定しておいてください。

標準ユーザーでプリンタードライバーを使用する場合は、管理者権限で一度ログインし、各タブを開いてください。

Windows のプリンタードライバーのインストールについては、「インストレーションガイド」をごらんください。
Macintosh および Linux のプリンタードライバーのインストールについては、「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

Windows Server 2008 R2/7/Vista/Server 2008/XP/Server 2003/2000

1 以下の手順でプリンタードライバーの設定画面を表示します。

– Windows Server 2008 R2/7 の場合
［スタート］メニューから「デバイスとプリンター」をクリックし、デバイスとプリンター画面を表示します。「プリンターと FAX」より「KONICA MINOLTA bizhub C35 PS」または「KONICA MINOLTA bizhub C35 PCL6」または「KONICA MINOLTA bizhub C35 XPS」プリンターアイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。

– Windows Vista/Server 2008 の場合
［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「ハードウェアとサウンド」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA bizhub C35 PS 」または「KONICA MINOLTA bizhub C35 PCL6 」または「KONICA MINOLTA bizhub C35 XPS」プリンターアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

– Windows XP Home Edition の場合
［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「プリンタとその他のハードウェア」—「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「KONICA MINOLTA bizhub C35 PS」または「KONICA MINOLTA bizhub C35 PCL6」プリンターアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

– Windows XP Professional/Server 2003 の場合
［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「KONICA MINOLTA bizhub C35 PS」または「KONICA MINOLTA bizhub C35 PCL6」プリンターアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

– Windows 2000 の場合
［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA bizhub C35 PS」または「KONICA MINOLTA bizhub C35 PCL6」プリンターアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

2 オプションを装着している場合は、手順 3 へ進んでください。
オプションを装着していない場合は、手順 8 へ進んでください。

3 「装置情報」タブをクリックします。

4 装着したオプションが正しく認識されているかを確認します。

正しく認識されている場合は、手順 8 に進んでください。
正しく認識されていない場合は、手順 5 に進んでください。

5 ［装置情報取得］をクリックします。装着済みのオプションが自動的に認識されます。

［装置情報取得］は本機との双方向通信が行なわれている場合にのみ使用できます。［装置情報取得］が使用できない場合は、手順 6 を行ってください。Windows Server 2008 R2/7/Vista/Server 2008 をお使いの場合は、USB 接続でも［装置情報取得］が使用できます。

6 「装置オプション」リストから、オプションを一つずつ選択して、「設定値の変更」メニューから設定値を選択します。

7 装着しているオプションをすべて設定したら、[適用] をクリックします。

お使いの OS によっては、[適用] ボタンが表示されません。
その場合はそのまま次の手順へ進んでください。

8 「初期設定」タブをクリックします。

9 必要な項目を設定し、[適用] をクリックします。

– メタファイル（EMF）スプールを行う（PCL ドライバーのみ）：
独自のシステムで使用する場合などでメタファイル（EMF）スプールが必要な場合にチェックします。

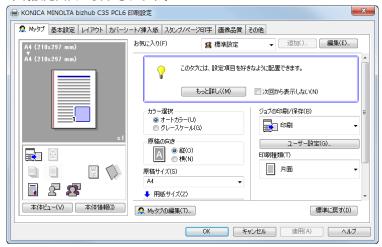
本設定は、「装置情報」タブの「装置オプション」で、「ユーザー認証」および「部門管理」を「なし」にした場合にチェックできます。

– 禁則発生時に確認メッセージを表示する：
チェックすると、禁則発生時にメッセージを表示します。

– サーバープロパティ用紙を使用する：
チェックすると、サーバープロパティの用紙リストの中から対象プリンターで利用可能なサイズが「基本設定」タブの原稿サイズリスト / 用紙サイズリストに追加されます。

– 不定形サイズの登録（PCL ドライバーのみ）：
不定形サイズを登録すると、登録した名称で「基本設定」タブの原稿サイズリスト / 用紙サイズリストに追加されます。

10 「全般」タブをクリックします。

11 ［印刷設定］をクリックします。
印刷設定画面が表示されます。

12 使用する用紙の種類やサイズなど、本機の初期設定を変更します。

各タブの設定項目については、「ドライバーの設定」（p.184）をごらんください。

13 各初期設定を変更したら、［適用］をクリックします。

14 ［OK］をクリックし、印刷設定画面を閉じます。

15 ［OK］をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。

プリンタードライバーのアンインストール（Windows）

ここでは、プリンタードライバーをアンインストールする場合の手順について説明します。

 アンインストールを行う場合は必ず管理者権限で行ってください。

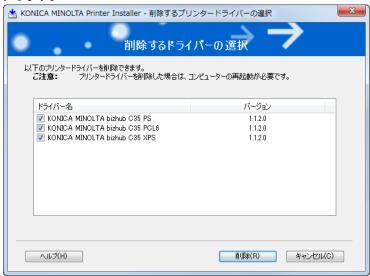
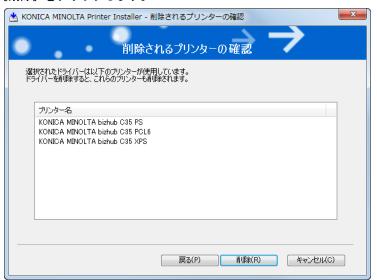
 Windows Server 2008 R2/7/Vista/Server 2008 でアンインストール中、ユーザーアカウント制御画面が表示される場合は、［続行］または［はい］をクリックしてください。

Windows Server 2008 R2/7/Vista/Server 2008/XP/Server 2003/2000

1 開いているアプリケーションを全て閉じます。

2 以下の手順でプリンター画面を表示します。

- **Windows Server 2008 R2/7/Vista/Server 2008/XP/Sever 2003 の場合**：［スタート］メニューから「すべてのプログラム」—「KONICA MINOLTA」—「bizhub C35」—「プリンタードライバーの削除」をクリックします。
- **Windows 2000 の場合**：［スタート］メニューから「プログラム」—「KONICA MINOLTA」—「bizhub C35」—「プリンタードライバーの削除」をクリックします。

3 プリンタードライバーのリストから「KONICA MINOLTA bizhub C35 PS」、「KONICA MINOLTA bizhub C35 PCL6」、「KONICA MINOLTA bizhub C35 XPS」チェックボックスをチェックして、［削除］をクリックします。

4 ［削除］をクリックします。

5 ［OK］をクリックし、コンピューターを再起動します。
プリンタードライバーがコンピューターからアンインストールされます。

プリンタードライバー設定画面を表示する（Windows）

Windows Server 2008 R2/7

1 ［スタート］メニューから「デバイスとプリンター」をクリックし、デバイスとプリンター画面を表示します。

2 「プリンターと FAX」より「KONICA MINOLTA bizhub C35 PS」または「KONICA MINOLTA bizhub C35 PCL6」または「KONICA MINOLTA bizhub C35 XPS」プリンターアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows Vista/Server 2008

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」―「ハードウェアとサウンド」―「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA bizhub C35 PS 」または「KONICA MINOLTA bizhub C35 PCL6 」または「KONICA MINOLTA bizhub C35 XPS」プリンターアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows XP Home Edition

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」―「プリンタとその他のハードウェア」―「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA bizhub C35 PS」または「KONICA MINOLTA bizhub C35 PCL6」プリンターアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows XP Professional/Server 2003

1 ［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

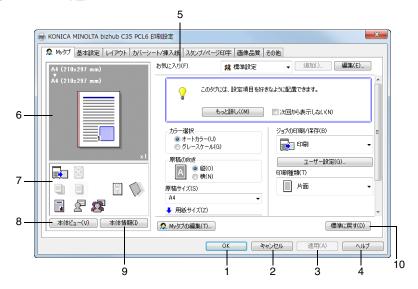
2 「KONICA MINOLTA bizhub C35 PS」または「KONICA MINOLTA bizhub C35 PCL6」プリンターアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows 2000

1 ［スタート］メニューから「設定」―「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA bizhub C35 PS」または「KONICA MINOLTA bizhub C35 PCL6」プリンターアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

ドライバーの設定

各タブで共通のボタン

1. OK

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にして画面を閉じます。

2. キャンセル

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にして画面を閉じます。

3. 適用

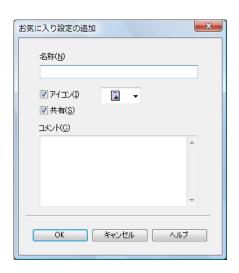
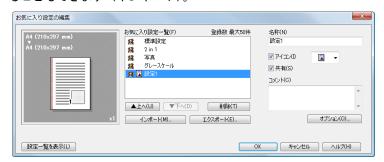
このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

お使いの OS によっては、［適用］ボタンが表示されません。

4. ヘルプ

このボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。

5. お気に入り設定

現在の設定を保存する機能です。任意の設定を行い、［追加］をクリックすると右の画面が表示されます。名称、コメントを入力します。アイコンを設定する場合は、「アイコン」チェックボックスをチェックし、アイコンを選択します。保存する設定を共有にする場合は、「共有」チェックボックスにチェックします。
［OK］をクリックすると、現在の設定が保存されます。保存した設定はドロップダウンリストから選択して呼び出すことができます。

［編集］をクリックすると、お気に入り設定の編集画面が表示されます。保存した設定の編集ができます。
また、設定情報を設定ファイル（拡張子：KSF）として保存したり（エクスポート）、設定ファイルを読み込んで「お気に入り設定」に追加することもできます（インポート）。

ドロップダウンリストで「標準設定」を選ぶと、設定が初期設定値に戻ります。
また、あらかじめ登録されている設定を選択することもできます。
あらかじめ登録されている設定には、「2 in 1」、「写真」、「グレースケール」があります。

このボタンは、「詳細設定」タブには表示されません。

6. メインビュー

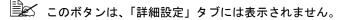
印刷ドキュメントのレイアウトや本体の全体イメージ図などを視覚的に表示します。

7. サブビュー

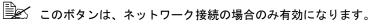
代表的な設定の状態をアイコンで表示します。

8. 本体ビュー / 用紙ビュー

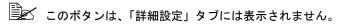
プリントレイアウトのサンプルが表示されている場合は、[本体ビュー] ボタンが表示されます。[本体ビュー] をクリックすると、本機の外観図が表示されます。表示される外観図はオプションの装着状態を反映します。
本機の外観図が表示されている場合は、[用紙ビュー] ボタンが表示されます。[用紙ビュー] をクリックすると、プリントレイアウトのサンプルが表示されます。
「画像品質」タブでは、[画像品質ビュー] ボタンが表示されます。([用紙ビュー] ボタンは表示されません。)[画像品質ビュー] をクリックすると、「画像品質」タブの設定を反映したサンプルが表示されます。

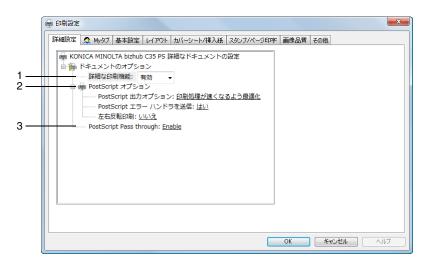
このボタンは、「詳細設定」タブには表示されません。

9. 本体情報

このボタンをクリックすると、PageScope Web Connection が起動します。

このボタンは、ネットワーク接続の場合のみ有効になります。

10. 標準に戻す

このボタンをクリックすると、各タブ内の設定が標準設定に戻ります。

このボタンは、「詳細設定」タブには表示されません。

表示されているタブの設定のみ、標準設定に戻ります。その他のタブの設定は変更されません。

「詳細設定」タブ（PostScript ドライバーのみ）

1. 詳細な印刷機能

詳細な印刷機能（小冊子）の設定を有効にするか、無効にするかを選択します。

本設定は、プリンターアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して表示するプロパティ画面で、「詳細設定」タブにある「詳細な印刷機能を有効にする」チェックボックスがチェックされている場合に表示されます。

2. PostScript オプション

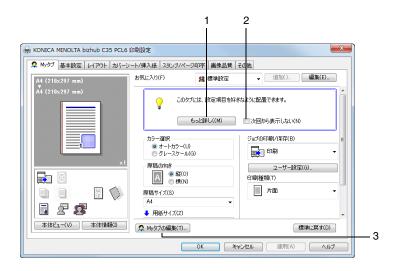
PostScript 出力オプション：PostScript ファイルの出力形式を設定します。

PostScript エラーハンドラを送信：PostScript エラーが発生した場合に、レポートを印刷するかしないかを設定します。

左右反転印刷：左右反転印刷を行うか行わないかを設定します。

3. PostScript Pass through

アプリケーションがプリンタードライバーを利用せずに直接印刷できるようにするかどうかを設定します。

「My タブ」

1. もっと詳しく

［もっと詳しく］をクリックすると、My タブのヘルプが表示されます。

2. 次回から表示しない

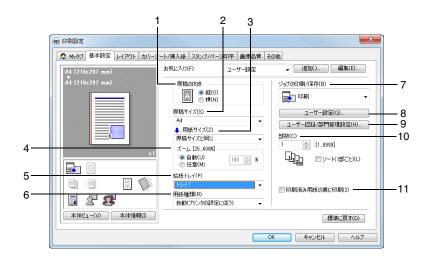
「次回から表示しない」チェックボックスをチェックすると、［もっと詳しく］を含む説明欄を表示しないようにします。

3. My タブの編集

［My タブの編集］をクリックすると、My タブの編集画面が表示され、My タブ画面をカスタマイズできます。よく使う機能やよく変更する機能が My タブ画面に表示されるよう設定します。

「設定項目一覧」で機能を選択し［左へ］または［右へ］をクリックすると、「My タブ」に登録されます。登録された機能を選択し［上へ］［下へ］［左へ / 右へ］をクリックすると、機能が表示される位置を変更できます。

プリンタードライバーの各タブで機能を選択し右クリックすると、My タブに追加登録できます。

「基本設定」タブ

1. 原稿の向き

印刷の向きを「縦」または、「横」から選択して設定します。

2. 原稿サイズ

印刷するデータの文書サイズを設定します。
「不定形サイズ」を選択すると、不定形サイズ設定画面が表示されます。
原稿のサイズを設定します。

3. 用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを設定します。
「不定形サイズ」を選択すると、不定形サイズ設定画面が表示されます。
用紙のサイズを設定します。

4. ズーム

印刷倍率を設定します。
印刷倍率を手動で変更する場合は､「任意」チェックボックスをチェックし、25%から 400%の間で設定します。

5. 給紙トレイ

印刷に使用する給紙トレイを選択します。
本体の用紙メニューのトレイ 1 で設定している用紙サイズ / 種類以外の用紙で印刷する場合は､「トレイ 1（手差し）」を選択し、印刷指示をした後に、手差しトレイに用紙がセットされていることを確認後、操作パネルのタッチパネルを操作して印刷を行ってください。トレイ 1 で設定している用紙以外の用紙を用いて「トレイ 1」で印刷を行うと、たとえ正しいサイズの用紙をセットしていても印字位置がずれ、排紙部で紙づまりの可能性があります。

「自動」を選択すると、トレイ 1（手差し)、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 の優先順位で用紙が給紙されます。

6. 用紙種類

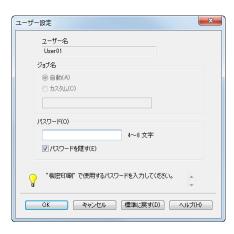
印刷に使用する用紙種類を選択します。

「自動（プリンタの設定に従う)」を選択すると、操作パネルのユーザー設定 / プリンター設定 / 用紙メニュー / 給紙トレイ設定 / トレイ 1/ 用紙種類で設定した用紙種類で印刷を行います。

7. ジョブの印刷 / 保存

ハードディスクにプリントジョブを保存するなど出力方法を設定します。
印刷：通常の印刷を行います。
保存：ハードディスクにプリントジョブを保存します。印刷は行いません。
保存＆印刷：通常の印刷を行い、ハードディスクへの保存も行います。
機密印刷：プリントジョブをハードディスクにパスワードを設定して保存します｡「機密印刷」ジョブを印刷すると、機密印刷ジョブはハードディスクから削除されます。
「機密印刷」で保存したジョブの印刷時は、操作パネルからパスワードの入力が必要です。
機密印刷（暗号化)：パスワードを暗号化した状態で「機密印刷」を実行します。

「機密印刷」、「機密印刷（暗号化）」を選択すると、ユーザー設定画面が表示されます。印刷時に使用するパスワードを設定します。

パスワードがすでに設定されている場合は、「機密印刷」、「機密印刷（暗号化）」を選択してもユーザー設定画面は表示されません。あらためてパスワードの設定を行なう場合は、[ユーザー設定] から行ってください。

試し印刷：1 部のみ印刷を行い、ハードディスクへジョブを保存します。
認証＆プリント：ユーザー認証情報を付加したプリントジョブをハードディスク保存します。ユーザー認証後にプリントジョブが出力されます。

ハードディスクに保存されたジョブの印刷方法については、「保存ジョブ印刷と外部メモリプリント」（p.215）をごらんください。

本機の電源をオフ / オンすると、「保存」ジョブ以外のジョブはハードディスクから削除されます。

本機でユーザー認証機能を有効にしているとき、プリンタードライバーから、ユーザー名に「"」（ダブルクォーテーション）を含むユーザーを指定して、印刷や保存をおこなうと、本機側でログインエラーとなり、プリントジョブは破棄されます。

8. ユーザー設定

［ユーザー設定］をクリックすると、ユーザー設定画面が表示されます。ジョブ名や、機密印刷時のパスワードの設定などを行います。

9. ユーザー認証 / 部門管理設定

ユーザー / 部門ごとに印刷の許可 / 拒否を設定できます。
未登録のユーザーは「パブリックユーザー」を、登録済みのユーザーは「登録ユーザー」を選択します。
登録済みのユーザーは「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。
部門管理は登録済みの「部門名」と「パスワード」を入力します。

10. 部数

印刷する部数を設定します。
「ソート」チェックボックスにチェックすると部単位で印刷を行います。

11. 印刷済み用紙の裏に印刷

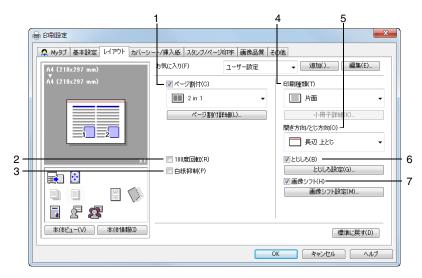
一度印刷した用紙の裏面に印刷するかどうかを設定します。
本設定は、「用紙トレイ」を「トレイ 1（手差し）」、「トレイ 1」、「トレイ 2」に設定した場合に有効です。

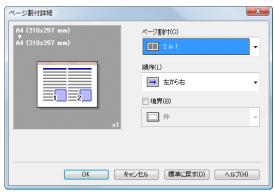
本機で印刷した用紙の裏面をご使用ください。なお、本設定での印刷結果は保証対象外となります。

以下の用紙は使用しないでください。

- インクジェットプリンターで印刷された用紙
- モノクロ / カラーのレーザープリンター / コピー機で印刷された用紙

● 他のプリンターやファクス機で印刷された用紙

「レイアウト」タブ

1. ページ割付

複数ページの文書を 1 ページにまとめて印刷します。
また、1 ページ分の文書を拡大して複数枚に印刷できます。印刷後に用紙を貼り合わせて、ポスターのような大きな印刷物を作ることができます（PCL ドライバーのみ）。
「ページ割付」チェックボックスをチェックすると、[ページ割付詳細]ボタンが有効になります。
[ページ割付詳細] をクリックすると、ページ割付詳細画面が表示されます。用紙内でのページの並べ方や、ページごとの境界線の有無を選択します。

2. 180 度回転

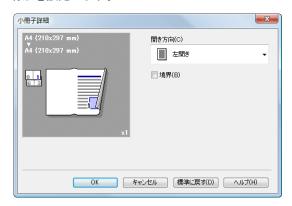
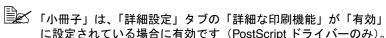
「180 度回転」チェックボックスをチェックすると、印刷する画像が 180 度回転して印刷されます。

3. 白紙抑制（PCL/XPS ドライバーのみ）

印刷する文書内に白紙がある場合、白紙を出力するかしないかを設定します。

4. 印刷種類

印刷種類を「片面」「両面」「小冊子」から選択します。
「小冊子」を選択すると、［小冊子詳細］ボタンが有効になります。［小冊子詳細］をクリックすると、小冊子詳細画面が表示され、開き方向や境界線の有無を設定します。

「小冊子」は、「詳細設定」タブの「詳細な印刷機能」が「有効」に設定されている場合に有効です（PostScript ドライバーのみ）。

5. 開き方向 / とじ方向

とじ位置を「長辺左とじ」「長辺右とじ」「短辺上とじ」「短辺下とじ」から選択して設定します。

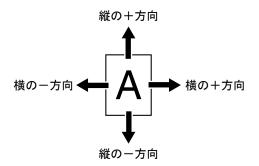
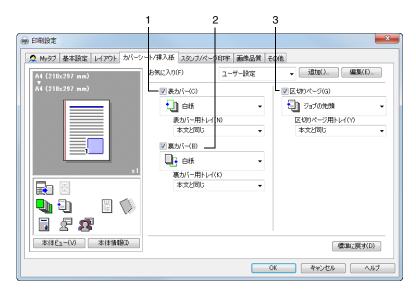
原稿の向きにより、設定値は「長辺上とじ」、「長辺下とじ」、「短辺左とじ」、「短辺右とじ」となります。

6. とじしろ

「とじしろ」チェックボックスをチェックすると、[とじしろ設定] ボタンが有効になります。[とじしろ設定] をクリックすると、とじしろ設定画面が表示されます。
とじしろを付けるときの画像のずらし方、表面や裏面のとじしろ量を設定します。

7. 画像シフト（PCL ドライバーのみ）

用紙に印刷される文書の位置を設定します。
「画像シフト」チェックボックスをチェックすると、[画像シフト設定] ボタンが有効になります。
[画像シフト設定] をクリックすると、画像シフト設定画面が表示されます。
文書の印刷位置を 0.1 ミリ単位または、0.01 インチ単位で設定します。

右図を参照してプリント位置を設定してください。

「カバーシート / 挿入紙」タブ

1. 表カバー

「表カバー」チェックボックスをチェックすると、表カバーシートをつけて印刷します。また、「表カバー用トレイ」でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。

2. 裏カバー

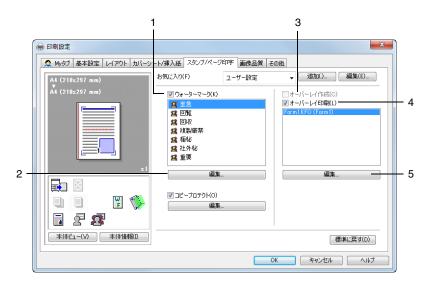
「裏カバー」チェックボックスをチェックすると、裏カバーシートをつけて印刷します。また、「裏カバー用トレイ」でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。

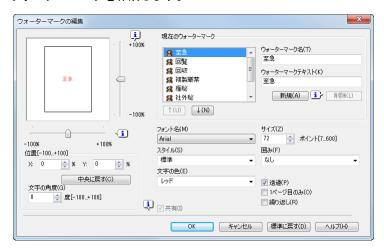
3. 区切りページ

一部ごとに挿入紙をつけるかどうかを設定します。

「区切りページ」チェックボックスをチェックし、「部の先頭」「部の末尾」から選択します。

また、「区切りページ用トレイ」でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。

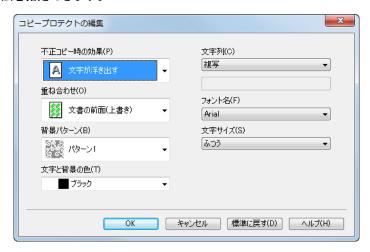
「スタンプ / ページ印字」タブ

1. ウォーターマーク

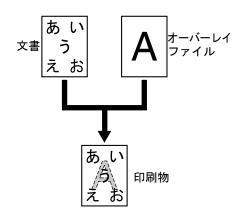
印刷する文書に「至急」などのテキストを入れて印刷します。
「ウォーターマーク」チェックボックスをチェックすると、［編集］ボタンが有効になります。
［編集］をクリックすると、ウォーターマークの編集画面が表示されます。ウォーターマークの編集画面で［新規］をクリックすると、新たにウォーターマークを作成します。

作成したウォーターマークは「スタンプ / ページ印字」タブおよびウォーターマークの編集画面のリストに追加されます。
リストに追加したウォーターマークを編集する場合は、ウォーターマークの編集画面で、編集したいウォーターマークを選択し、編集します。
リストに追加したウォーターマークを削除する場合は、ウォーターマークの編集画面で、削除したいウォーターマークを選択し、[削除] をクリックします。

■ 透過
「透過」チェックボックスにチェックすると、ウォーターマークの文字を透過（網点）で印刷します。

■ 1 ページ目のみ
「1 ページ目のみ」チェックボックスにチェックすると、ウォーターマークの文字を 1 ページ目にのみ印刷します。

■ 繰り返し
「繰り返し」チェックボックスにチェックすると、1 ページ内にウォーターマークの文字を繰り返し印刷します。

2. コピープロテクト（PCL ドライバーのみ）
コピーを防止するため、指定した文字を背景に合成して印刷します。印刷時には目立ちませんが、文書が不正コピーされたときに文字が浮き出すような効果が得られます。
「コピープロテクト」チェックボックスをチェックすると、[編集] ボタンが有効になります。[編集] をクリックすると印刷する項目や合成方法を指定できます。

3. オーバーレイ作成（PCL/XPS ドライバーのみ）

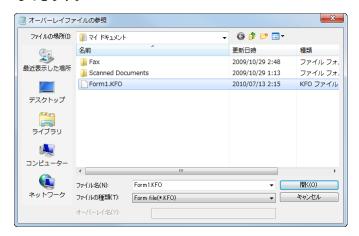
「オーバーレイ作成」チェックボックスをチェックして印刷すると、オーバーレイファイル（拡張子：KFO）が作成されます。作成したオーバーレイファイルは、「スタンプ / ページ印字」タブのリストに追加されます。

4. オーバーレイ印刷

印刷する文書に他の画像ファイルなどのイメージを取り込んで印刷します。

必ず用紙サイズと原稿の向きがオーバーレイに合っているプリントジョブに対して使用してください。
また、「レイアウト」タブの「ページ割付」で複数ページの文書を 1 ページに印刷するように設定した場合、オーバーレイは設定にあわせて調整されませんので、ご注意ください。

5. 編集

PCL/XPS ドライバーで［編集］をクリックすると、オーバーレイ印刷の編集画面が表示され、登録されているオーバーレイの情報を確認できます。

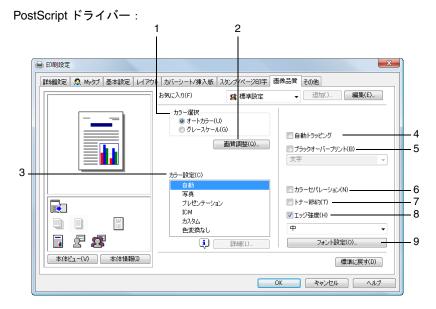
また、[ファイル参照] をクリックして表示されるオーバーレイファイルの参照画面でオーバーレイファイルを選択してリストに追加することもできます。

リストからオーバーレイファイルを削除する場合は、リスト内の削除したいオーバーレイファイルを選択し、[削除] をクリックします。
また、オーバーレイの印刷方法を設定します。オーバーレイを印刷するページを「全ページ」、「最初のページ」、「偶数ページ」、「奇数ページ」から選択して設定します。
オーバーレイと印刷文書の重ね合わせ方を「文書の背面」、「文書の前面(上書き)」から選択して設定します。

PostScript ドライバーで [編集] をクリックすると、以下の画面が表示されます。

追加したオーバーレイファイルを削除する場合は、リスト内の削除したいオーバーレイファイルを選択し、［削除］をクリックします。
ダウンロードマネージャをインストールしている場合、［プリンターにダウンロード］ボタンが有効になります。

PostScript ドライバーでフォームを印刷する場合、あらかじめ本機にオーバーレイファイルをダウンロードしておく必要があります。

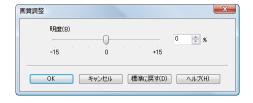
オーバーレイを印刷するページを設定する場合は、「印刷ページ」で「全ページ」、「最初のページ」、「偶数ページ」、「奇数ページ」から選択します。
オーバーレイ印刷の編集画面で［フォームファイルの管理］をクリックすると、オーバーレイファイルの管理画面が表示されます。［新規］をクリックして、新たに追加するオーバーレイファイルの設定を行います。
追加したオーバーレイファイルは、「スタンプ / ページ印字」タブまたはオーバーレイ印刷の編集画面のリストに追加されます。

「画像品質」タブ

PostScript ドライバー：

1. カラー選択

オートカラーで印刷するかグレースケールで印刷するかを設定します。

2. 画質調整

［画質調整］をクリックすると、画質調整画面が表示されます。印刷する画像の明るさ（明度）を設定します。

3. カラー設定

カラー設定を「自動」、「写真」、「プレゼンテーション」、「ICM」、「カスタム」、「色変換なし」から選択して設定します。

「写真」は、写真画像に適した設定です。

「プレゼンテーション」は、テキストや、グラフの多い文書に適した設定です。

「ICM」を選択すると、Windows の ICM を使用してカラー設定を行います。

「ICM」を選択した場合、［詳細］ボタンが有効になります。

［詳細］をクリックすると、ICM 設定画面が表示されます。ICM の印刷方法や、目的を設定します。

「カスタム」を選択すると、［詳細］ボタンが有効になります。［詳細］をクリックして表示される、カラー設定画面での設定内容に従ってカラー設定を行います。

カラー設定画面では、各オブジェクト（イメージ、テキスト、グラフィック）のカラー再現についての設定や、プロファイルの管理ができます。

■ RGB カラー
イメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトの色空間に関して指定します。本機が使用する入力 RGB の色空間を指定します。

- RGB 色変換
  イメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトの色変換処理に関して指定します。
  プリンターで処理する入力 RGB からデバイス CMYK への色変換特性を指定します。
- RGB グレー再現
  プリンターで処理するイメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトのグレーの再現に関して指定します。
- 出力プロファイル
  出力プロファイルに関して指定します。
- スクリーン
  イメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトのスクリーン処理に関して指定します。
- エッジ強調
  イメージ / テキスト / グラフィックスのエッジの強調を指定します。
- シミュレーションプロファイル
  インクシミュレーション、デバイスシミュレーション等に使用する、シミュレーションプロファイルを指定することができます。
- 用紙下地色にあわせる
  シミュレーション実施時の色変換特性を指定します。
- CMYK グレー再現
  シミュレーション実施時の CMYK 入力データ中の黒色とグレーの維持方法を指定します。
- プロファイルの管理
  「カラープロファイルの管理」ダイアログ ボックスを表示します。
- プリンターにダウンロード
  ダウンロードマネージャがインストールされている場合に起動します。ダウンロードマネージャのインストール方法については、「インストレーションガイド」をごらんください。

4. 自動トラッピング

「自動トラッピング」チェックボックスにチェックすると、絵柄の周囲に白い隙間が出ないように隣り合う色を重ねて印刷します。

5. ブラックオーバープリント

「ブラックオーバープリント」チェックボックスにチェックすると、黒い文字や図形の周囲に白い隙間が出ないように隣り合う色に黒を重ねて印刷します。
重なる条件を、文字だけにするか、文字と図にするかを選択して設定します。

6. カラーセパレーション

CMYK ごとに分割して印刷するかどうかを設定します。
「カラーセパレーション」チェックボックスにチェックすると、CMYK ごとに色分解し、それぞれをモノクロで印刷します。

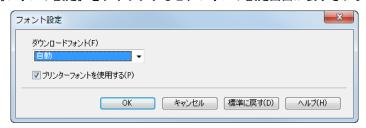
7. トナー節約

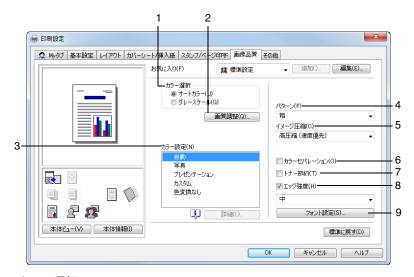
「トナー節約」チェックボックスにチェックすると、トナー量を抑えた印刷を行います。

8. エッジ強度

エッジを強調する場合、「エッジ強度」チェックボックスをチェックし、付加するエッジ強調ドットの強さを設定します。
「弱」を選択するとエッジ強調ドットを弱めに付加します。
「中」を選択するとエッジ強調ドットを付加します。
「強」を選択するとエッジ強調ドットを強めに付加します。

9. フォント設定

フォントについての設定をします。
［フォント設定］をクリックすると、フォント設定画面が表示されます。

フォント設定画面では、True Type フォントをダウンロードする方法と、印刷時に True Type フォントをプリンターフォントに置き換えるかどうかを設定します。

PCL ドライバー：

1. カラー選択

オートカラーで印刷するかグレースケールで印刷するかを設定します。

2. 画質調整

［画質調整］をクリックすると、画質調整画面が表示されます。印刷する画像の明るさ（明度）、コントラストを設定します。

3. カラー設定

プリンターのカラー設定を「自動」、「写真」、「プレゼンテーション」、「カスタム」、「色変換なし」から選択して設定します。
「写真」は、写真画像に適した設定です。
「プレゼンテーション」は、テキストや、グラフの多い文書に適した設定です。
「カスタム」を選択すると、［詳細］ボタンが有効になります。［詳細］をクリックして表示される、カラー設定画面での設定内容に従ってカラー設定を行います。

カラー設定画面では、各オブジェクト（イメージ、テキスト、グラフィック）のカラー再現についての設定ができます。

■ RGB カラー
イメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトの色空間に関して指定します。プリンターが使用する入力 RGB の色空間を指定します。

■ RGB 色変換
イメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトの色変換処理に関して指定します。
プリンターで処理する入力 RGB からデバイス CMYK への色変換特性を指定します。

- RGB グレー再現
  プリンターで処理するイメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトのグレーの再現に関して指定します。
- スクリーン
  イメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトのスクリーン処理に関して指定します。
- エッジ強調
  イメージ / テキスト / グラフィックスのエッジの強調を指定します。

4. パターン

パターンの密度を、「密」、「粗」から選択して設定します。

5. イメージ圧縮

イメージの圧縮方法を、「高圧縮（速度優先）」、「標準（品質優先）」から選択して設定します。

6. カラーセパレーション

CMYK ごとに分割して印刷するかどうかを設定します。
「カラーセパレーション」チェックボックスにチェックすると、CMYK ごとに色分解し、それぞれをモノクロで印刷します。

7. トナー節約

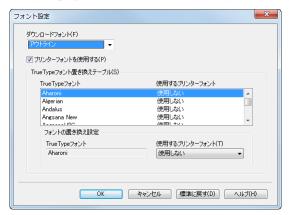
トナー消費量を抑えた印刷を行うかどうかを設定します。
「トナー節約」チェックボックスをチェックすると、トナー節約を行います。

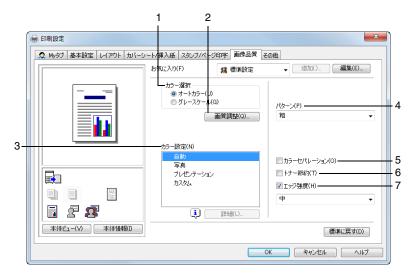
8. エッジ強度

エッジを強調する場合、付加するエッジ強調ドットの強さを設定します。
「エッジ強度」チェックボックスをチェックすると、エッジ強度を設定できます。
「弱」を選択するとエッジ強調ドットを弱めに付加します。
「中」を選択するとエッジ強調ドットを付加します。
「強」を選択するとエッジ強調ドットを強めに付加します。

9. フォント設定

フォントについての設定をします。

［フォント設定］をクリックすると、フォント設定画面が表示されます。

フォント設定画面では、True Type フォントをダウンロードする方法、印刷時に True Type フォントをプリンターフォントに置き換えるかどうか、True Type フォントをプリンターフォントに置き換える場合、どのプリンターフォントを使用するかを設定します。

XPS ドライバー：

1. カラー選択

オートカラーで印刷するかグレースケールで印刷するかを設定します。

2. 画質調整

［画質調整］をクリックすると、画質調整画面が表示されます。印刷する画像の明るさ（明度）を設定します。

3. カラー設定

プリンターのカラー設定を「自動」、「写真」、「プレゼンテーション」、「カスタム」から選択して設定します。

「写真」は、写真画像に適した設定です。

「プレゼンテーション」は、テキストや、グラフの多い文書に適した設定です。

「カスタム」を選択すると、［詳細］ボタンが有効になります。［詳細］をクリックして表示される、カラー設定画面での設定内容に従ってカラー設定を行います。

カラー設定画面では、各オブジェクト（イメージ、テキスト、グラフィック）のカラー再現についての設定ができます。

■ RGB カラー

イメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトの色空間に関して指定します。プリンターが使用する入力 RGB の色空間を指定します。

■ RGB 色変換
イメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトの色変換処理に関して指定します。
プリンターで処理する入力 RGB からデバイス CMYK への色変換特性を指定します。

■ RGB グレー再現
プリンターで処理するイメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトのグレーの再現に関して指定します。

■ 出力プロファイル
出力プロファイルに関して指定します。

■ スクリーン
イメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトのスクリーン処理に関して指定します。

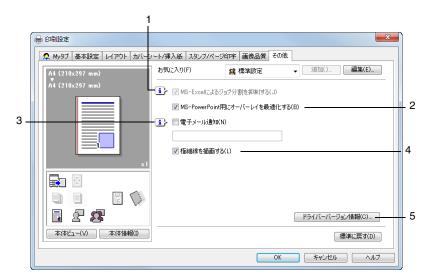
■ エッジ強調
イメージ / テキスト / グラフィックスのエッジの強調を指定します。

4. パターン
パターンの密度を、「密」、「粗」から選択して設定します。

5. カラーセパレーション
CMYK ごとに分割して印刷するかどうかを設定します。
「カラーセパレーション」チェックボックスにチェックすると、CMYK ごとに色分解し、それぞれをモノクロで印刷します。

6. トナー節約
トナー消費量を抑えた印刷を行うかどうかを設定します。
「トナー節約」チェックボックスをチェックすると、トナー節約を行います。

7. エッジ強度
エッジを強調する場合、付加するエッジ強調ドットの強さを設定します。
「エッジ強度」チェックボックスをチェックすると、エッジ強度を設定できます。
「弱」を選択するとエッジ強調ドットを弱めに付加します。
「中」を選択するとエッジ強調ドットを付加します。
「強」を選択するとエッジ強調ドットを強めに付加します。

「その他」タブ

1. MS-Excel によるジョブ分割を抑制する（32bit ドライバーのみ）
MS-Excel で印刷設定の異なる複数のシートを同時に印刷しようとする場合に、シートごとに別々のドキュメントに分割して印刷されるのを抑制するかどうかを設定します。

2. MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する（32bit PCL ドライバー / XPS ドライバーのみ）
背景が「白」の PowerPoint 原稿に、プリンタードライバーのオーバーレイ機能を指定して印刷する場合に、PowerPoint 原稿の「白」でオーバーレイ画像が上書きされないように設定します。

3. 電子メール通知
「電子メール通知」チェックボックスをチェックし、送信先のアドレスを設定すると、印刷終了時に印刷が正常に完了したことを電子メールで通知します。

4. 極細線を描画する（PCL ドライバーのみ）
極細線を描画するかどうかを設定します。

5. ドライバーバージョン情報

［ドライバーバージョン情報］をクリックすると、プリンタードライバーのバージョン情報を確認できます。

ポイント アンド プリントでインストールされたプリンタードライバーの機能制限

以下のサーバーとクライアントの組み合わせでポイント アンド プリントを実行した場合、プリンタードライバーで持つ機能が一部制限されます。

- サーバーとクライアントの組み合わせ
  サーバー　　：Windows Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2
  クライアント：Windows XP/2000/Vista/7
- 制限される機能
  「小冊子」、「白紙抑制」、「表カバー」、「裏カバー」、「区切りページ」、「オーバーレイ作成」、「オーバーレイ印刷」、「ウォーターマーク」
  ※ PJL の ジョブ名、ユーザー名、ホスト名の 出力

この組み合わせで使用する場合は、クライアントにプリンタードライバーをローカルでインストールし、接続先としてサーバーにインストールされている共有プリンターを指定してください。

保存ジョブ印刷と外部メモリプリント

保存ジョブ（確認プリント）

HDD に保存されているジョブは、本機の操作パネルで指定して印刷、削除できます。

印刷時にプリンタードライバーで「保存」、「保存＆印刷」、「機密印刷」、「機密印刷（暗号化）」、「試し印刷」を指定したときは、印刷ジョブが HDD に保存されます。

HDD のジョブを印刷する

1 ホーム画面で［USB/HDD］を押します。

2 ［確認プリント］を押します。

3 ジョブを送信したユーザーを一覧から選択します。

4 ［OK］を押します。

5 印刷するジョブを選択します。

6 ［印刷］を押します。

「機密印刷」、「機密印刷（暗号化）」ジョブの場合は、パスワード画面が表示されます。パスワードを入力してください。

7 印刷部数を設定し、［OK］を押します。

HDD のジョブを削除する

1 ホーム画面で［USB/HDD］を押します。

2 ［確認プリント］を押します。

3 ジョブを送信したユーザーを一覧から選択します。

4 ［OK］を押します。

5 削除するジョブを選択します。

6 ［削除］を押します。

「機密印刷」、「機密印刷（暗号化）」ジョブの場合は、パスワード画面が表示されます。パスワードを入力してください。

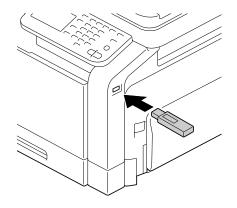
7 ［はい］を選択し、［OK］を押します。

外部メモリプリント

本機に USB メモリーを差し込むと、USB メモリーのファイルを指定して印刷できます。

印刷できるファイル形式は、PDF、XPS、JPEG、TIFF 形式です。

USB メモリーから印刷する

1 USB メモリーを本機の USB ホストポートに差し込みます。
USB メモリーを差し込むと、画面に アイコンが表示されます。

2 ホーム画面で［USB/HDD］を押します。

3 ［外部メモリ］を押します。

4 ［ファイルリスト］を押します。

5 印刷するファイルを選択します。

– ファイルがフォルダーに保存されているときは、フォルダーを選択し、［開く］を押して開きます。

6 ［OK］を押します。

7 必要に応じて、用紙サイズや部数などの印刷設定を変更します。

8 ［印刷］を押します。

表示できるファイルおよびフォルダー数は 99 件までです。

ファイルおよびフォルダーは名前順に表示します。

表示できるフォルダーの階層は 8 階層までです。

表示されないファイルがある場合は、［ファイルの種類］を設定してください。

印刷中は USB メモリーを抜かないでください。

ファイルの種類を設定する

1 ホーム画面で［USB/HDD］を押します。

2 ［外部メモリ］を押します。

3 ［ファイルの種類］を押します。

4 表示するファイルの種類を選択します。

5 ［OK］を押します。

認証 & プリント

ユーザー認証している本機に、プリンタードライバーから登録ユーザーまたはパブリックユーザーの権限で印刷すると、認証 & プリントジョブになり、本機の HDD に保存されます。

認証 & プリントで一括印刷時、割り込みコピーはできません。

ログインと同時に印刷する

1 ログイン画面で［ユーザー名］と［パスワード］を入力します。
2 ［印刷開始］を押します。
3 ［ログイン］を押します。
ユーザーが認証されると同時に印刷が始まります。

ジョブを指定して印刷する

1 ログイン画面で［ユーザー名］と［パスワード］を入力します。
2 ［基本画面へ］を押します。
3 ［ログイン］を押します。
ユーザーが認証され、ホーム画面が表示されます。
4 ホーム画面で［USB/HDD］を押します。
5 ［認証 & プリント］を押します。
6 パブリックユーザーかログインユーザーかを選択します。
7 印刷するジョブを選択します。
8 ［印刷］を押します。

ジョブを削除する

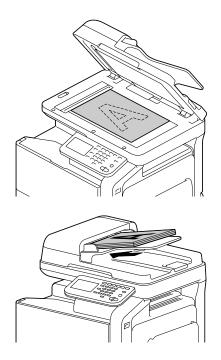
1 ログイン画面で［ユーザー名］と［パスワード］を入力します。
2 ［基本画面へ］を押します。
3 ［ログイン］を押します。
ユーザーが認証され、ホーム画面が表示されます。
4 ホーム画面で［USB/HDD］を押します。
5 ［認証 & プリント］を押します。
6 パブリックユーザーかログインユーザーかを選択します。
7 削除するジョブを選択します。
8 ［削除］を押します。
9 ［はい］を選択し、［OK］を押します。

7 コピー機能を使う

基本コピー

ここでは、基本的なコピーの手順について説明します。

1 ホーム画面で［コピー］を押します。
   – ホーム画面のまま［スタート（カラー）］キーまたは［スタート（モノクロ）］キーを押すと、初期値の設定でコピーできます。

2 原稿を原稿ガラスまたは ADF にセットします。
   – 原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.173）または「ADF 上に原稿をセットする」（p.174）をごらんください。

3 必要に応じて各機能でコピー条件を設定します。

原稿サイズの設定については、「[読込みサイズ]」（p.227）をごらんください。
コピーする用紙サイズの設定については、「[用紙設定]」（p.228）をごらんください。
倍率の設定については、「[倍率設定]」（p.229）をごらんください。
両面コピーなどの設定については、「[片 / 両面 集約]」（p.230）をごらんください。
濃度の設定については、「[濃度]」（p.232）をごらんください。
原稿種類（文字や写真）の設定については、「[原稿画質]」（p.233）をごらんください。
カラーコピー時の設定については、「[カラー]」（p.234）をごらんください。
仕上がりの設定については、「[仕上り]」（p.235）をごらんください。
確認コピーの操作については、「[確認コピー]」（p.236）をごらんください。
連続読込みの操作については、「[連続読込み設定]」（p.238）をごらんください。
ID コピーの操作については、「[ID コピー]」（p.240）をごらんください。
とじしろの設定については、「[とじしろ]」（p.242）をごらんください。
画質調整の設定については、「[画質調整]」（p.243）をごらんください。

4 テンキーでコピー部数を入力します。

– コピー部数を誤って入力してしまった場合は、［C］（クリア）キーを押してから、正しいコピー部数を入力し直してください。

5 カラーコピーをとる場合は、[スタート（カラー)] キーを押します。
モノクロコピーをとる場合は、[スタート（モノクロ)] キーを押します。

本機は読込む原稿のサイズを自動検知しません。原稿を読込む前に原稿サイズの設定をしてください。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。原稿サイズの設定について詳しくは、「[読込みサイズ]」（p.227）をごらんください。

ソートや両面コピー、集約コピーなどを原稿ガラスを使用してコピーする場合は、全ての原稿を読み込んだ後に［完了］を押してください。

コピー中は画面に、読込み原稿の枚数や部数、印刷枚数などが表示されます。

ADF ではサイズの異なる混載原稿を読込むことができます。混載原稿を読込む場合は、「[読込みサイズ]」（p.227）をごらんください。

割込みの操作については、「コピージョブの割込み」（p.246）をごらんください。

コピープログラムの設定については、「コピープログラム」（p.247）をごらんください。

[読込みサイズ]

原稿のサイズを設定します。

項目	説明
[定形サイズ]	定形の原稿サイズを指定します。 [定形サイズ] を押し、表示された定型サイズから原稿サイズを選択します。 サイズの異なる原稿が混ざっている場合は、[A4] を選択してください。
[不定形サイズ]	[不定形サイズ] を押すと、原稿サイズを指定する画面が表示されます。[X] 辺または [Y] 辺を選択し、[+]、[−] を押してサイズを指定します。

混載原稿をコピーする

サイズの異なる複数枚の原稿を一度に ADF にセットし読込むことができます。

サイズが異なる場合でも、[用紙設定] が [自動] のときは、原稿と同じサイズの用紙にコピーされます。

全ての原稿は ADF の左側を基準にしてセットしてください。

[用紙設定]

各給紙トレイにセットされている用紙サイズや用紙種類の設定を変更できます。

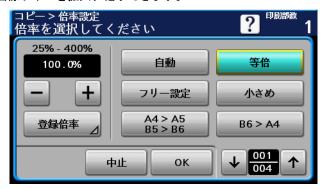
用紙サイズの選択には、原稿のサイズに合わせて自動で用紙を選択する方法と、手動で用紙を指定する方法があります。

項目	説明
[1] ～ [4]	手動で用紙を指定することができます。 [3] と [4] はオプションの給紙ユニットを装着している場合に設定できます。
[自動]	原稿サイズに合わせて自動で用紙を選択することができます。
[選択トレイの設定変更]	選択した給紙トレイの用紙サイズと用紙種類を設定できます。
[用紙サイズ]	選択した給紙トレイの用紙サイズを設定できます。
[定形サイズ]	定型の用紙サイズを指定します。
[不定形サイズ]	用紙サイズを入力します。
[用紙種類]	選択した給紙トレイの用紙種類を設定できます。

使用できる用紙サイズと用紙種類については、「用紙の取り扱い」（p.137）をごらんください。

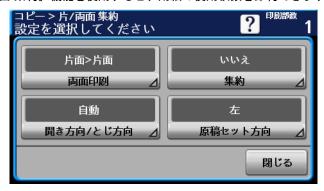
手差しトレイに用紙をセットすると、自動的に手差しトレイ（トレイ 1）が選択された状態で［用紙設定］画面を表示します。

[倍率設定]

原稿の画像サイズを拡大、縮小できます。

項目	説明
[-] / [+]	コピー倍率（25.0 ～ 400.0%）を入力できます。 ADF を使用する場合は、25.0 ～ 200.0%の範囲で設定できます。
[登録倍率]	登録されているコピー倍率（25.0 ～ 200.0%）から選択できます。 [小さめ] はコピー倍率を変更することができます。
倍率設定	以下の設定から倍率を選択できます。 [自動]：原稿サイズと選択した用紙サイズに合わせて、自動的に最適なコピー倍率が選択されます。 [等倍]：原稿の画像を原寸（等倍）でコピーできます。 [フリー設定]：コピー倍率（25.0%～ 400.0%）を [-] / [+] で入力できます。 [小さめ]：原稿の画像を原稿サイズや指定した倍率より、わずかに縮小してコピーします。原稿全体を用紙に収めてコピーしたい場合に選択します。

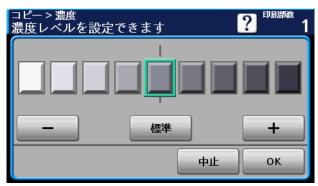
[片 / 両面 集約]

原稿の読込み面と用紙の印刷面をそれぞれ片面にするか両面にするかを設定できます。また、複数枚（2 枚、4 枚）の原稿画像を、1 枚の用紙に縮小してコピーできます。

[片 / 両面 集約] 機能を使用すると、用紙の使用枚数を節約できます。

項目	説明
[両面印刷]	片面コピーか両面コピーかを選択できます。 [片面＞片面]：片面の原稿を片面にコピーします。 [片面＞両面]：片面の原稿を両面にコピーします。 [両面＞片面]：両面の原稿を片面にコピーします。 [両面＞両面]：両面の原稿を両面にコピーします。
[集約]	複数の原稿を 1 ページに集約してコピーします。 [いいえ]：ページ集約は行われません。 [2 in 1]：2 枚の原稿画像を 1 枚の用紙にコピーできます。 [4 in 1 横順]：4 枚の原稿画像を 1 枚の用紙に横順で並べてコピーできます。 [4 in 1 縦順]：4 枚の原稿画像を 1 枚の用紙に縦順で並べてコピーできます。

項目	説明
［開き方向 / とじ方向］	原稿およびコピーの開き方向を設定します。
［原稿とじしろ］	原稿のとじ方向を［左とじ］、［右とじ］、［上とじ］、［自動］から選択します。 原稿のとじ方向で［自動］を設定した場合は、上側または左側のとじしろが設定されます。
［コピー開き方向］	コピーのとじ方向を［左とじ］、［右とじ］、［上とじ］、［自動］から選択します。 コピーのとじ方向で［自動］を設定した場合は、上側または左側のとじしろが設定されます。
［原稿セット方向］	ADF や原稿ガラスにセットした原稿のセット方向を［上］［下］［左］［右］で設定します。

[濃度]

コピー濃度を設定します。

項目	説明
[-] / [+]	濃度は 9 段階から設定します。
[標準]	コピー濃度を標準値にします。

[原稿画質]

原稿の内容に応じて原稿画質を設定します。

項目	説明
[文字]	文字だけの原稿を読込む場合に選択します。
[文字 / 写真]	文字と写真が混ざった原稿を読込む場合に選択します。 文字の色や濃淡を自動的に認識して適切に処理します。
[写真]	写真だけの原稿を読込む場合に選択します。

[カラー]

カラーコピーをするときに設定します。

[スタート（カラー）] キーを押すと、ここで設定した条件でコピーされます。

項目	説明
[自動]	原稿がカラーかモノクロかを自動的に判別してモノクロ原稿はモノクロに、カラー原稿はカラーでコピーします。
[フルカラー]	原稿がカラーかモノクロかに関わらず、カラーでコピーします。

［仕上り］

コピーの仕上がりを設定します。

項目	説明
［ソート］	複数ページの原稿を複数部コピーする場合に、ページ順で 1 部ずつ印刷することができます。
［グループ］	複数ページの原稿を複数部コピーする場合に、ページごとに複数枚コピーできます。
［自動］	原稿の枚数やコピー部数によって自動的に［ソート］か［グループ］かを判別します。

[確認コピー]

大量のコピーを行うとき、先に 1 部のみ印刷して仕上りを確認できます。
印刷の失敗を未然に防ぐことができます。

項目	説明
[する]	確認コピーを有効にします。
[しない]	確認コピーをしません。

確認コピーの操作

確認コピーは複数部数をコピーする場合に有効です。

1 ホーム画面で [コピー] を押します。

2 原稿を原稿ガラスまたは ADF にセットします。
– 原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」(p.173) または「ADF 上に原稿をセットする」(p.174) をごらんください。

3 部数とコピー条件を設定します。

4 [確認コピー] を押します。

5 [する] を押します。

6 [OK] を押します。

7 [スタート(カラー)] キーまたは [スタート(モノクロ)] キーを押します。
1 部印刷されます。

8 コピー結果を確認します。
コピー結果を確認して問題なければ、手順 9 へ進みます。

– テンキーで部数を変更できます。
– さらに確認したいときは、［確認コピー］を押して 1 部のみ出力できます。
– 中止したい場合は［中止］を押します。やり直す場合は、手順 2 から操作してください。

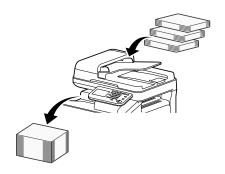
9 ［印刷］を押します。
残りの部数が印刷されます。

[連続読込み設定]

原稿の読込みを数回に分割するかどうかを設定します。

原稿枚数が ADF の容量を超える場合や、原稿ガラスで複数ページの原稿を読込みたい場合などは、原稿を数回に分けて読込ませ、ひとつのコピージョブとして扱うことができます。また原稿の読込みを ADF と原稿ガラスに切換えながらコピーすることもできます。

項目	説明
[する]	連続読込みを有効にします。
[しない]	連続読込みをしません。

連続読込みの操作

ADF に最大枚数を超える原稿をセットしないでください。原稿づまりや原稿破損、故障の原因となります。

ソートや両面コピー、集約コピーなどを原稿ガラスを使用してコピーする場合、連続読込みを設定しないで複数枚の原稿を読込むことができます。

1 ホーム画面で［コピー］を押します。

2 ADF または原稿ガラスに最初の原稿をセットします。
– 原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.173）または「ADF 上に原稿をセットする」（p.174）をごらんください。

3 コピー条件を設定します。

4 ［連続読込み設定］を押します。

5 ［する］を押します。

6 ［OK］を押します。

7 ［スタート（カラー）］キーまたは［スタート（モノクロ）］キーを押します。
原稿の読込みが開始されます。

8 次の原稿をセットし、［スタート（カラー）］キーまたは［スタート（モノクロ）］キーを押します。
– ［設定変更］を押すと、読込み設定を変更できます。

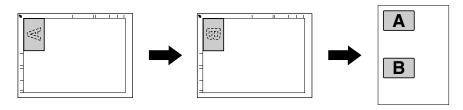
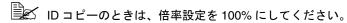
9 すべての原稿を読込むまで、手順 8 を繰り返します。

10 すべての原稿の読込みが終了したら、［終了］を押します。

[ID コピー]

保険証や免許証、名刺など各種カードの表裏を別々に読込み、1 枚の用紙に並べてコピーできます。

ID コピーを使用すると、用紙の使用枚数を節約できます。

ID コピーのときは、倍率設定を 100% にしてください。

利用可能な用紙サイズは、A4、レター、リーガルです。

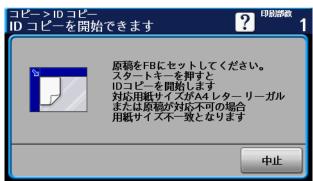
ID コピーは原稿ガラスで行います。カードを原稿ガラスの左奥に合わせてセットしてください。印刷される状態は用紙の上および左から 4mm の位置に配置されますので、必要に応じてカードの位置を変えてください。

1 ホーム画面で［コピー］を押します。

2 原稿ガラスにカードをセットします。

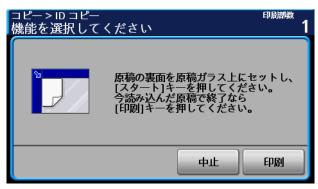
3 コピー条件を設定します。

4 [ID コピー] を押します。

5 [スタート（カラー)］キーまたは［スタート（モノクロ)］キーを押します。

原稿の読込みが開始されます。

– 1 回の読込みのみで印刷する場合は、ここで［印刷］を押すと出力できます。

6 原稿ガラスにカードの裏側または別のカードを 1 回目と同じ位置にセットします。

7 ［スタート（カラー）］キーまたは［スタート（モノクロ）］キーを押します。

原稿の読込みが開始され、合成されたコピーが出力されます。

[とじしろ]

ファイリングしやすいように、用紙にとじしろ（余白）をつくってコピーします。

項目	説明
[-] / [+]	とじしろ幅（0.1 mm ～ 20.0 mm）を設定します。
[なし]	とじしろを設定しません。

とじしろの設定により画像が欠けてしまう場合は、倍率を縮小してコピーしてください。

[画質調整]

原稿の状態に応じて原稿画質を設定します。

項目	説明
[下地調整]	下地色の付いた原稿（新聞紙や再生紙など）や裏面が透ける薄い原稿を読込むときの下地色の読込み濃度を設定します。 濃度は 9 段階から設定します。下地色の濃さに応じて設定してください。
[コントラスト]	原稿を読込むときの濃淡の差を設定します。 コントラストは 9 段階から設定します。
[シャープネス]	原稿を読込むときの文字や線などの境界部分の強さを設定します。文字や線などを鮮明に読込む場合は、＋側に設定します。 シャープネスは 7 段階から設定します。

コピーの補助機能

コピージョブの割込み

他のジョブの進行を中断し、一時的に異なるコピー条件でコピーできます。急いでコピーをしたいときなどに便利です。

原稿読込み中は［割込み］キーを押すことができません。
［割込み］キーを押すと、コピー条件は初期設定に戻ります。

1 ホーム画面で［コピー］を押します。
2 原稿をセットします。
3 操作パネルの［割込み］キーを押します。
［割込み］のランプが緑色に点灯し、印刷中のジョブは中断されます。
4 コピー条件を設定します。
5 ［スタート（カラー）］キーまたは［スタート（モノクロ）］キーを押します。
6 割込みジョブの印刷が終了したら、［割込み］キーを押します。
［割込み］のランプが消灯し、割込みコピー設定が解除されます。
割込みコピー前のコピー条件が復帰します。

コピープログラム

よく使う各種コピーの設定条件の組合わせを、プログラムとして本機に登録し、簡単に呼出すことができます。

コピープログラムを登録する

コピープログラムは最大 15 件登録することができます。

1 ホーム画面で［コピー］を押します。
2 登録したいコピー条件を設定します。
– ［コピー設定］については、「コピー機能を使う」（p.223）をごらんください。
3 操作パネルの［プログラム］キーを押します。
4 ［登録先］を押します。

5 ［名前］を押します。
6 コピープログラムの名前を入力し、［OK］を押します。
7 ［OK］を押します。
コピープログラムが登録されました。
8 ［中止］を押します。
コピーモードの画面に戻ります。

コピープログラムを削除する

1 ホーム画面で［コピー］を押します。
2 操作パネルの［プログラム］キーを押します。
3 削除したいコピープログラム名を選択します。
4 ［削除］を押します。
5 ［はい］を押します。
6 ［OK］を押します。
7 ［中止］を押します。
コピーモードの画面に戻ります。

コピープログラムを使う

プログラム宛先を指定するには、あらかじめ本機に登録しておく必要があります。詳しくは、「コピープログラムを登録する」（p.247）をごらんください。

1 ホーム画面で［コピー］を押します。
2 原稿をセットします。
3 操作パネルの［プログラム］キーを押します。
4 目的のコピープログラム名を選択します。
– ［詳細］を押すと、設定の内容が確認できます。
5 ［OK］を押します。
設定が呼び出されたコピーモードの画面になります。
6 ［スタート（カラー）］キーまたは［スタート（モノクロ）］キーを押します。

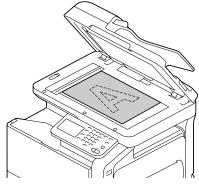
アプリケーション操作によるスキャン

基本的なスキャン操作

ネットワーク経由で本機と接続したコンピュータのアプリケーションを使ってスキャンを実行します。スキャンの設定および操作は、TWAIN または WIA 対応のアプリケーションで行います。スキャンする範囲の指定やプレビュー表示など、スキャナードライバーでさまざまな調整を行うことができます。

ここでは、基本的なスキャンの手順について説明します。

スキャナードライバーのインストール方法について詳しくは、「インストレーションガイド」をごらんください。

1 原稿を原稿ガラスまたは ADF にセットします。
   – 原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.173）または「ADF 上に原稿をセットする」（p.174）をごらんください。

2 スキャンデータを取り込むアプリケーションを起動します。

3 アプリケーションの設定でスキャン機能を選択し、スキャナードライバーを起動します。
   – アプリケーションからスキャン画像を読み込む場合、スキャナードライバーは「KONICA MINOLTA bizhub C35 TWAIN」または「WIA-KONICA MINOLTA bizhub C35 Network」と表示されます。

4 必要に応じてスキャナードライバーの設定をします。

5 スキャナードライバーの［スキャン］をクリックします。

Windows TWAIN ドライバーの設定

モードの設定

■ ［モード設定］
基本項目のみ設定する［簡易モード］と、詳細に設定する［詳細モード］を選択します。
それぞれ、設定できる項目が異なります。

［簡易モード］選択時

［簡易モード］を選択すると以下の項目が設定できます。

■ ［ヘルプ］アイコン
ヘルプを表示します。

■ ［バージョン情報］
ドライバーのバージョン情報を表示します。

■ ［スキャン目的］
原稿種類を選択します。

■ ［スキャンタイプ］
スキャンする画像の形式を指定できます。フルカラー、グレー、白黒から選択します。

■ ［解像度］
150dpi × 150dpi、300dpi × 300dpi、600dpi × 600dpi、1200dpi × 1200dpi、2400dpi × 2400dpi、4800dpi × 4800dpi から選択します。

■ ［自動色調整］
自動的に色を補正します。

■ ［自動傾き補正］
原稿の傾き補正を設定します。

■ ［給紙方法］
原稿ガラス（フラットベッド）と ADF のどちらに原稿をセットするかを選択します。
ADF からスキャンするときは、片面か両面かを選択します。

■ ［原稿サイズ］
原稿サイズを指定します。

■ ［回転］
スキャンする画像の向きを設定します。

［裏面反転］にチェックをすると、裏面を 180°回転してスキャンします（この設定は、［給紙方法］が［ADF（両面）］のときに設定可能です）。

■ ［画像サイズ］
スキャン画像のデータサイズを表示します。

- ［閉じる］
  Windows TWAIN ドライバーのウィンドウを閉じます。
- ［プレスキャン］
  プレビュー画像の読み込みを開始します。
- ［スキャン］
  スキャンを開始します。
- ［クリア］アイコン
  プレビュー画像を消去します。

［詳細モード］選択時

［詳細モード］を選択すると以下の項目が設定できます。

- ［読み込み］
  保存した設定ファイル（dat ファイル）を読み込みます。
- ［保存］
  現在の設定を設定ファイル（dat ファイル）として保存します。
- ［デフォルト］
  すべての設定を初期値に戻します。
- ［ヘルプ］アイコン
  ヘルプを表示します。
- ［バージョン情報］
  ドライバーのバージョン情報を表示します。
- ［給紙方法］
  原稿ガラス（フラットベッド）と ADF のどちらに原稿をセットするかを選択します。
  ADF からスキャンするときは、片面か両面かを選択します。
- ［原稿サイズ］
  原稿サイズを指定します。
- ［スキャンタイプ］
  スキャンする画像の形式を指定できます。フルカラー、グレー、白黒から選択します。
- ［解像度］
  150dpi × 150dpi、300dpi × 300dpi、600dpi × 600dpi、1200dpi × 1200dpi、2400dpi × 2400dpi、4800dpi × 4800dpi から選択します。
- ［スケール］
  拡大 / 縮小率を設定します。

［解像度］が 1200dpi × 1200dpi 以上の場合は、100% 以上には設定できません。

- ［スキャンモード］
  ［オート］または［マニュアル］を選択します。［マニュアル］を選択すると、［明るさ / コントラスト］、［フィルタ］、［カーブ］、［レベル］、［カラーバランス］、［色相 / 彩度］を設定できます。

設定可能な項目は、選択したスキャンタイプによって異なります。スキャンタイプの設定によって、表示される詳細設定が異なります。スキャンモードを「オート」に設定して、原稿ガラスから読み込む場合は、プレスキャンを実行してプレビュー画像を確認してから、スキャンを実行してください。

■ ［画像サイズ］
スキャン画像のデータサイズを表示します。

■ ［回転］
スキャンする画像の向きを設定します。

［裏面反転］にチェックをすると、裏面を 180°回転してスキャンします（この設定は、［給紙方法］が［ADF（両面）］のときに設定可能です）。

■ ［自動傾き補正］
原稿の傾き補正を設定します。

■ ［閉じる］
Windows TWAIN ドライバーのウィンドウを閉じます。

■ ［プレスキャン］
プレビュー画像の読み込みを開始します。

■ ［スキャン］
スキャンを開始します。

■ ［オートクロップ］アイコン
プレビュー画像をもとに、読み込み位置を自動的に検出します。

■ ［ズームプレスキャン］アイコン
プレビューウィンドウで指定した領域を再度読み込んで、ウィンドウに合わせて拡大表示します。

■ ［鏡像］アイコン
プレビュー画像を左右に反転します。

■ ［階調反転］アイコン
プレビュー画像の色を反転します。

■ ［クリア］アイコン
プレビュー画像を消去します。

■ ［プレビューウィンドウ］
プレビュー画像が表示されます。矩形をドラッグして領域を指定します。

■ 色調整前 / 色調整後（RGB）
プレビューウィンドウ上にカーソルを移動すると、カーソル位置の補正前後の色調が表示されます。

■ 幅 / 高さ
指定領域の幅 / 高さが、選択した単位で表示されます。

- [給紙方法]
  原稿ガラス（フラットベッド）と ADF のどちらに原稿をセットするかを選択します。
- [カラー画像]
  カラーでスキャンするときに選択します。
- [グレースケール画像]
  グレースケールでスキャンするときに選択します。
- [白黒画像またはテキスト]
  白黒でスキャンするときに選択します。
- [カスタム設定]
  詳細プロパティ画面の設定値を使うときに選択します。
- [スキャンした画像の品質の調整]
  詳細プロパティ画面で詳細を設定します。

詳細プロパティ画面で設定した内容が［カスタム設定］になります。

- [ページサイズ]
  原稿のサイズを設定します。

［給紙方法］で ADF を選択している場合に有効です。

- [プレビューウィンドウ]
  プレビュー画像が表示されます。矩形をドラッグして領域を指定します。
- [プレビュー]
  プレビュー画像の読み込みを開始します。
- [スキャン]
  スキャンを開始します。
- [キャンセル]
  WIA ドライバーのウィンドウを閉じます。

Macintosh TWAIN ドライバーの設定

モードの設定

■ ［モード設定］
基本項目のみ設定する［簡易モード］と、詳細に設定する［詳細モード］を選択します。
それぞれ、設定できる項目が異なります。

［簡易モード］選択時

［簡易モード］を選択すると以下の項目が設定できます。

■ ［ヘルプ］アイコン
ヘルプを表示します。

■ ［バージョン情報］
ドライバーのバージョン情報を表示します。

■ ［スキャン目的］
原稿種類を選択します。

■ ［スキャンタイプ］
スキャンする画像の形式を指定できます。フルカラー、グレー、白黒から選択します。

■ ［解像度］
150dpi × 150dpi、300dpi × 300dpi、600dpi × 600dpi、1200dpi × 1200dpi、2400dpi × 2400dpi、4800dpi × 4800 dpi から選択します。

■ ［自動色調整］
自動的に色を補正します。

■ ［自動傾き補正］
原稿の傾き補正を設定します。

■ ［給紙方法］
原稿ガラス（フラットベッド）と ADF のどちらに原稿をセットするかを選択します。
ADF からスキャンするときは、片面か両面かを選択します。

■ ［原稿サイズ］
原稿サイズを指定します。

■ ［回転］
スキャンする画像の向きを設定します。

［裏面反転］にチェックをすると、裏面を 180°回転してスキャンします（この設定は、［給紙方法］が［ADF（両面）］のときに設定可能です）。

■ ［画像サイズ］
スキャン画像のデータサイズを表示します。

■ ［閉じる］
Macintosh TWAIN ドライバーのウィンドウを閉じます。

■ ［プレスキャン］
プレビュー画像の読み込みを開始します。

■ ［スキャン］
スキャンを開始します。

■ ［クリア］アイコン
プレビュー画像を消去します。

［詳細モード］選択時

［詳細モード］を選択すると以下の項目が設定できます。

■ ［読み込み］
保存した設定ファイル（dat ファイル）を読み込みます。

■ ［保存］
現在の設定を設定ファイル（dat ファイル）として保存します。

■ ［デフォルト］
すべての設定を初期値に戻します。

■ ［ヘルプ］アイコン
ヘルプを表示します。

■ ［バージョン情報］アイコン
ドライバーのバージョン情報を表示します。

■ ［給紙方法］
原稿ガラス（フラットベッド）と ADF のどちらに原稿をセットするかを選択します。
ADF からスキャンするときは、片面か両面かを選択します。

■ ［原稿サイズ］
原稿サイズを指定します。

■ ［スキャンタイプ］
スキャンする画像の形式を指定できます。フルカラー、グレー、白黒から選択します。

■ ［解像度］
150dpi × 150dpi、300dpi × 300dpi、600dpi × 600dpi、1200dpi × 1200dpi、2400dpi × 2400dpi、4800dpi × 4800dpi から選択します。

■ ［スケール］
拡大 / 縮小率を設定します。

［解像度］が 1200dpi × 1200dpi 以上の場合は、100% 以上には設定できません。

■ ［スキャンモード］
［オート］または［マニュアル］を選択します。［マニュアル］を選択すると、［明るさ / コントラスト］、［フィルタ］、［カーブ］、［レベル］、［カラーバランス］、［色相 / 彩度］を設定できます。

設定可能な項目は、選択したスキャンタイプによって異なります。スキャンタイプの設定によって、表示される詳細設定が異なります。スキャンモードを「オート」に設定して、原稿ガラスから読み込む場合は、プレスキャンを実行してプレビュー画像を確認してから、スキャンを実行してください。

■ ［画像サイズ］
スキャン画像のデータサイズを表示します。

■ ［回転］
スキャンする画像の向きを設定します。

［裏面反転］にチェックをすると、裏面を 180°回転してスキャンします（この設定は、［給紙方法］が［ADF（両面）］のときに設定可能です）。

■ ［自動傾き補正］
原稿の傾き補正を設定します。

■ ［閉じる］
Macintosh TWAIN ドライバーのウィンドウを閉じます。

■ ［プレスキャン］
プレビュー画像の読み込みを開始します。

■ ［スキャン］
スキャンを開始します。

■ ［オートクロップ］アイコン
プレビュー画像をもとに、読み込み位置を自動的に検出します。

■ ［ズームプレスキャン］アイコン
プレビューウィンドウで指定した領域を再度読み込んで、ウィンドウに合わせて拡大表示します。

■ ［鏡像］アイコン
プレビュー画像を左右に反転します。

■ ［階調反転］アイコン
プレビュー画像の色を反転します。

■ ［クリア］アイコン
プレビュー画像を消去します。

■ ［プレビューウィンドウ］
プレビュー画像が表示されます。矩形をドラッグして領域を指定します。

■ 色調整前 / 色調整後（RGB）
プレビューウィンドウ上にカーソルを移動すると、カーソル位置の補正前後の色調が表示されます。

■ 幅 / 高さ
指定領域の幅 / 高さが、選択した単位で表示されます。

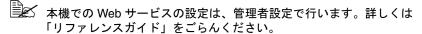
Web サービスを使用する場合

ネットワーク上のコンピューター（Windows 7/Vista/Server 2008）からスキャンの指示をしたり、本機から目的別にスキャンを行い、コンピューターに送信できます。ここでは、コンピューター側で事前に必要となる設定について説明します。

Web サービスを使用するために必要な設定

Web サービスを使用するために必要な設定は以下のとおりです。

- コンピューターに本機をインストールする
- 本機で Web サービスを行うための設定をする

本機での Web サービスの設定は、管理者設定で行います。詳しくは「リファレンスガイド」をごらんください。

コンピューターに本機をインストールする

インストール前の確認

インストールの前に、「コントロールパネル」－「ネットワークと共有センター」で、「ネットワーク探索」が有効に設定されていることを確認してください。

インストールの手順

1 「スタート」ボタンから「ネットワーク」を選択します。
ネットワークに接続されている機器が表示されます。

2 本機のスキャナーアイコンを右クリックし、「インストール」を選択します。

 – コンピューター側の設定によっては、UAC（User Account Control）画面が表示されることがあります。内容を確認し、続行してください。

 – 本機で Web サービスのスキャン機能とプリンター機能の両方が有効に設定されている場合、本機はプリンターアイコンで表示されます。

 – ドライバーソフトウェアが自動的にインストールされます。確認画面が表示されたら［閉じる］をクリックします。

3 本機の操作パネルで「Web サービス」を選択し、接続先が表示されていることを確認します。

コンピューターからスキャンの指示をする（Web サービス）

コンピューターからスキャンの指示を本機に行い、スキャンしたデータを受信できます。

ここでは、Windows フォトギャラリーからスキャンする手順を例に説明します。

本機からスキャンを指示して、データを保存することもできます。詳しい手順は「Web サービス設定の場合」（p.306）をごらんください。

コンピューターからスキャンの指示をするには

1 スキャンを行うことのできるアプリケーションソフトを起動します。

2 「ファイル」メニューから「カメラまたはスキャナーからの読み込み」を選択します。

3 「デバイスの選択」の一覧から本機を選択し、［OK］をクリックします。「新しいスキャン」ウィンドウが起動します。

4 本機に原稿をセットします。

– スキャンの内容を設定し、「スキャン」をクリックします。スキャンが行われ、画像の一覧にスキャンしたデータが追加されます。

10 本体操作によるスキャン

はじめに設定してください

本機では、スキャンしたイメージデータをネットワーク経由で E-mail 送信、FTP 送信、SMB 送信、WebDAV 送信、Web サービス送信するネットワークスキャン機能と、本機の HDD や USB メモリーに保存するスキャン機能があります。

- FTP 送信を使用する場合、ネットワークへの接続と［TCP/IP］、［FTP］の設定が必要です。
- SMB 送信を使用する場合、ネットワークへの接続と［TCP/IP］、［SMB］の設定が必要です。
- WebDAV 送信を使用する場合、ネットワークへの接続と［TCP/IP］、［WebDAV］の設定が必要です。
- Web サービス送信を使用する場合、ネットワークへの接続と［TCP/IP］、［Web サービス］（WSD）の設定が必要です。
- E-mail 送信する場合は、ネットワークへの接続と［TCP/IP］、［SMTP］を設定し、［マシン登録］で本体に E-mail アドレスを登録する必要があります。

ネットワーク設定について、詳しくは、「リファレンスガイド」をごらんください。

設定しておくと便利な機能

■ スキャンしたデータの送信先（宛先）を短縮宛先やグループ宛先に登録しておくと便利です。

■ 送信先や読込みの設定などをまとめてひとつのプログラムとして設定しておくと、いつも同じ条件でスキャンする場合などに便利です。

E-mail 送信機能を使用する

E-mail 送信の基本操作

スキャンデータを E-mail で送信する E-mail 送信の基本的な操作を説明します。

1 ［E-mail 送信］を押し、E-mail 送信初期画面を表示します。

2 ADF または原稿ガラスに原稿をセットします。

– 原稿のセットのしかたについて詳しくは、「原稿をセットする」（p.173）をごらんください。

原稿の枚数が多く ADF にセットしきれない場合は、［設定］－［原稿設定］－［連続読込み設定］を［する］に設定することで、原稿を分割して読込むことができます。［連続読込み設定］について詳しくは、「［原稿設定］－「［連続読込み設定］」（p.238）をごらんください。

原稿ガラスで複数枚の原稿を読込み、まとめて 1 つのスキャンデータにしたい場合は、［設定］－［原稿設定］－［連続読込み設定］を［する］に設定します。［連続読込み設定］について詳しくは、「［原稿設定］－「［連続読込み設定］」（p.238）をごらんください。

3 宛先を指定します。

– 宛先の指定のしかたについて詳しくは、「宛先を指定する」（p.281）をごらんください。

– E-mail 送信初期画面で［設定内容］を押すと、指定した宛先の確認、削除ができます。

4 必要に応じて、［設定］の各項目を設定します。

– ［設定］の［片面 / 両面］、［読込みサイズ］、［原稿設定］、［カラー］、［原稿画質］については、「原稿を設定する」（p.266）をごらんください。
– ［設定］の［下地 / 濃度］、［解像度］、［ファイル設定］については、「読込み条件を設定する」（p.273）をごらんください。
– ［設定］の［通信設定］については、「コミュニケーションを設定する」（p.278）をごらんください。

5 ［スタート］キーを押します。

– ［スタート（カラー）］キーを押すとカラーでスキャンし、［スタート（モノクロ）］キーを押すとモノクロでスキャンします。

本機は読込む原稿のサイズを自動検知しません。原稿を読込む前に原稿サイズの設定をしてください。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。原稿サイズの設定について詳しくは、「［読込みサイズ］」（p.267）をごらんください。

原稿の読込み中にメモリー残量がなくなった場合は、読込みを継続できません。読込みが終了した原稿のみ送信する場合は、［スタート］キーを押します。送信を中止する場合は、［ストップ］キーを押します。

原稿を設定する

［設定］の［片面 / 両面］、［読込みサイズ］、［原稿設定］、［カラー］、［原稿画質］では、原稿の状態を設定します。

［片面 / 両面］

ADF を使用する場合、両面原稿を読込むかどうかを設定します。

項目	説明
［片面］	片面原稿を読込む場合に選択します。
［両面］	両面原稿を読込む場合に選択します。
［表紙 + 両面］	表紙と両面原稿を読込む場合に選択します。表紙は表面のみを読込み、2 枚目以降は表裏を読込みます。

[読込みサイズ]

送信する原稿のサイズを設定します。

項目	説明
[定形サイズ]	定形の原稿サイズを指定します。 [定形サイズ] を押し、表示された定型サイズから原稿サイズを選択します。 サイズの異なる原稿が混ざっている場合は、[A4] を選択してください。
[不定形サイズ]	[不定形サイズ] を押すと、原稿サイズを指定する画面が表示されます。[X] 辺または [Y] 辺を選択し、[+]、[−] を押してサイズを指定します。

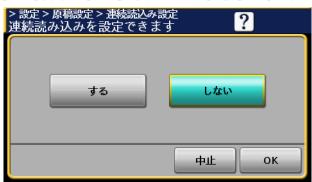
［原稿設定］－［連続読込み設定］

原稿の読込みを分割するかどうかを設定します。

原稿の枚数が多く ADF にセットしきれない場合や、原稿ガラスで複数枚の原稿を読込みたい場合などに、読込みを数回に分割することで、1 つの原稿としてスキャンできます。

1 ADF または原稿ガラスに原稿をセットします。

2 ［E-mail 送信］を押し、E-mail 送信の初期画面を表示します。

3 ［設定］の［原稿設定］で［連続読込み設定］を［する］に設定します。

4 ［スタート］キーを押します。
原稿が読込まれます。

5 原稿ガラスに次の原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

6 すべての原稿を読込むまで、手順 5 を繰り返します。

7 すべての原稿の読込みが終了したら、［終了］を押します。

［原稿設定］－［原稿セット方向］

原稿の方向を設定します。

項目	説明
［上］	原稿の上辺を上向きにセットします。
［下］	原稿の上辺を下向きにセットします。
［左］	原稿の上辺を左向き（原稿ガラス上では右向き）にセットします。
［右］	原稿の上辺を右向き（原稿ガラス上では左向き）にセットします。

[原稿設定] ー [原稿とじしろ]

ADF を使用して両面原稿を読込む場合に、原稿のとじ方向を設定します。両面原稿のとじ方向には、上とじと左とじがあり、原稿の裏面の上下関係が異なります。

項目	説明
[左とじ]	原稿のとじ方向が左とじに設定されます。
[上とじ]	原稿のとじ方向が上とじに設定されます。
[自動]	原稿のとじ方向が自動で設定されます。 原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじ方向が設定されます。 原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじ方向が設定されます。

[カラー]

カラーでスキャンするか白黒でスキャンするかを設定します。

項目		説明
[カラー]	[自動]	原稿の色を自動的に判別し、原稿に合わせてスキャンします。
	[フルカラー]	フルカラーでスキャンします。
[モノクロ]	[グレースケール]	白黒写真などのハーフトーンが多いときに選択します。
	[白黒2値]	線画など、白黒の境がはっきりしているときに選択します。

[白黒2値]は[ファイル形式]の設定によって指定できない場合があります。

[原稿画質]

原稿の内容に応じて原稿画質を設定します。

項目	説明
[文字]	文字だけの原稿を読込む場合に選択します。
[文字 / 写真]	文字と写真が混ざった原稿を読込む場合に選択します。
[写真]	写真だけの原稿を読込む場合に選択します。

読込み条件を設定する

［設定］の［下地 / 濃度］、［解像度］、［ファイル設定］では、原稿の画質など品質を設定します。

［下地 / 濃度］

原稿の状態に応じて原稿画質を設定します。

項目	説明
［下地調整］	下地色の付いた原稿を読込むときの下地色の濃度を設定します。下地色の濃度は 9 段階から設定します。
［濃度］	原稿を読込むときの濃度を設定します。濃度は 9 段階から設定します。原稿の濃さに応じて設定してください。
［シャープネス］	原稿を読込むときの、文字や線などの境界部分の強さを設定します。文字や線などをはっきりと読込む場合は、+ 側に設定します。シャープネスは 7 段階から設定します。

［解像度］

原稿を読込むときの解像度を設定します。

項目	説明
［150 × 150］	150 × 150 dpi で読込みます。
［200 × 200］	200 × 200 dpi で読込みます。

項目	説明
[300 × 300]	300 × 300 dpi で読込みます。
[600 × 600]	600 × 600 dpi で読込みます。

精細に読込むほど、送信する情報量が増え、通信時間が長くなります。

[ファイル形式] が [コンパクト PDF] の場合、[解像度] は [300 × 300] に設定されます。

[ファイル設定] ー [ファイル形式]

読込んだデータを保存するファイル形式を設定します。

項目	説明
[PDF]	PDF 形式で保存します。
[コンパクト PDF]	PDF 形式よりも圧縮したデータで保存します。
[TIFF]	TIFF 形式で保存します。
[JPEG]	JPEG 形式で保存します。
[XPS]	XPS 形式で保存します。

[ファイル形式] は [カラー] や [解像度] の設定によって指定できない場合があります。

[ファイル形式] が [コンパクト PDF] の場合、[解像度] は [300 × 300] に設定されます。

[ファイル設定] ー [読込み設定]

複数ページを読込んだ場合、データをページごとに分割するか、複数ページのデータにするかを設定します。

項目	説明
[一枚毎]	1 ページごとのデータで保存します。
[ページ一括]	複数ページデータとして保存します。

［ファイル設定］－［PDF 暗号化設定］

［PDF］、［コンパクト PDF］の暗号化を設定します。

項目		説明
［暗号化レベル］	［する］	暗号化を有効にします。設定後、［LOW］、［中］、［高］でレベルを設定します。
	［しない］	暗号化を設定しません。
［パスワード］		暗号化されたデータを開くときに必要なパスワードを入力します（入力範囲：32 文字以内）。
［文書の権限］		文書の権限を変更するために必要なパスワードを入力します（入力範囲：32 文字以内）。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td colspan="2">［詳細］</td><td>暗号化を有効にした場合に権限の詳細を設定できます。

この設定項目は、［暗号化レベル］で［する］が選択され、［パスワード］が設定されている場合に表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>［印刷許可レベル］</td><td>データの印刷を許可する［許可］、許可しない［禁止］、低解像度のみ許可する［低解像度のみ許可］を選択します。</td></tr>
<tr><td></td><td>［変更許可レベル］</td><td>データの署名、入力、注釈などの文書変更に関する許可 / 禁止と、許可する場合の許可レベルを設定します。

［レベル 1］: ページの挿入、削除、回転

［レベル 2］: 注釈の作成、フォームフィールドの入力、および既存の署名フィールドに署名

［レベル 3］: ページの抽出を除くすべての操作

［レベル 4］: フォームフィールドの入力と既存の署名フィールドに署名

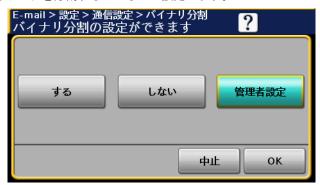
［レベル 5］: ページレイアウト、フォームフィールドの入力、および既存の署名フィールドに署名

［暗号化レベル］が［LOW］の場合のみ、レベル 1、2、3、5 が表示されます。［暗号化レベル］が［中］または［高］の場合はレベル 1、2、3、4 が表示されます。</td></tr>
<tr><td></td><td>［文書と画像抽出］</td><td>文書中の文字や画像のコピーを許可する［許可］、許可しない［禁止］を選択します。</td></tr>
</table>

コミュニケーションを設定する

［設定］の［通信設定］では、E-mail 送信時の項目を設定します。

[バイナリ分割]

送信するデータを分割するかしないか設定します。

項目	説明
[する]	送信するデータを分割します。
[しない]	送信するデータを分割しません。
[管理者設定]	［管理者設定］－［イーサネット］－［バイナリ分割］による設定が優先されます。

[メールの暗号化]

説明	
設定	[する] / [しない]
E-mail の暗号化を設定します。	

[デジタル署名]

説明	
設定	[する] / [しない]
E-mail のデジタル署名をつけるかどうかを設定します。	

[E-mail]

E-mail の件名やアドレスなどを設定します。

項目	説明
[ファイル名]	スキャンデータの文書名を入力します。
[件名]	メールの件名を入力します。
[From]	発信アドレスを設定します。 [管理者アドレス]、[ユーザー宛先] から選択するか、直接入力します。
[本文]	メールの本文を入力します。

宛先を指定する

宛先の指定のしかたには、以下の方法があります。

■ 「登録宛先から指定する」（p.281）
■ 「直接入力して指定する」（p.282）
■ 「履歴から指定する」（p.283）

登録宛先から指定する

本機に登録されている宛先から指定します。

登録宛先から指定するには、あらかじめ本機に短縮宛先やグループ宛先を登録しておく必要があります。詳しくは、「宛先を登録する」（p.308）をごらんください。

［ユーザー設定］－［環境設定］－［E-mail 送信基本画面表示］で、E-mail 送信の初期画面に表示される送信先タブを設定しておくことができます。詳しくは、「[環境設定]」（p.69）をごらんください。

常用（よく使う宛先）から指定する

常用（よく使う宛先）に設定されている宛先から指定します。

工場出荷時の設定では、常用（よく使う宛先）に設定されている宛先の一覧が最初に表示されます。

■ 目的の宛先のキーを押して指定してください。
■ 複数の宛先に送信する（同報送信する）場合は、目的の宛先をすべて指定してください。

常用（よく使う宛先）の設定については、「短縮宛先を登録する」（p.308）をごらんください。

検索文字から指定する

宛先ごとに設定されている検索文字から指定します。

1 E-mail 送信の初期画面で を押します。

2 目的の宛先の検索文字タブを押します。
   - 目的の宛先の検索文字タブが表示されていない場合は、[→] または [←] を押してください。
   - [かな] を押すと、検索文字タブを「かな」表示に切換えることができます。
   - グループ宛先を指定する場合は、[グループ] を押してください。

3 目的の宛先を指定し、[OK] を押します。
   ■ 複数の宛先に送信する（同報送信する）場合は、目的の宛先をすべて指定してください。

種別や名前から検索して指定する

宛先の種別や名前から検索して指定します。

1 E-mail 送信の初期画面で を押します。

2 [検索] を押します。

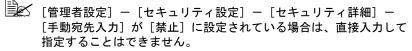
3 検索方法を選択します。
   - [種別]：宛先の種別（ファクス、E-mail など）ごとの表示に切換えます。
   - [名前]：宛先の名前を入力して検索します。名前を入力して [OK] を押すと、検索結果の一覧が表示されます。

4 目的の宛先を指定し、[OK] を押します。
   - 複数の宛先に送信する（同報送信する）場合は、目的の宛先をすべて指定してください。

5 [OK] を押します。

直接入力して指定する

本機に登録されていない宛先を指定する場合は、直接入力して指定します。

[管理者設定] ― [セキュリティ設定] ― [セキュリティ詳細] ― [手動宛先入力] が [禁止] に設定されている場合は、直接入力して指定することはできません。

1 E-mail 送信の初期画面で [直接入力] を押します。

2 ［E-mail］を押します。

3 E-mail アドレスを入力します。

4 ［OK］を押します。

複数の宛先に送信する（同報送信する）場合は、目的の宛先をすべて指定してください。

履歴から指定する

送信履歴（直前に送信した 5 宛先まで）から指定します。

1 E-mail 送信の初期画面で［履歴］を押します。

2 目的の宛先を指定し、［スタート］キーを押します。

直接入力して指定した宛先のみ履歴に残ります。

宛先が 1 件のジョブのみ履歴から指定できます。

本機の電源をオフにすると、履歴は消去されます。

［管理者設定］－［セキュリティ設定］－［セキュリティ詳細］－［通信履歴非表示］が［する］に設定されている場合は、履歴から指定することはできません。

プログラム宛先を指定して送信する

あらかじめ本機に登録されているプログラム宛先を指定して送信できます。

プログラム宛先には、頻繁に送信する宛先とスキャン設定を合わせて登録できるため、その都度細かな設定をせずに送信できます。

プログラム宛先を指定するには、あらかじめ本機に登録しておく必要があります。詳しくは、「プログラム宛先を登録する」（p.311）をごらんください。

1 ［E-mail 送信］を押し、E-mail 送信の初期画面を表示します。

2 原稿をセットします。

– 原稿のセットのしかたについて詳しくは、「原稿をセットする」（p.173）をごらんください。

3 ［プログラム］キーを押します。

4 一覧から目的のプログラム宛先を押し、［OK］を押します。
設定および宛先が呼び出されます。

プログラム宛先は 1 件だけ指定できます。

5 ［スタート］キーを押します。

– ［スタート（カラー）］キーを押すとカラーでスキャンし、［スタート（モノクロ）］キーを押すとモノクロでスキャンします。

ファイル送信機能を使用する

ファイル送信の基本操作

スキャンデータを本機の HDD や USB メモリー、ネットワーク上のフォルダーへ送信するファイル送信の基本的な操作を説明します。

1 ［ファイル送信］を押し、ファイル送信の初期画面を表示します。

2 ADF または原稿ガラスに原稿をセットします。

– 原稿のセットのしかたについて詳しくは、「原稿をセットする」（p.173）をごらんください。

原稿の枚数が多く ADF にセットしきれない場合は、［設定］－［原稿設定］－［連続読込み設定］を［する］に設定することで、原稿を分割して読込むことができます。［連続読込み設定］について詳しくは、「［原稿設定］－［連続読込み設定］」（p.288）をごらんください。

原稿ガラスで複数枚の原稿を読込み、まとめて 1 つのスキャンデータにしたい場合は、［設定］－［原稿設定］－［連続読込み設定］を［する］に設定します。［連続読込み設定］について詳しくは、「［原稿設定］－［連続読込み設定］」（p.288）をごらんください。

3 宛先を指定します。

– 宛先の指定のしかたについて詳しくは、「宛先を指定する」（p.302）をごらんください。

– ファイル送信の初期画面で［設定内容］を押すと、指定した宛先の確認、削除ができます。

4 必要に応じて、［設定］の各項目を設定します。

– ［設定］の［片面 / 両面］、［読込みサイズ］、［原稿設定］、［カラー］、［原稿画質］については、「原稿を設定する」（p.287）をごらんください。

– ［設定］の［下地 / 濃度］、［解像度］、［ファイル設定］については、「読込み条件を設定する」（p.294）をごらんください。

– ［設定］の［ファイル名］については、「文書名を設定する」（p.300）をごらんください。

– ［設定］の［通信設定］については、「コミュニケーションを設定する」（p.300）をごらんください。

5 ［スタート］キーを押します。

– ［スタート（カラー）］キーを押すとカラーでスキャンし、［スタート（モノクロ）］キーを押すとモノクロでスキャンします。

本機は読込む原稿のサイズを自動検知しません。原稿を読込む前に原稿サイズの設定をしてください。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。原稿サイズの設定について詳しくは、「［読込みサイズ］」（p.267）をごらんください。

原稿の読込み中にメモリー残量がなくなった場合は、読込みを継続できません。読込みが終了した原稿のみ送信する場合は、［スタート］キーを押します。送信を中止する場合は、［ストップ］キーを押します。

スキャンしたジョブは［ジョブ］を押し、［履歴］の［保存］タブで確認できます。

原稿を設定する

［設定］の［片面 / 両面］、［読込みサイズ］、［原稿設定］、［カラー］、［原稿画質］では、原稿の状態を設定します。

［片面 / 両面］

ADF を使用する場合、両面原稿を読込むかどうかを設定します。

項目	説明
［片面］	片面原稿を読込む場合に選択します。
［両面］	両面原稿を読込む場合に選択します。
［表紙 + 両面］	表紙と両面原稿を読込む場合に選択します。表紙は表面のみを読込み、2 枚目以降は表裏を読込みます。

[読込みサイズ]

送信する原稿のサイズを設定します。

項目	説明
[定形サイズ]	定形の原稿サイズを指定します。 [定形サイズ] を押し、表示された定型サイズから原稿サイズを選択します。 サイズの異なる原稿が混ざっている場合は、[A4] を選択してください。
[不定形サイズ]	[不定形サイズ] を押すと、原稿サイズを指定する画面が表示されます。[X] 辺または [Y] 辺を選択し、[+]、[−] を押してサイズを指定します。

[原稿設定] − [連続読込み設定]

原稿の読込みを分割するかどうかを設定します。

原稿の枚数が多く ADF にセットしきれない場合や、原稿ガラスで複数枚の原稿を読込みたい場合などに、読込みを数回に分割することで、1 つの原稿としてスキャンできます。

1 ADF または原稿ガラスに原稿をセットします。

2 [ファイル送信] を押し、ファイル送信の初期画面を表示します。

3 ［設定］の［原稿設定］で［連続読込み設定］を［する］に設定します。

4 ［スタート］キーを押します。
原稿が読込まれます。

5 原稿ガラスに次の原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

6 すべての原稿を読込むまで、手順 5 を繰り返します。

7 すべての原稿の読込みが終了したら、［終了］を押します。

[原稿設定] ー [原稿セット方向]

原稿の方向を設定します。

項目	説明
[上]	原稿の上辺を上向きにセットします。
[下]	原稿の上辺を下向きにセットします。
[左]	原稿の上辺を左向き（原稿ガラス上では右向き）にセットします。
[右]	原稿の上辺を右向き（原稿ガラス上では左向き）にセットします。

[原稿設定] − [原稿とじしろ]

ADF を使用して両面原稿を読込む場合に、原稿のとじ方向を設定します。
両面原稿のとじ方向には、上とじと左とじがあり、原稿の裏面の上下関係が異なります。

項目	説明
[左とじ]	原稿のとじ方向が左とじに設定されます。
[上とじ]	原稿のとじ方向が上とじに設定されます。
[自動]	原稿のとじ方向が自動で設定されます。 原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじ方向が設定されます。 原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじ方向が設定されます。

[カラー]

カラーでスキャンするか白黒でスキャンするかを設定します。

項目		説明
[カラー]	[自動]	原稿の色を自動的に判別し、原稿に合わせてスキャンします。
	[フルカラー]	フルカラーでスキャンします。
[モノクロ]	[グレースケール]	白黒写真などのハーフトーンが多いときに選択します。
	[白黒２値]	線画など、白黒の境がはっきりしているときに選択します。

[白黒２値] は [ファイル形式] の設定によって指定できない場合があります。

[原稿画質]

原稿の内容に応じて原稿画質を設定します。

項目	説明
[文字]	文字だけの原稿を読込む場合に選択します。
[文字 / 写真]	文字と写真が混ざった原稿を読込む場合に選択します。
[写真]	写真だけの原稿を読込む場合に選択します。

読込み条件を設定する

［設定］の［下地 / 濃度］、［解像度］、［ファイル設定］では、原稿の画質など品質を設定します。

［下地 / 濃度］

原稿の状態に応じて原稿画質を設定します。

項目	説明
［下地調整］	下地色の付いた原稿を読込むときの下地色の濃度を設定します。下地色の濃度は 9 段階から設定します。
［濃度］	原稿を読込むときの濃度を設定します。濃度は 9 段階から設定します。原稿の濃さに応じて設定してください。
［シャープネス］	原稿を読込むときの、文字や線などの境界部分の強さを設定します。文字や線などをはっきりと読込む場合は、+ 側に設定します。シャープネスは 7 段階から設定します。

[解像度]

原稿を読込むときの解像度を設定します。

項目	説明
[150 × 150]	150 × 150 dpi で読込みます。
[200 × 200]	200 × 200 dpi で読込みます。
[300 × 300]	300 × 300 dpi で読込みます。
[600 × 600]	600 × 600 dpi で読込みます。

精細に読込むほど、送信する情報量が増え、通信時間が長くなります。

[ファイル形式] が [コンパクト PDF] の場合、[解像度] は [300 × 300] に設定されます。

［ファイル設定］－［ファイル形式］

読込んだデータを保存するファイル形式を設定します。

項目	説明
［PDF］	PDF 形式で保存します。
［コンパクト PDF］	PDF 形式よりも圧縮したデータで保存します。
［TIFF］	TIFF 形式で保存します。
［JPEG］	JPEG 形式で保存します。
［XPS］	XPS 形式で保存します。

［ファイル形式］は［カラー］や［解像度］の設定によって指定できない場合があります。

［ファイル形式］が［コンパクト PDF］の場合、［解像度］は［300 × 300］に設定されます。

［ファイル設定］－［読込み設定］

複数ページを読込んだ場合、データをページごとに分割するか、複数ページのデータにするかを設定します。

項目	説明
［一枚毎］	1 ページごとのデータで保存します。
［ページ一括］	複数ページデータとして保存します。

［ファイル設定］－［PDF 暗号化設定］

［PDF］、［コンパクト PDF］の暗号化を設定します。

項目		説明
［暗号化レベル］	［する］	暗号化を有効にします。設定後、［LOW］、［中］、［高］でレベルを設定します。
	［しない］	暗号化を設定しません。
［パスワード］		暗号化されたデータを開くときに必要なパスワードを入力します（入力範囲：32 文字以内）。
［文書の権限］		文書の権限を変更するために必要なパスワードを入力します（入力範囲：32 文字以内）。
［詳細］		暗号化を有効にした場合に権限の詳細を設定できます。 この設定項目は、［暗号化レベル］で［する］が選択され、［パスワード］が設定されている場合に表示します。

項目		説明
	［印刷許可レベル］	データの印刷を許可する［許可］、許可しない［禁止］、低解像度のみ許可する［低解像度のみ許可］を選択します。
	［変更許可レベル］	データの署名、入力、注釈などの文書変更に関する許可 / 禁止と、許可する場合の許可レベルを設定します。 ［レベル 1］：ページの挿入、削除、回転 ［レベル 2］：注釈の作成、フォームフィールドの入力、および既存の署名フィールドに署名 ［レベル 3］：ページの抽出を除くすべての操作 ［レベル 4］：フォームフィールドの入力と既存の署名フィールドに署名 ［レベル 5］：ページレイアウト、フォームフィールドの入力、および既存の署名フィールドに署名 ［暗号化レベル］が［LOW］の場合のみ、レベル 1、2、3、5 が表示されます。［暗号化レベル］が［中］または［高］の場合はレベル 1、2、3、4 が表示されます。
	［文書と画像抽出］	文書中の文字や画像のコピーを許可する［許可］、許可しない［禁止］を選択します。

文書名を設定する

スキャンデータの文書名を設定します。

項目	説明
［ファイル名］	スキャンデータの文書名を入力します。

コミュニケーションを設定する

［設定］の［通信設定］では、ジョブの終了を E-mail で通知する場合に設定します。

［URL 通知］

説明	
設定	［する］/［しない］
ジョブの終了を E-mail で通知するかしないか設定します。	

［URL 通知アドレス］

説明
ジョブの終了を E-mail で通知する場合の送信先 E-mail アドレスを設定します。

宛先を指定する

宛先の指定のしかたには、以下の方法があります。

■ 「登録宛先から指定する」（p.302）

■ 「直接入力して指定する」（p.304）

■ 「履歴から指定する」（p.307）

登録宛先から指定する

本機に登録されている宛先から指定します。

登録宛先から指定するには、あらかじめ本機に短縮宛先やグループ宛先を登録しておく必要があります。詳しくは、「宛先を登録する」（p.308）をごらんください。

［ユーザー設定］－［環境設定］－［ファイル送信基本画面表示］で、ファイル送信の初期画面に表示される送信先タブを設定しておくことができます。詳しくは、「［環境設定］」（p.69）をごらんください。

常用（よく使う宛先）から指定する

常用（よく使う宛先）に設定されている宛先から指定します。

工場出荷時の設定では、常用（よく使う宛先）に設定されている宛先の一覧が最初に表示されます。

■ 目的の宛先のキーを押して指定してください。

■ 複数の宛先に送信する（同報送信する）場合は、目的の宛先をすべて指定してください。

常用（よく使う宛先）の設定については、「短縮宛先を登録する」（p.308）をごらんください。

検索文字から指定する

宛先ごとに設定されている検索文字から指定します。

1 E-mail 送信の初期画面で を押します。

2 目的の宛先の検索文字タブを押します。
   - 目的の宛先の検索文字タブが表示されていない場合は、[→] または [←] を押してください。
   - [かな] を押すと、検索文字タブを「かな」表示に切換えることができます。
   - グループ宛先を指定する場合は、[グループ] を押してください。

3 目的の宛先を指定し、[OK] を押します。
   - 複数の宛先に送信する（同報送信する）場合は、目的の宛先をすべて指定してください。

種別や名前から検索して指定する

宛先の種別や名前から検索して指定します。

1 E-mail 送信の初期画面で を押します。

2 [検索] を押します。

3 検索方法を選択します。
   - [種別]：宛先の種別（FTP、SMB、WebDAV など）ごとの表示に切換えます。
   - [名前]：宛先の名前を入力して検索します。名前を入力して [OK] を押すと、検索結果の一覧が表示されます。

4 目的の宛先を指定し、[OK] を押します。
   - 複数の宛先に送信する（同報送信する）場合は、目的の宛先をすべて指定してください。

5 [OK] を押します。

直接入力して指定する

本機に登録されていない宛先を指定する場合は、直接入力して指定します。

［管理者設定］－［セキュリティ設定］－［セキュリティ詳細］－［手動宛先入力］が［禁止］に設定されている場合は、直接入力して指定することはできません。

FTP の場合

1 ファイル送信の初期画面で［直接入力］を押します。

2 ［FTP］を押します。

3 送信先 PC の［ホスト名］、［ファイルパス］、［ユーザー名］、［パスワード］を入力します。

4 必要に応じて、［詳細］で以下の項目を設定します。
   - ［Pasv］: PASV モードのする / しないを選択します。
   - ［プロキシ］: プロキシサーバーを使用するかどうかを選択します。
   - ［ポート番号］: ポート番号を入力します（入力範囲 : 1 ～ 65535）。

5 ［OK］を押します。

複数の宛先に送信する（同報送信する）場合は、各項目を入力したあとに、［次宛先］を押し、目的の宛先をすべて指定してください。

PC（SMB）の場合

1 ファイル送信の初期画面で［直接入力］を押します。
2 ［PC（SMB）］を押します。
3 送信先 PC の［ホスト名］、［ファイルパス］、［ユーザー名］、［パスワード］を入力します。
4 必要に応じて、［参照］で共有フォルダーを参照して指定します。
5 ［OK］を押します。

複数の宛先に送信する（同報送信する）場合は、各項目を入力したあとに、［次宛先］を押し、目的の宛先をすべて指定してください。

WebDAV の場合

1 ファイル送信の初期画面で［直接入力］を押します。
2 ［WebDAV］を押します。
3 送信先 PC の［ホスト名］、［ファイルパス］、［ユーザー名］、［パスワード］を入力します。
4 必要に応じて、［詳細］で以下の項目を設定します。
   - ［ポート番号］：ポート番号を入力します（入力範囲：1 ～ 65535）。
   - ［プロキシ］：プロキシサーバーを使用するかどうかを選択します。
   - ［SSL 設定］：SSL を使用するかどうかを選択します。
5 ［OK］を押します。

複数の宛先に送信する（同報送信する）場合は、各項目を入力したあとに、［次宛先］を押し、目的の宛先をすべて指定してください。

USB メモリーの場合

1 USB メモリーを本機の USB ホストポートに差し込みます。
2 ファイル送信の初期画面で［直接入力］を押します。
3 ［USB メモリー］を押します。

USB メモリーが差し込まれていないときは表示されません。

4 ［文書名］を入力します。
5 ［OK］を押します。

［管理者設定］－［セキュリティ設定］－［セキュリティ詳細］－［外部メモリ保存禁止］が［禁止］に設定されている場合は、［USB メモリー］を指定できません。［外部メモリ保存禁止］について詳しくは、「［セキュリティ設定］」（p.129）をごらんください。

USB メモリーで宛先に指定できるのは 1 件だけです。

HDD の場合

1 ファイル送信の初期画面で［直接入力］を押します。

2 ［HDD］を押します。

3 ［文書保存］を押します。

4 ユーザー認証をしている場合は［共有］または［個人］を選択します。

5 ［文書名］を入力します。

6 ［OK］を押します。

HDD で宛先に指定できるのは 1 件だけです。

HDD に保存したスキャンデータは PageScope Web Connection からコピーすることで PC に保存できます。詳しくは、「リファレンスガイド」をごらんください。

Web サービス設定の場合

Web サービスの場合は、あらかじめ登録したネットワーク上のコンピューターにスキャンしたデータを送信します。

本機を Web サービススキャナーとして登録しているネットワーク上のコンピューターが送信先として表示されます。宛先を選択してください。

1 ファイル送信の初期画面で［直接入力］を押します。

2 ［Web サービス設定］を押します。

3 宛先を選択します。

– 目的の宛先が表示されない場合は、［検索］で送信先を入力して検索します。

Web サービスで宛先に指定できるのは 1 件だけです。

Windows Server 2008 R2/7/Vista/Server 2008 で Web サービススキャンをする場合、解像度と原稿サイズは設定できないことがあります。

履歴から指定する

送信履歴（直前に送信した 5 宛先まで）から指定します。

1 ファイル送信の初期画面で［履歴］を押します。

2 目的の宛先を指定し、［スタート］キーを押します。

直接入力して指定した宛先のみ履歴に残ります。

宛先が 1 件のジョブのみ履歴から指定できます。

プログラム宛先を指定して送信する

あらかじめ本機に登録されているプログラム宛先を指定して送信できます。

プログラム宛先には、頻繁に送信する宛先とスキャン設定を合わせて登録できるため、その都度細かな設定をせずに送信できます。

プログラム宛先を指定するには、あらかじめ本機に登録しておく必要があります。詳しくは、「プログラム宛先を登録する」（p.311）をごらんください。

1 ［ファイル送信］を押し、ファイル送信の初期画面を表示します。

2 原稿をセットします。
 – 原稿のセットのしかたについて詳しくは、「原稿をセットする」（p.173）をごらんください。

3 ［プログラム］キーを押します。

4 一覧から目的のプログラム宛先を押し、［OK］を押します。
設定および宛先が呼び出されます。

プログラム宛先は 1 件だけ指定できます。

5 ［スタート］キーを押します。
 – ［スタート（カラー）］キーを押すとカラーでスキャンし、［スタート（モノクロ）］キーを押すとモノクロでスキャンします。

宛先を登録する

宛先の種類について

頻繁に送信する相手先の情報は本機にあらかじめ登録しておくことで、送信時に入力する手間を省くことができます。宛先には以下の種類があります。

短縮宛先

頻繁に送信する相手先の情報（E-mail アドレスや PC フォルダーなど）を登録できます。短縮宛先は 2000 件まで登録できます。

E-mail の短縮宛先は、本機の操作パネルから登録する方法と PageScope Web Connection から登録する方法があります。登録のしかたについて詳しくは、「短縮宛先を登録する」（p.308）をごらんください。

グループ宛先

複数の短縮宛先を 1 つのグループにまとめて登録できます。グループ宛先は 100 件（1 グループに短縮宛先を最大 500 件）まで登録できます。

複数の相手先に同じファクスを同報送信する場合などに便利です。

グループ宛先の登録は PageScope Web Connection から行います。詳しくは、「リファレンスガイド」をごらんください。

プログラム宛先

宛先情報（短縮宛先、グループ宛先）とファクスの送受信に関する設定を組み合わせて登録できます。プログラム宛先は 400 件まで登録できます。

操作パネルの［プログラム］キーを押すだけで、宛先と設定を呼び出して送信できます。

プログラム宛先の登録のしかたについては、「プログラム宛先を登録する」（p.311）をごらんください。

短縮宛先を登録する

E-mail 送信とファイル送信の短縮宛先の登録方法を説明します。

短縮宛先の登録方法には、操作パネルから登録する方法と PageScope Web Connection から登録する方法があります。ここでは、操作パネルから登録する方法を説明します。

FTP、WebDAV の短縮宛先は PageScope Web Connection でのみ登録できます。PageScope Web Connection から登録する方法については、「リファレンスガイド」をごらんください。

短縮宛先を指定してスキャンデータを送信する方法について詳しくは、「登録宛先から指定する」（p.281）をごらんください。

［管理者設定］－［セキュリティ設定］－［セキュリティ詳細］－［登録宛先変更］が［禁止］に設定されている場合は、操作パネルから登録することはできません。また、PageScope Web Connection のユーザーモードから登録することはできません。

短縮宛先を登録する（E-mail）

1 操作パネルの［設定メニュー / カウンター］キーを押します。

2 ［宛先登録］を押します。

3 ［E-mail］を押します。

4 ［新規登録］を押します。
– 登録済みの短縮宛先を選択して［詳細］を押すと、登録内容を確認できます。詳細画面で［削除］を押すと、選択している短縮宛先を削除できます。

5 相手先の情報を入力し、［OK］を押します。

項目	説明
［名前］	短縮宛先の登録名を入力します（半角 72 文字以内）。
［E-mail］	送信のメールアドレスを入力します（320 文字以内）。
［常用］	頻繁に使用する宛先の場合は、［する］に設定します。［常用］に表示されるため、検索性が向上します。
［検索文字］	宛先を検索するときに使用する［検索文字］を選択します。

6 ［OK］を押します。

短縮宛先を登録する（SMB 送信）

1 操作パネルの［設定メニュー / カウンター］キーを押します。

2 ［宛先登録］を押します。

3 ［SMB］を押します。

4 ［新規登録］を押します。
- 登録済みの短縮宛先を選択して［詳細］を押すと、登録内容を確認できます。詳細画面で［削除］を押すと、選択している短縮宛先を削除できます。

5 相手先の情報を入力し、［OK］を押します。

項目	説明
［名前］	短縮宛先の登録名を入力します（半角 72 文字以内）。
［接続先］	接続先コンピューターの［ホスト名］、［ファイルパス］、［ユーザー ID］、［パスワード］を設定します。 必要に応じて、［参照］で共有フォルダーを参照して指定します。
［常用］	頻繁に使用する宛先の場合は、［する］に設定します。［常用］に表示されるため、検索性が向上します。
［検索文字］	宛先を検索するときに使用する［検索文字］を選択します。

6 ［OK］を押します。

プログラム宛先を登録する

プログラム宛先の登録方法を説明します。

プログラム宛先の登録方法には、操作パネルから登録する方法とPageScope Web Connection から登録する方法があります。ここでは、操作パネルから登録する方法を説明します。

PageScope Web Connection から登録する方法については、「リファレンスガイド」をごらんください。

1 ホーム画面で［E-mail 送信］または［ファイル送信］を押します。

2 ［設定］を押し、各項目を設定します。
   – ［設定］については、「E-mail 送信機能を使用する」（p.264）、「ファイル送信機能を使用する」（p.285）をごらんください。

3 操作パネルの［プログラム］キーを押します。

4 ［登録］を押します。

5 ［名前］を押し、プログラム宛先の名前を入力します。

6 ［宛先］を登録宛先から指定します。
   – 📖 を押します。短縮宛先またはグループ宛先を指定して、［OK］を押します。

7 ［OK］を押します。

消耗品の交換 11

消耗品の交換のしかた

ご注意

本ユーザーズガイドに記載されている手順にしたがわなかったことによる故障については、保証の対象にはなりません。

「トナーがなくなりました。」「転写ベルトユニットの交換時期です」などのエラーメッセージが表示された場合は、設定リストページを印刷し、消耗品の状態を確認してください。エラーメッセージについて詳しくは、「エラーメッセージ（警告）」（p.407）をごらんください。また、設定リストページの印刷について詳しくは、「設定情報リストページを印刷する」（p.366）をごらんください。

リサイクルトナーカートリッジについて

ご注意

コニカミノルタ純正品以外のリサイクルトナーカートリッジは使用しないでください。リサイクルトナーカートリッジを使用したことによる故障や印刷品質の問題については、保証の対象にはなりません。また、技術的なサポートの対象にもなりません。

使用済みカートリッジ回収のご案内

回収方法

使用済みのカートリッジを袋に入れ、購入された際の箱に入れてお送りください。カートリッジに付着しているトナーにご注意の上、袋および箱の口はテープでしっかりふさいでください。

回収したトナーカートリッジおよびイメージングユニットは再資源化しています。

トナーカートリッジについて

本機ではブラック（黒）、イエロー（黄色）、マゼンタ（赤）、シアン（青）の 4 つのトナーカートリッジを使います。トナーカートリッジを取り扱う際は、トナーが本機や手などにこぼれないように注意してください。

トナーカートリッジを交換する場合、必ず未使用品と交換してください。使用済みのトナーと交換すると、メッセージウィンドウの表示がクリアされません。

トナーカートリッジは、無理に開けたりしないでください。トナーが漏れ出した場合、トナーの吸引および皮膚接触を極力避けてください。

トナーが服や手に付いた場合、石鹸を使って水でよく洗い流してください。

トナーを吸入した場合、新鮮な空気の場所に移動し、大量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状がでるようであれば医師の診察を受けてください。

トナーが目に入った場合、直ちに流水で 15 分以上洗い流し、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。

トナーを飲み込んだ場合、口の中をよくすすぎ、コップ 1、2 杯の水を飲んでください。必要に応じて医師の診察を受けてください。

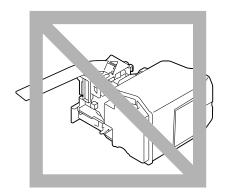
トナーカートリッジは幼児や子供の手の届かないところに保管してください。

トナーカートリッジの交換の際は下表をごらんください。下表にあるコニカミノルタ純正のトナーカートリッジをご使用ください。本機の製品番号とトナーカートリッジ製品番号は前ドアの内側のラベルでご確認ください。

製品番号	トナーカートリッジタイプ	トナーカートリッジ製品番号
A121 041	大容量トナーカートリッジ - ブラック（K）	A0X5 172
	大容量トナーカートリッジ - イエロー（Y）	A0X5 272
	大容量トナーカートリッジ - マゼンタ（M）	A0X5 372
	大容量トナーカートリッジ - シアン（C）	A0X5 472

交換にあたっては、上記製品番号のトナーカートリッジを使用してください。上記製品番号以外のトナーカートリッジを使用した場合は印刷速度が低下します。

トナーカートリッジは以下のように保管してください。

- トナーカートリッジを装着するまでは、保護袋を開けないでください。
- 日光を避け、冷暗所に保管してください。
- 気温 35°C 以下、湿度 85% 以下の場所で結露が起こらないように保管してください。トナーカートリッジを寒い場所から温かい湿度の高い場所へ移動すると、結露が起こり、印刷品質が低下する可能性があります。使用する前には約 1 時間トナーカートリッジをその環境に置いて適応させてください。
- 水平な状態で保管してください。
  トナーカートリッジを逆向きに置かないでください。トナーカートリッジ内のトナーが固まったり、均等にならない可能性があります。

- 塩分を含んだ空気や、エアゾールなどの腐食性のガスに触れないようにしてください。

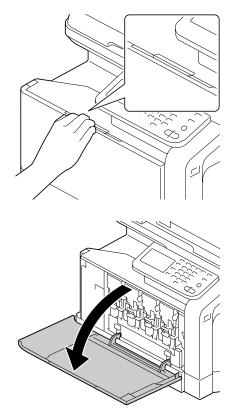
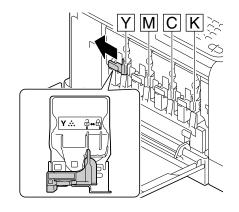
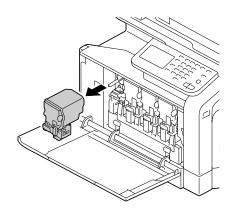
トナーカートリッジの交換手順

ご注意

トナーカートリッジを交換するときは、トナーがこぼれないように注意してください。もしトナーがこぼれた場合は、すみやかにやわらかい乾いた布で拭き取ってください。

トナーがなくなると、「トナーがなくなりました。」「トナーの交換時期です(X)」(X はトナーの色を表します) のメッセージが表示されます。以下の手順に従ってトナーカートリッジを交換してください。ここではイエロートナーカートリッジを例に説明します。

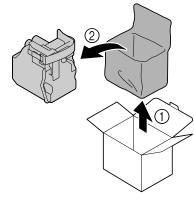
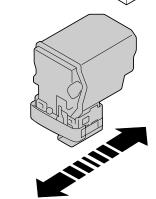
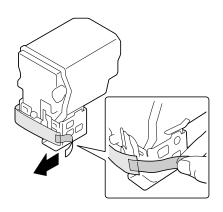
1 操作パネルのメッセージウィンドウで、なくなったトナーの色を確認します。

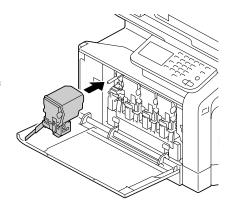
2 前ドアを開きます。

3 正面のレバーを左へ引きます。
Y: イエロー
M: マゼンダ
C: シアン
K: ブラック

4 交換するトナーカートリッジの取っ手をつかみ、引き抜きます。

ご注意

使用済みトナーカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

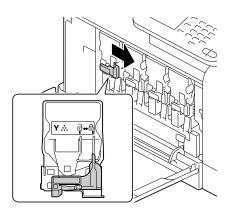
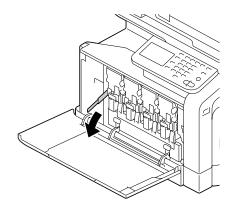
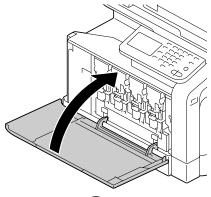
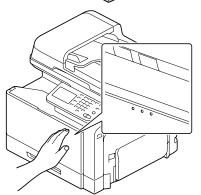
5 新たにセットするトナーカートリッジの色を確認します。

 トナーがこぼれるのを防ぐため、手順 4 を実行するまでトナーカートリッジを袋から出さないでください。

6 トナーカートリッジを袋から取り出します。

7 新しいトナーカートリッジを両手で持ち、数回振ります。

8 トナーカートリッジ右側の保護フィルムのシール部をはがします。

9 トナーカートリッジの色と本体挿入口の色が合っていることを確認して、トナーカートリッジを押し込みます。

トナーカートリッジを奥まで押し込んでください。

10 レバーを右に引きロックします。

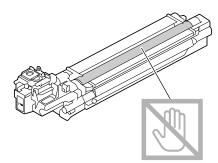
正面のレバーを確実に元の位置に戻してください。元の位置に戻っていない場合、前ドアは閉じません。

レバーが操作しにくい場合は、レバー部を奥に押し込んでください。

11 トナーカートリッジが確実にセットされていることを確認して、保護フィルムを引き抜きます。

12 前ドアを閉じます。

前ドアを閉じるときは、突起部分を押してください。

イメージングユニットの交換手順

イメージングユニットの交換の際は下表をごらんください。下表にあるコニカミノルタ純正のイメージングユニットをご使用ください。本機の製品番号とイメージングユニット製品番号は前ドアの内側のラベルでご確認ください。

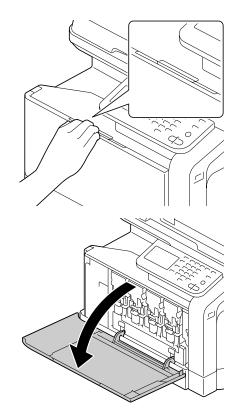
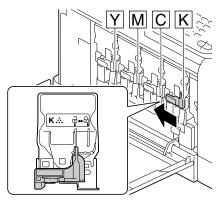
製品番号	イメージングユニットタイプ	イメージングユニット製品番号
A121 041	イメージング　ユニット - ブラック（K）	A0WG 03E
	イメージング　ユニット - イエロー（Y）	A0WG 08E
	イメージング　ユニット - マゼンタ（M）	A0WG 0EE
	イメージング　ユニット - シアン（C）	A0WG 0KE

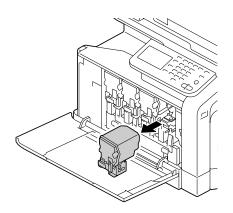
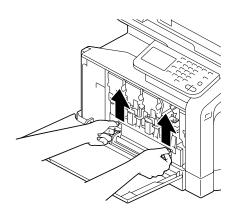
ご注意

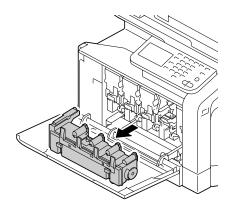
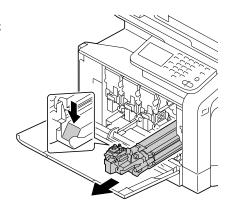
OPC ドラムの表面に手を触れないでください。印刷品質低下の原因になります。

イメージングユニットが寿命を超えると「イメージングユニットの交換時期が近づいています」「イメージングユニット交換」のメッセージが表示されます。以下の手順に従ってイメージングユニットを交換してください。ここではブラックイメージングユニットを例に説明します。

「イメージングユニットの交換時期が近づいています」「イメージングユニット交換」というメッセージが表示されたら指定されたイメージングユニットを交換してください。

1 操作パネルのメッセージウィンドウで、交換するイメージングユニットの色を確認します。

2 前ドアを開きます。

3 正面のレバーを左へ引きます。
Y: イエロー
M: マゼンダ
C: シアン
K: ブラック

4 トナーカートリッジの取っ手をつかみ、引き抜きます。

トナーカートリッジを傾けると、トナーがこぼれる恐れがありますので注意してください。

5 廃トナーボトルを押し上げ、ロックを解除します。

6 廃トナーボトルの左右の取っ手をつまみ、廃トナーボトルをゆっくりと引き抜きます。

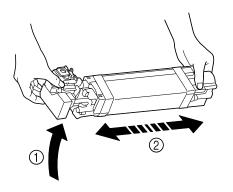
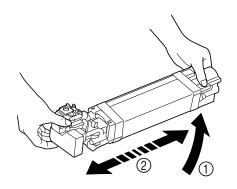
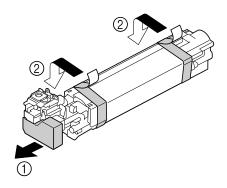
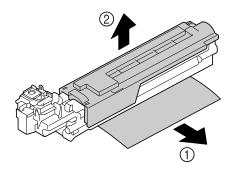
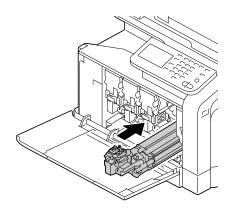
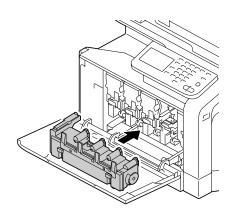
廃トナーボトルを傾けると、トナーがこぼれる恐れがありますので注意してください。

7 交換するイメージングユニットのロックレバー(「PUSH」と表示されている)を押しながら、イメージングユニットを引き抜きます。

ご注意

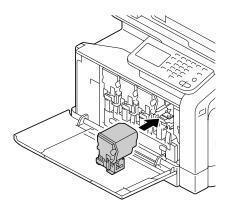
使用済みイメージングユニットは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

8 新たにセットするイメージングユニットの色を確認します。

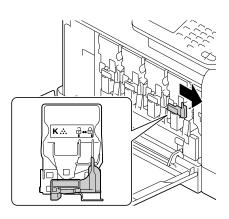
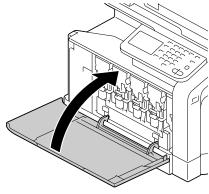
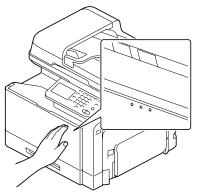
9 イメージングユニットを袋から取り出します。

10 新しいイメージングユニットを両手で持ち、図のように数回振ります。

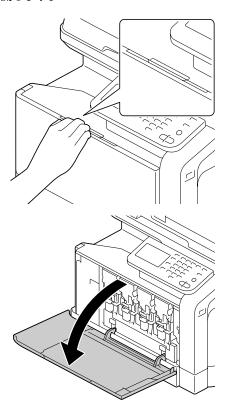
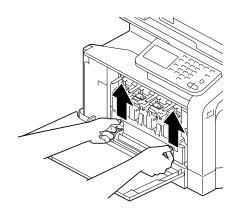
イメージングユニットの下部に手を触れないでください。損傷による印刷品質低下の原因になります。

11 イメージングユニットの保護カバーを取り外します。
イメージングユニットの保護テープをすべて取り外します。

12 イメージングユニットの紙を取り外します。
イメージングユニットの保護カバーを取り外します。

13 新しくセットするイメージングユニットの色と本体挿入口の色が合っていることを確認して、イメージングユニットを押し込みます。

14 廃トナーボトルをロックされるまで押し込みます。

15 トナーカートリッジの色と本体挿入口の色が合っていることを確認して、トナーカートリッジを押し込みます。

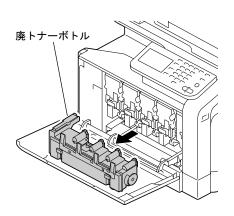
トナーカートリッジを奥まで押し込んでください。

16 レバーを右に引きロックします。

正面のレバーを確実に元の位置に戻してください。元の位置に戻っていない場合、前ドアは閉じません。

レバーが操作しにくい場合は、レバー部を奥に押し込んでください。

17 前ドアを閉じます。

前ドアを閉じるときは、突起部分を押してください。

廃トナーボトル WB-P03 の交換手順

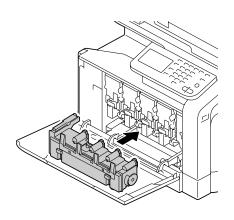
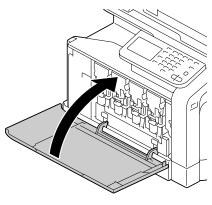
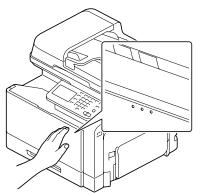
廃トナーボトルがいっぱいになると「廃トナーボックスフル　廃トナーボックスの交換時期です」のメッセージが表示されます。本機は印刷を中断し、廃トナーボトルを交換後に印刷を再開します。

1 前ドアを開きます。

2 廃トナーボトルを押し上げ、ロックを解除します。

3 廃トナーボトルの左右の取っ手をつまみ、廃トナーボトルをゆっくりと引き抜きます。

廃トナーボトルを傾けると、廃トナーがこぼれる恐れがありますので注意してください。

4 梱包箱から新しい廃トナーボトルを取り出します。使用済みの廃トナーボトルは梱包箱に同梱されているポリ袋に入れて、梱包箱へしまっておきます。

ご注意

使用済み廃トナーボトルは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

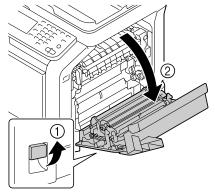
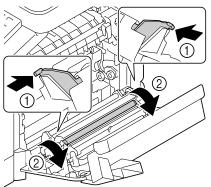
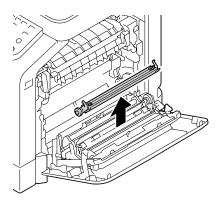
5 廃トナーボトルをロックされるまで押し込みます。

6 前ドアを閉じます。

前ドアを閉じるときは、突起部分を押してください。

廃トナーボトルが最後まで押し込まれていない場合、前ドアは閉じません。

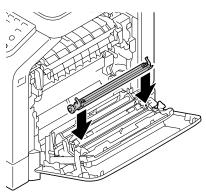
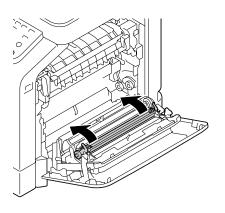
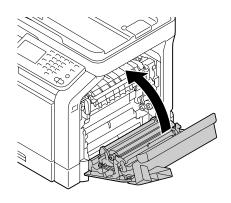
転写ローラーの交換

転写ローラーの交換時期になると、「転写ローラーユニットの交換時期です」のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されてからも印刷できますが、印字品質が低下しますので、すみやかに転写ローラーを交換してください。

以下の手順に従って転写ローラーを交換してください。

1 レバーを引き（①）、右ドアを開きます（②）。

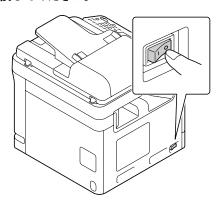
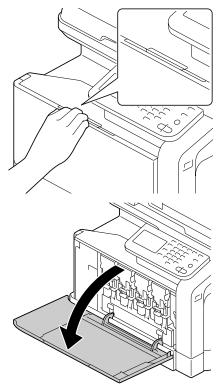
右ドアを開く時は、必ずトレイ 1 をたたんでから開いてください。

2 つまみ（2 箇所）を両側から内側へ押しながら（①）、ローラー押さえを手前に倒します（②）。

3 つまみを押さえながら転写ローラーを取り外します。

4 新しい転写ローラーを梱包箱から取り出します。

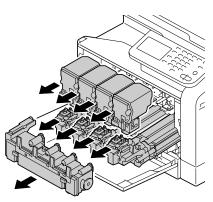
5 つまみを押さえながら転写ローラーの軸を本機内部の軸受けに差し込みます。

6 カチッと音がするまでローラーを押さえ内側へ倒します。

7 右ドアを閉じます。

8 ［管理者設定］－［メンテナンスメニュー］－［サプライ品］－［交換］－［転写ローラーユニット］でカウンターをリセットします。

転写ベルトの交換

転写ベルトの交換時期になると、「転写ベルトユニットの交換時期です」のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されてからも印刷できますが、印字品質が低下しますので、すみやかに転写ベルトを交換してください。

以下の手順に従って転写ベルトを交換してください。

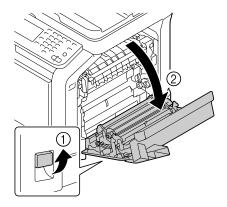
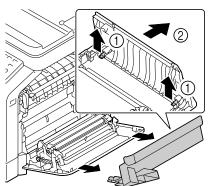
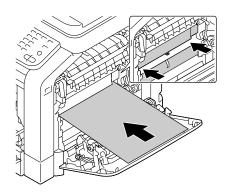
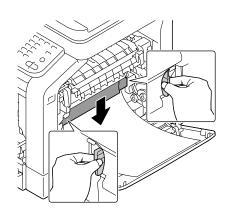
1 本機の電源を切り、電源ケーブル、インターフェースケーブルを外します。

2 前ドアを開きます。

3 全てのトナーカートリッジと廃トナーボトル、全てのイメージングユニットを取り外します。

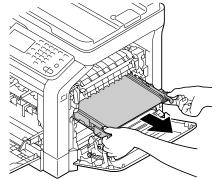
トナーカートリッジ、イメージングユニット、廃トナーボトルの取り外しについて、詳しくは「トナーカートリッジの交換手順」（p.317）、「イメージングユニットの交換手順」（p.321）、「廃トナーボトル WB-P03 の交換手順」（p.330）をごらんください。

取り出したイメージングユニットは、光が当たらないように布などで覆ってください。

トナーカートリッジを傾けると、トナーがこぼれる恐れがありますので注意してください。

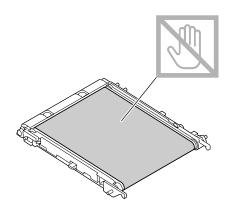
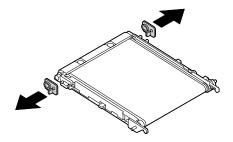
廃トナーボトルを傾けると、トナーがこぼれる恐れがありますので注意してください。

4 レバーを引き（①）、右ドアを開きます（②）。

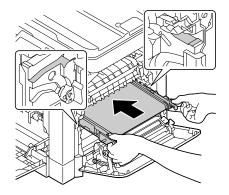
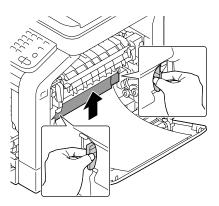
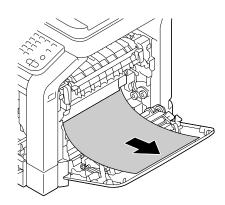
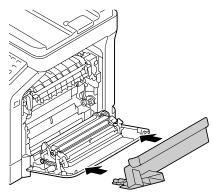
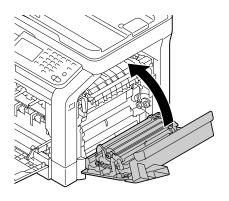
右ドアを開く時は、必ずトレイ 1 をたたんでから開いてください。

5 右ドア上側の部品を取り外します。

6 転写ベルトユニットの下に保護シートを差し込みます。
保護シートは止まるまで差し込んでください。

7 転写ベルトのガイドを下げます。

8 左右のハンドルを持ち、転写ベルトユニットを慎重に引き抜きます。

転写ベルトは水平に抜いてください。
表面に傷がつくことがあります。

9 新しい転写ベルトユニットを梱包箱から取り出します。

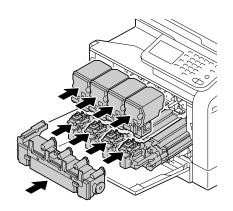
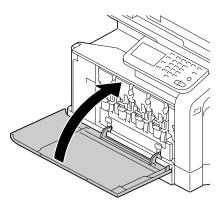
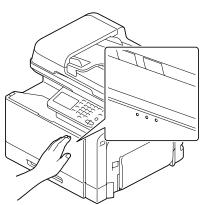
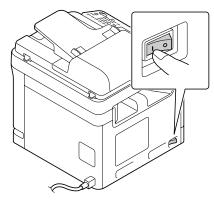
転写ベルトの表面には触らないでください。

青色のレバーは取り外さないでください。

10 新しい転写ベルトユニットの保護材を取り外します。

11 新しい転写ローラーを左右のガイドに沿って慎重に差し込みます。

奥に突き当たるまで差し込んでください。

転写ベルトは水平に差し込んでください。
表面に傷がつくことがあります。

12 転写ベルトのガイドを上げます。

13 保護シートを引き抜きます。

14 右ドア上側の部品を取り付けます。

15 右ドアを閉じます。

16 取り外したトナーカートリッジと廃トナーボトル、イメージングユニットを取り付けます。

トナーカートリッジ、イメージングユニット、廃トナーボトルの取り付けについて、詳しくは「トナーカートリッジの交換手順」（p.317）、「イメージングユニットの交換手順」（p.321）、「廃トナーボトル WB-P03 の交換手順」（p.330）をごらんください。

17 前ドアを閉じます。

前ドアを閉じるときは、突起部分を押してください。

18 電源ケーブルを接続し、本機の電源を入れます。

19 ［管理者設定］－［メンテナンスメニュー］－［サプライ品］－［交換］－［転写ベルトユニット］でカウンターをリセットします。

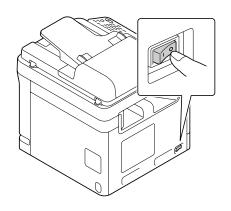
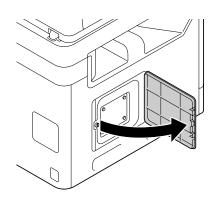
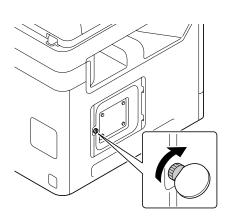
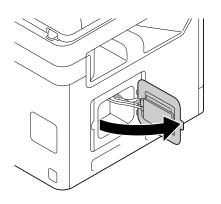
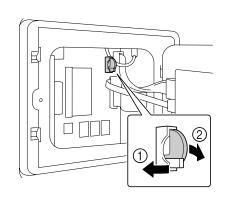
バックアップ電池の交換

バックアップ電池がなくなると本機の日付や時刻が記録されなくなります。以下の手順に従ってバックアップ電池を交換してください。

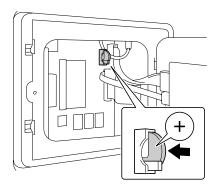
ご注意

バックアップ電池は 3V リチウムボタン電池の CR2032 をお使いください。コントローラーボードや関連の基板は静電気にきわめて敏感です。コントローラーボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意をしてください。この作業を行う前に、「静電気防止の対策」（p.350）の注意を確認してください。また、基板を扱うときは、基板のエッジの緑色の部分を持つようにしてください。

---

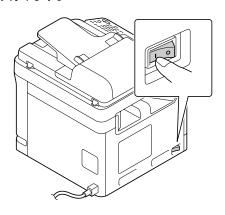
1 本機の電源を切り、電源ケーブル、インターフェースケーブルを外します。

2 外側のカバーを取り外します。

3 コインなどで内側のカバーのネジを外します。

4 内側のカバーを開けます。

5 フックを外し、バックアップ電池を取り出します。

6 フックを外し、新しい電池を取り付けます。

電池は（＋）の向きに注意して取り付けてください。

対応していない電池は危険ですので取り付けないでください。
また、使用済みの電池は、地域の条例にしたがって廃棄してください。

7 内側のカバーを閉め、ネジで固定します。

8 外側のカバーを取り付けます。

9 インターフェースケーブルを取り付けます。

10 電源ケーブルを接続し、本機の電源を入れます。

11 ［管理者設定］－［環境設定］－［日付 / 時刻設定］で［日付］と［時刻］を設定します。

定着ユニットの交換

定着ユニットの交換時期になると、「定着ユニットの交換時期です」のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されてからも印刷できますが、印字品質が低下しますので、すみやかに定着ユニットを交換してください。

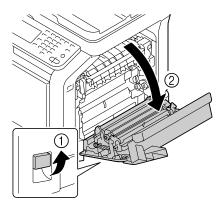
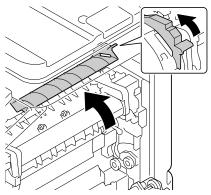
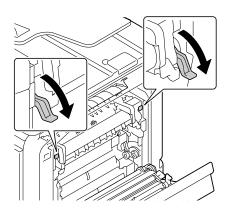
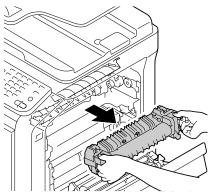
以下の手順に従って定着ユニットを交換してください。

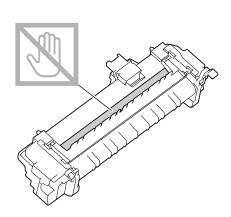
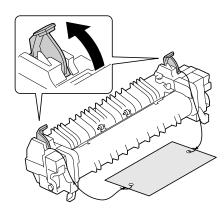
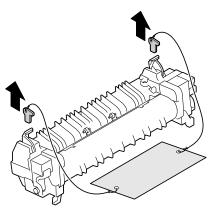
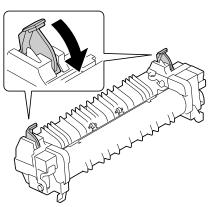
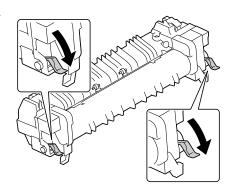
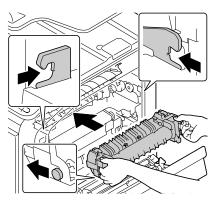
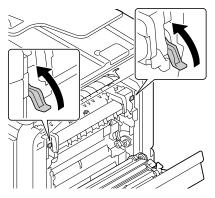
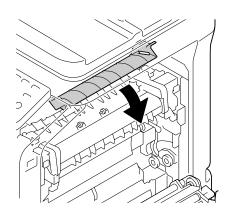
1 本機の電源を切ります。

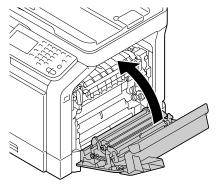
ご注意

定着部は非常に高温になっています。やけどの原因となりますので、電源を切ってから 20 分以上放置し、定着部が室温になってから交換してください。

2 レバーを引き（①）、右ドアを開きます（②）。

右ドアを開く時は、必ずトレイ 1 をたたんでから開いてください。

3 定着カバーを開きます。

4 左右のレバーを下げます。

5 定着ユニットを取り外します。

6 新しい定着ユニットを梱包箱から取り出します。

定着ローラーの表面には触らないでください。

7 左右のレバーを上げます。

8 保護材を取り外します。

9 左右のレバーを下げます。

10 新しい定着ユニットの下部のレバーを下げます。

11 新しい定着ユニットを固定されるまで奥に入れます。

12 定着ユニットの下部のレバーを上げます。

13 定着カバーを閉じます。

14 右ドアを閉じます。

右ドアが閉じないときは、定着ユニットが正しくセットされているかを確認してください。

15 ［管理者設定］－［メンテナンスメニュー］－［サプライ品］－［交換］－［定着ユニット］でカウンターをリセットします。

静電気防止の対策

ご注意

コントローラーボードや関連の基板は静電気にきわめて敏感です。コントローラーボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意をしてください。
最初に電源スイッチを切っておいてください。
静電気防止のリストストラップがある場合は、片方の端を手首に付け、もう片方の端を本機背面の金属部分に付けます。決してリストストラップが機器に触れないようにしてください。プラスチック、ゴム、木、塗装された金属面は、接地面になりません。
静電気防止のリストストラップがない場合は、コントローラーボードや部品を取り扱う前に、接地面に触れて、身体に帯電している静電気を放電してください。また、放電後は歩き回らないでください。再度帯電する可能性があります。

メンテナンス 12

本機のメンテナンス

注意

すべての注意／警告ラベルを注意深く読み、必ずその指示にしたがってください。これらのラベルは本機のドア内部や本機の内部にあります。

本機を長く使用できるように丁寧に取り扱ってください。誤使用や乱暴な取り扱いによる故障については保証の対象になりません。ほこりや用紙の断片が本機内部・外部に残っていると、印刷品質低下の原因となります。定期的に本機の清掃をされることをおすすめします。以下のガイドラインにしたがってください。

警告

清掃前には、本機の電源を切り、電源ケーブル、インターフェースケーブルを外してください。
本機内部に水や洗剤がこぼれないよう注意してください。本機の損傷や感電のおそれがあります。

注意

定着部は高温になります。定着部の温度はゆっくり下がります（1 時間お待ちください）。

- 本機内部の清掃や、紙づまりを取り除く場合は、定着部など内部の部品は非常に高温になるため、定着部の周辺に触れないよう注意してください。
- 本機の上に物を置かないでください。
- 本機の清掃には柔らかい布を使用してください。
- 本機の表面に洗剤液を直接スプレーしないでください。本機のすき間から洗剤液が入り込むと、内部の回路が損傷するおそれがあります。
- 本機の清掃に、溶剤（アルコール、ベンゼン、シンナーなど）を含む研磨剤や腐食剤を使用しないでください。
- 中性洗剤などの洗剤液を使用する場合は、本機の目立たない部分で試しに使用し、洗剤の効果などを確認してください。
- 本機の清掃にはとがっているものや表面がざらざらしているもの（針金、プラスチックの掃除パッド、ブラシなど）は使用しないでください。
- 本機のドアはゆっくり閉めてください。本機に振動を与えないようにしてください。
- 本機を使用後すぐにカバーなどをかけないでください。電源を切り、本機の温度が下がるまで待ってください。

■ 本機のドアを長時間開けたままにしないでください。特に明るい場所では、光によってイメージングユニットが損傷を受ける場合があります。

■ 印刷中は本機のいずれのドアも開けないでください。

■ 用紙を本機の上部にあててそろえないでください。

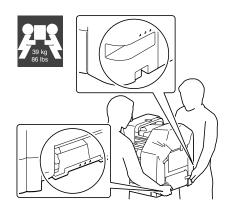
■ 本機に油をさしたり、分解しないでください。

■ 本機を傾けないでください。

■ 電気配線、ギア、レーザービーム装置には触れないでください。本機の故障や印刷品質の低下の原因になります。

■ 排紙トレイ上の用紙の量が多くなりすぎないように取り除いてください。用紙の量が多すぎると、紙づまりをおこしたり用紙がカールする原因になります。

■ 本機を移動するときは、必ず 2 人以上で持ち上げてください。トナーがこぼれないよう本機を水平にして運んでください。

■ 本機を運ぶ時は、必ずトレイ 1 をたたみ、図に示す位置を持って運んでください。

オプションの給紙ユニット PF-P07 を装着しているときは、必ず、本機と別々に運んでください。また、トレイ 3 の取手（引き出し部）や給紙ユニットの右ドアを持たないでください。給紙ユニットの破損の原因になります。

■ トナーが手についたときは、冷水と中性洗剤で洗ってください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

■ 本機の電源ケーブルをコンセントに接続する前に、清掃時に取り外した内部の部品が取り付けられていることを確認してください。

本機の清掃

注意

清掃前には本機の電源を切り、電源ケーブルを外してください。

本機外側の清掃

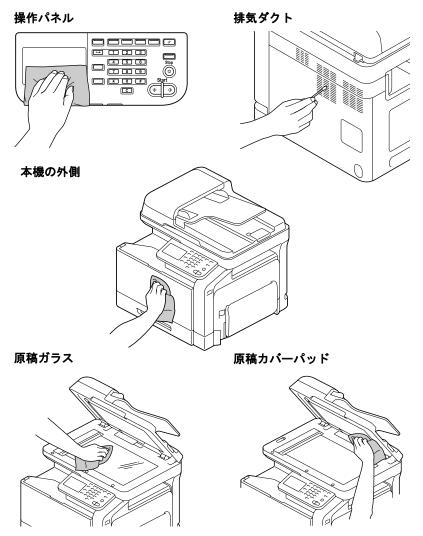
操作パネル

Stop
Start

排気ダクト

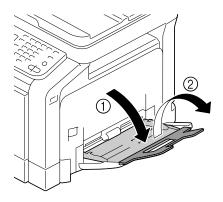
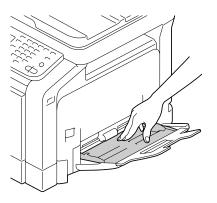
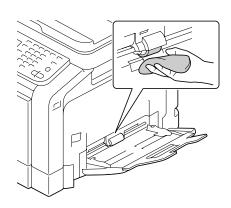
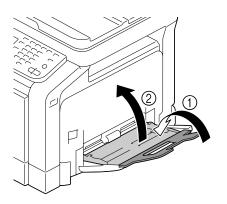
本機の外側

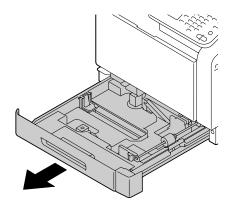
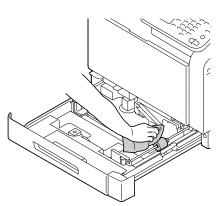
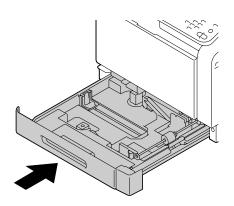
原稿ガラス

原稿カバーパッド

給紙ローラー

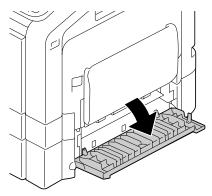
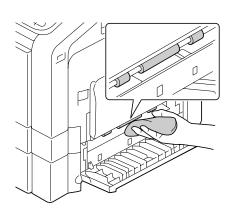
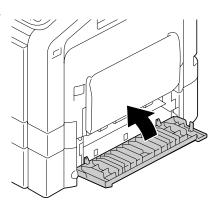
給紙ローラー部に紙粉やほこりがたまると、給紙トラブルの原因になります。

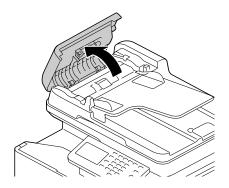
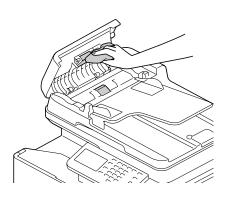
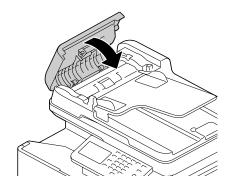
トレイ 1（手差しトレイ）の給紙ローラーの清掃

1 トレイ 1 を開きます。

2 押し上げ板の中央付近を左右のロック爪（白色）がロックするまで押し下げます。

3 給紙ローラーを柔らかい乾いた布で拭きます。

4 トレイ 1 を閉じます。

トレイ 2/3/4 の給紙ローラーの清掃

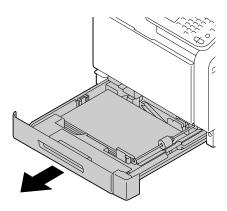
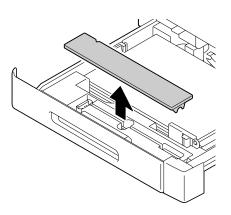
1 トレイを開きます。

2 やわらかい乾いた布で給紙ローラーの汚れを拭き取ります。

3 トレイを閉じます。

トレイ 3/4 の搬送ローラーの清掃

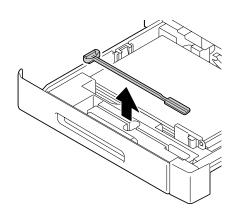
1 トレイ3またはトレイ4の右ドアを開きます。

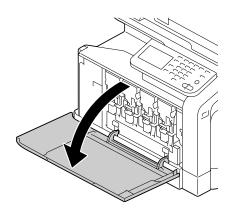
トレイ3またはトレイ4の右ドアを開く時は、トレイ１をたたんでから開いてください。

2 やわらかい乾いた布で搬送ローラーの汚れを拭き取ります。

3 トレイ3またはトレイ4の右ドアを閉じます。

ADF の給紙ローラーの清掃

1 ADF カバーを開きます。

2 やわらかい乾いた布で、カバー裏側の給紙ローラーの汚れを拭き取ります。

3 ADF カバーを閉じます。

レーザーレンズの清掃

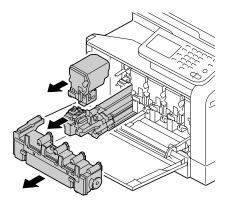
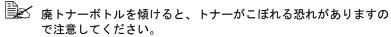
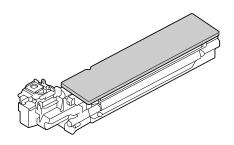
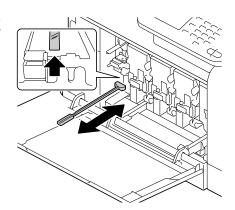
本機には 4 つのレーザーレンズがあります。すべて以下の手順で清掃を行ってください。レーザーレンズ清掃具はトレイ 2 の中に収納されています。

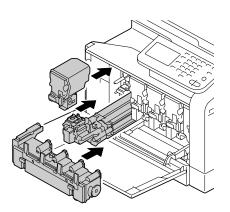
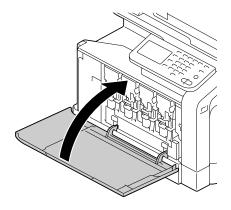
1 トレイ 2 を引き出します。

2 カバーを取り外します。

カバーは後で使用しますので、元の位置に戻さないでください。

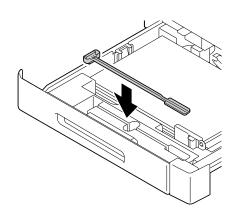
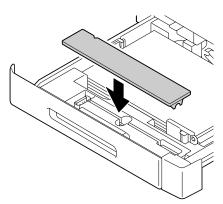
3 レーザーレンズ清掃具をトレイ2から取り出します。

4 トレイ2を閉じます。

5 前ドアを開きます。

6 廃トナーボトルと、清掃する色のトナーカートリッジおよびイメージングユニットを引き抜きます。

トナーカートリッジ、イメージングユニット、廃トナーボトルの取り外しについて、詳しくは「トナーカートリッジの交換手順」（p.317）、「イメージングユニットの交換手順」（p.321）、「廃トナーボトル WB-P03 の交換手順」（p.330）をごらんください。

トナーカートリッジを傾けると、トナーがこぼれる恐れがありますので注意してください。

廃トナーボトルを傾けると、トナーがこぼれる恐れがありますので注意してください。

7 取り外したイメージングユニットにカバーを取り付けます。

8 イメージングユニットの下部にある清掃孔にレーザーレンズ清掃具を差し込み、2 ～ 3 回前後に動かします。

9 取り外したトナーカートリッジ、イメージングユニット、廃トナーボトルを取り付けます。

トナーカートリッジ、イメージングユニット、廃トナーボトルの取り付けについて、詳しくは「トナーカートリッジの交換手順」（p.317）、「イメージングユニットの交換手順」（p.321）、「廃トナーボトル WB-P03 の交換手順」（p.330）をごらんください。

10 前ドアを閉じます。

11 トレイ 2 を引き出します。

12 レーザーレンズ清掃具をトレイ2の中のホルダーに戻します。

13 カバーを閉じます。

14 トレイ2を閉じます。

15 同様にして各イメージングユニットに相当する位置のレーザーレンズを清掃します。

レーザーレンズ清掃具は本機の付属品です。なくさないようにレーザーレンズ清掃具ホルダーに戻してください。

13 トラブルシューティング

はじめに

この章では、使用時に問題が起きた場合の解決方法や、困ったときに役立つ情報について説明しています。

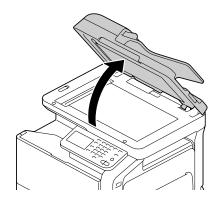
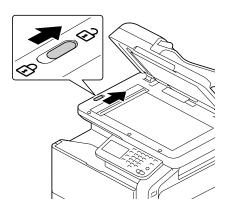
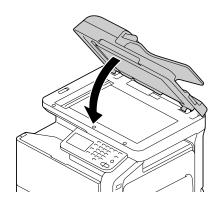
設定情報リストページを印刷する

設定情報リストページを印刷し、本機が正しく印刷動作をしているかを確認します。

1 操作パネルの［設定メニュー / カウンター］キーを押します。
2 ［ユーザー設定］を押します。
3 ［プリンター設定］を押します。
4 ［レポート出力］を押します。
5 ［設定情報リスト］を押します。
6 ［印刷］を押します。
7 ［OK］を押します。

スキャナーのロックを解除する

1 ADF を開きます。

2 スキャナーのロックレバーを
🔓側に切り替えます。

3 ADF を閉じます。

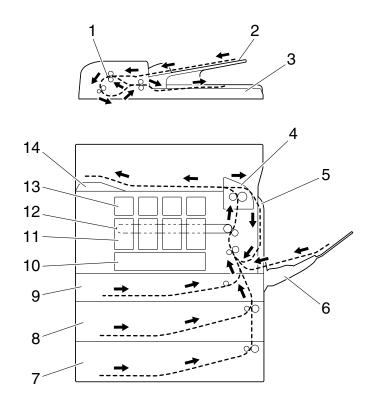
4 電源を切り、本機を再起動します。ADF を閉じます。

紙づまりを防ぐには

確認してください
用紙は本機の仕様に合っていますか？
用紙（特に給紙される側）は平らですか？
本機は表面が固く、平らで、安定した水平な場所に置いてありますか？
用紙は湿気の多い場所を避けて保管されていますか？
トレイに用紙をセットしたら、常に用紙ガイドを用紙サイズに合わせていますか？（用紙ガイドが用紙サイズに合っていないと、印刷品質の低下や紙づまり、本機の破損の原因になります。）
用紙は、印刷する面を上にしてトレイにセットしていますか？（用紙の包装ラベルに用紙の印刷面を示す矢印がかかれていることがあります。）

避けてください
折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
重なっている用紙（用紙が重なって給紙される場合は、いったんトレイから取り出し、さばいてください。）
異なる種類・サイズ・坪量の用紙を同時にセットしないでください。
給紙トレイの最大容量以上に用紙をセットしないでください。
排紙トレイの最大容量以上の用紙を置いたままにしないでください。（排紙トレイは最大 250 枚まで排紙できます。250 枚以上の用紙を置いたままにすると、紙づまりの原因になります。）

用紙送りの流れ

本体内部での用紙の流れを知っておくと、紙づまりが起こった場所が分かりやすくなります。

1	ADF 給紙ローラー	8	トレイ 4（オプション）
2	原稿給紙トレイ	9	トレイ 2
3	原稿排出トレイ	10	プリントヘッドユニット
4	定着ユニット	11	イメージングカートリッジ
5	両面プリントユニット	12	転写ベルトユニット
6	トレイ 1（多目的トレイ）	13	トナーカートリッジ
7	トレイ 3（オプション）	14	排紙トレイ

紙づまりの処理

故障を防ぐため、紙づまりを起こした用紙がやぶれないようにゆっくりと取り除きます。大きくても小さくても紙片が本機内に少しでも残ると、用紙送りできなくなり、紙づまりの原因となります。
紙づまりを起こした用紙をもう一度セットしないでください。

ご注意

定着部の前の段階では、印刷イメージは定着されていません。印刷面に触れるとトナーが手に付く場合がありますので、つまった用紙を取り除くときには印刷面に触れないように注意してください。また、本機内部にトナーをこぼさないでください。

注意

定着されていないトナーは、手や衣服などを汚す場合があります。
トナーが衣服についたときは、できる範囲で軽く払ってください。それでも衣服に残る場合は、お湯を使わず冷水ですすいでください。トナーが肌についたときは、水または中性洗剤で洗ってください。

注意

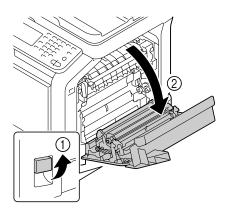
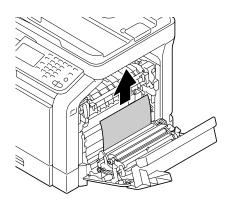
トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

紙づまりの処理をした後でも、操作パネルのメッセージウィンドウに紙づまりのメッセージが表示されている場合は、本機のドアの開閉を行ってください。

紙づまり表示と処理について

紙づまりメッセージ	参照ページ
紙づまりが発生しました ﾄﾚｲ 2	p. 372
紙づまりが発生しました ﾄﾚｲ 3/4	p. 376
紙づまりが発生しました ADF	p. 378
紙づまりが発生しました 両面 1	p. 380
紙づまりが発生しました 両面 2	p. 380
紙づまりが発生しました 定着 / 排紙部	p. 381
紙づまりが発生しました ﾄﾚｲ 1	p. 386

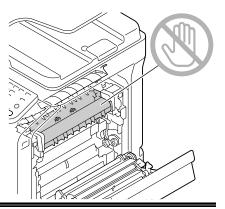
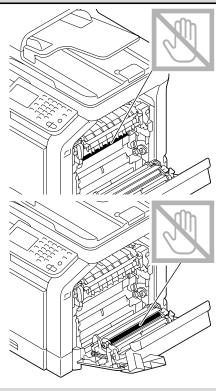
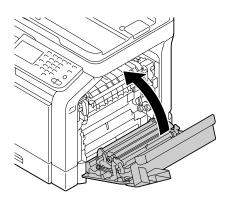
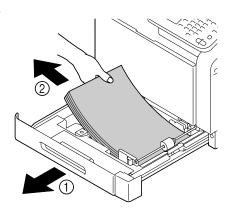
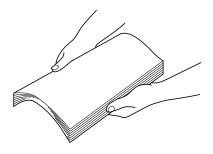
トレイ 2 での紙づまり処理

1 レバーを引き（①）、右ドアを開きます（②）。

右ドアを開く時は、必ずトレイ 1 をたたんでから開いてください。

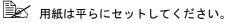
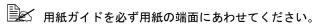
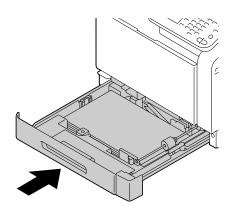
2 つまった用紙をゆっくりと引出します。

注意

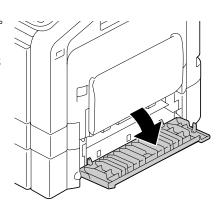
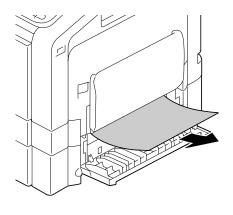
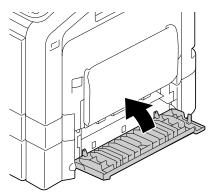
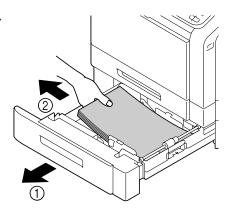
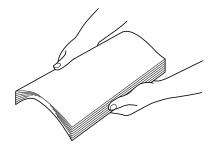
定着部周辺は高温になっています。火傷の原因となりますので、指定されたつまみやダイヤル以外の部分には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

ご注意

転写ベルトや転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ベルトや転写ローラーの表面に触れないように注意してください。

3 右ドアを閉じます。

4 トレイ 2 を引出し（①）、トレイ内に残っている用紙を取り出します（②）。

5 取り出した用紙をさばいてから用紙の端をそろえます。

6 用紙の印刷面を上向きにしてトレイ 2 にセットします。

用紙は平らにセットしてください。

用紙は ▼ マークを超えないようにセットしてください。

用紙ガイドを必ず用紙の端面にあわせてください。

7 トレイ 2 を閉じます。

トレイ 3/4 での紙づまり処理

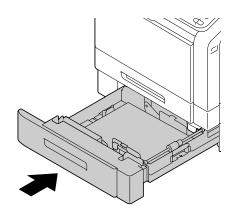
1 トレイ 3/4 の右ドアを開きます。

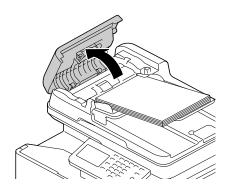
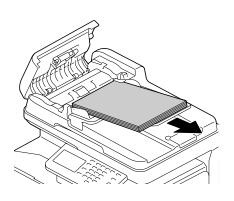
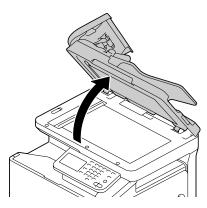
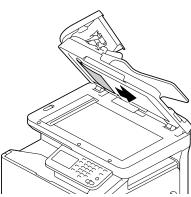
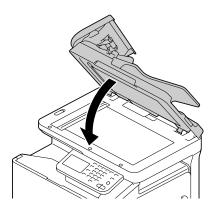
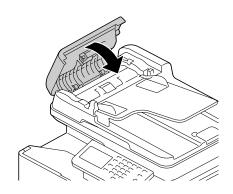
トレイ 3/4 の右ドアを開く時は、トレイ 1 をたたんでから開いてください。

2 つまった用紙をゆっくりと引出します。

3 トレイ 3/4 の右ドアを閉じます。

4 トレイ 3/4 を引出し（①)、トレイ内に残っている用紙を取り出します（②)。

5 取り出した用紙をさばいてから用紙の端をそろえます。

6 用紙の印刷面を上向きにしてトレイ 3 にセットします。

 用紙は平らにセットしてください。

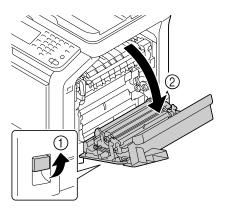
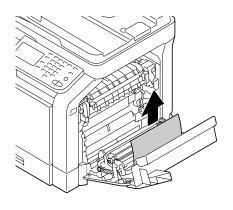
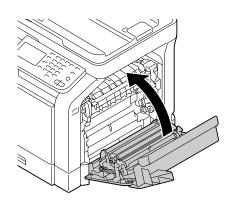
 用紙は ▼ マークを超えないようにセットしてください。

 用紙ガイドを必ず用紙の端面にあわせてください。

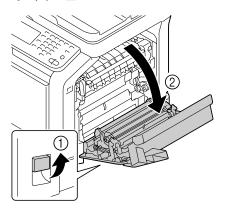
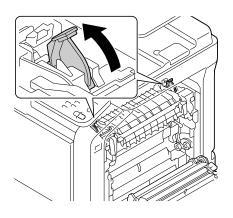
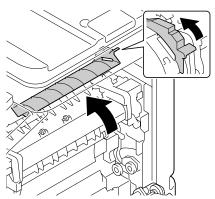
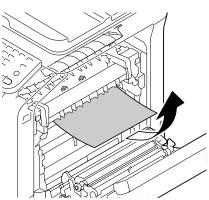
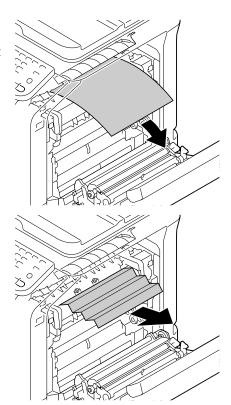
7 トレイ 3/4 を閉じます。

ADF での紙づまり処理

1 ADF カバーを開きます。

2 ADF の原稿給紙トレイから残っている原稿を取り除きます。

3 ADF を開きます。

4 つまっている原稿を取り除きます。

5 ADF を閉じます。

6 ADF カバーを閉じます。

両面プリントユニットでの紙づまり処理

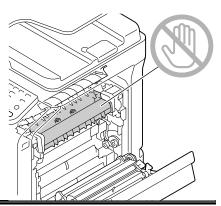
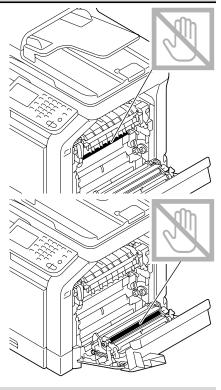
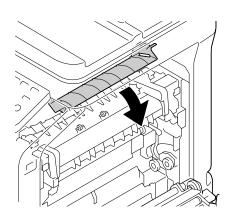
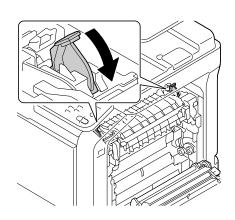
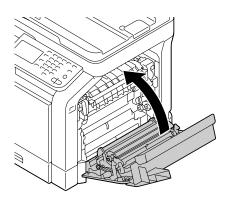
1 レバーを引き（①）、右ドアを開きます（②）。

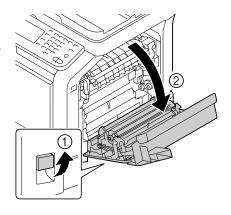
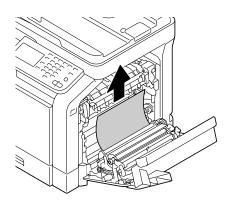
右ドアを開く時は、必ずトレイ 1 をたたんでから開いてください。

2 つまっている用紙をゆっくりと引出します。

3 右ドアを閉じます。

定着ユニット FU-P02 での紙づまり処理

1 レバーを引き（①)、右ドアを開きます（②)。

右ドアを開く時は、必ずトレイ 1 をたたんでから開いてください。

2 レバー（2 箇所）を押し上げます。

3 定着カバーを開きます。

4 つまった用紙をゆっくりと引出します。

下側に取り除くことができない場合は、定着ユニットの上側から取り除きます。

注意

定着部周辺は高温になっています。火傷の原因となりますので、指定されたつまみやダイヤル以外の部分には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

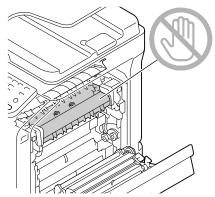
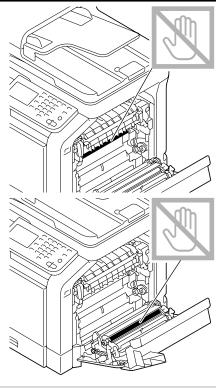
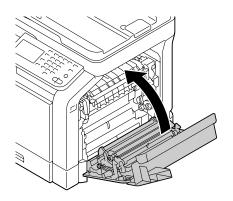
ご注意

転写ベルトや転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ベルトや転写ローラーの表面に触れないように注意してください。

5 定着カバーを閉じます。

6 レバー（2 箇所）を押し下げます。

7 右ドアを閉じます。

トレイ 1（手差しトレイ）／転写ローラー TF-P04 での紙づまり処理

1 レバーを引き（①）、右ドアを開きます（②）。

右ドアを開く時は、必ずトレイ 1 をたたんでから開いてください。

2 つまった用紙をゆっくりと引出します。

注意

定着部周辺は高温になっています。火傷の原因となりますので、指定されたつまみやダイヤル以外の部分には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

ご注意

転写ベルトや転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ベルトや転写ローラーの表面に触れないように注意してください。

3 右ドアを閉じます。

紙づまりの問題

特定の場所で紙づまりが頻繁に起こる場合は、その場所について確認、修理、清掃が必要です。また、対応していない種類の用紙を使用すると、紙づまりの原因になります。

症状	原因	処置のしかた
複数の用紙が重なって給紙される	用紙の先端がそろっていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえてセットしなおしてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
紙づまりのメッセージが消えない	本機をリセットする必要がある。	本機の右ドアを開閉してリセットしてください。
	本機内につまった紙、紙片が残っている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。
両面印刷の紙づまりが起きている	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる用紙サイズ」（p.138）をごらんください。
		60 ～ 90 g/m^2 の普通紙（再生紙）、91 ～ 210 g/m^2 の厚紙、60 ～ 90 g/m^2 の特殊紙で両面印刷ができます。プリンタードライバーで用紙種類を正しく設定してください。 両面印刷に対応している用紙については、「使用できる用紙サイズ」（p.138）をごらんください。
		異なる種類の用紙を混ぜてセットしないでください。
		封筒やラベル紙、レターヘッド、はがき、光沢紙、両面不可紙を両面印刷に使用しないでください。
	まだ紙づまりを起こしている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。

症状	原因	処置のしかた
ADF で紙づまりが起きている	対応していない原稿を使用している。	本機が対応する原稿を使用してください。原稿の種類については 、「原稿について」（p.171）をごらんください。
	原稿の枚数が最大積載量を超えている。	最大積載量を超えている原稿を取り除き、ADF の原稿枚数を減らしてセットしなおしてください。 最大積載量については 、「原稿について」（p.171）をごらんください。
	ガイド板の幅が、原稿サイズに合うように調節されていない。	ADF のガイド板を原稿サイズに合うように調節してください。 詳しくは「原稿をセットする」（p.173）をごらんください。
紙づまりが起きる	給紙トレイ内で用紙が正しい位置にセットされていない。	つまった紙を取り除き、給紙トレイに正しく用紙をセットしなおしてください。
	トレイ内の用紙枚数が最大補給量を超えている。	最大補給量を超えている用紙を取り除き、トレイ内の用紙の枚数を減らしてセットしなおしてください。
	用紙ガイドの幅が、用紙サイズに合うように調節されていない。	給紙トレイ内の用紙ガイドを用紙サイズに合うように調節してください。
	給紙トレイ内の用紙が曲がったりしわになったりしている。	曲がった用紙やしわになった用紙を取り除き、新しい用紙に替えてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿気のある用紙を取り除き、新しい乾いた用紙に替えてください。
	封筒がトレイ 2/3/4 にセットされている	封筒はトレイ 1 にセットしてください。

症状	原因	処置のしかた
紙づまりが起きる	トレイ 3/4 に厚紙、ラベル紙、はがき、光沢紙、レターヘッドがセットされている。	厚紙、ラベル紙、はがき、光沢紙、レターヘッドはトレイ 1/2 にセットしてください。
	トレイ 3/4 に不定形用紙がセットされている。	不定形用紙はトレイ 1/2 にセットしてください。
紙づまりが起きる	ラベル紙が、トレイ 1/2 に逆向きにセットされている。	ラベル紙の向きを正しい向きにセットしてください。
	封筒がトレイ 1 に正しくない向きにセットされている。	封筒はフタを上側にしてセットしてください。
		フタを本機側にセットしてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる用紙サイズ」（p.138）をごらんください。
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。詳しくは、「給紙ローラー」（p.355）をごらんください。

その他の問題

症状	原因	処置のしかた
本機の電源が入らない	電源ケーブルが正しくコンセントに差し込まれていない。	電源スイッチをオフ（〇の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	電源ケーブルが接続されているコンセントに問題がある。	他の電気機器をそのコンセントに接続して、正しく動作するか確認してください。
	電源スイッチが正しくオン（｜の位置）になっていない。	電源スイッチをオフ（〇の位置）にしてから、オン（｜の位置）にします。
	電源ケーブルが接続されているコンセントの電源の電圧や周波数が本機の仕様に合っていない。	付録「技術仕様」（p.446）に記載されている仕様に合った電源を使用してください。
ジョブが本機に送られたが、印刷されない	メッセージウィンドウにエラーメッセージが表示されている。	メッセージにしたがって操作してください。
	ユーザー認証 / 部門認証を設定している場合、ジョブがキャンセルされることがあります。	プリンタードライバーの「ユーザー認証 / 部門管理」ボタンより必要な情報を入力し印刷してください。
予定よりもかなり早くメッセージウィンドウに［トナーの残量が少なくなっています］が表示される	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	多量のトナーを使用する画像を印刷している。	付録「技術仕様」（p.446）をごらんください。

<table>
<tr><th>症状</th><th>原因</th><th>処置のしかた</th></tr>
<tr><td rowspan="2">設定リストページが印刷されない</td><td>給紙トレイに用紙がセットされていない。</td><td>給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。</td></tr>
<tr><td>紙づまりがおきている。</td><td>つまっている用紙を取り除いてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">USB メモリーから印刷できない</td><td rowspan="2">印刷できるファイル形式（拡張子）と一致していない。</td><td>印刷できるファイル形式（拡張子）は、JPEG、TIFF、XPS、PDF のみです。</td></tr>
<tr><td>［USB/HDD］を押し、［外部メモリ］の［ファイルの種類］で表示できるファイルの形式を選択してください。</td></tr>
<tr><td>本機の［外部メモリプリント］が［無効］になっている。</td><td>［管理者設定］－［外部メモリプリント］の設定を［有効］に変更してください。</td></tr>
<tr><td>ユーザー認証でパブリックユーザーが設定されていない。</td><td>本機管理者にご確認ください。</td></tr>
<tr><td>暗号化された USB メモリーを使用している。</td><td>暗号化された USB メモリーは使用できません。</td></tr>
</table>

症状	原因	処置のしかた
印刷に時間がかかりすぎる	印刷に時間のかかるモード（厚紙など）に設定されている。	厚紙などの特殊な用紙では、印刷に時間がかかります。 普通紙を使用しているときは、プリンタードライバーで用紙の種類が普通紙に設定されているか確認してください。
	本機が節電中になっている。	本機が節電中の場合、印刷するまでに少し時間がかかります。
	複雑なプリントジョブを処理している。	処理時間を要します。お待ちください。
	仕向け違いまたはコニカミノルタ純正以外のトナーカートリッジがセットされている。 メッセージウィンドウに［トナーカートリッジ誤装着］と表示される。	コニカミノルタ純正で、正しい仕向けのトナーカートリッジをセットしてください。
	印刷ジョブ送信中にエラーが発生した場合は、印刷機能のエラー処理に時間がかかることがあります。	しばらくお待ちください。
白紙が排出される	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れているか、トナーがなくなっている。	トナーカートリッジを確認してください。トナーが無いと画像が印刷されません。
	用紙や設定が正しくない。	プリンタードライバーで、用紙の種類が本機にセットされている用紙と合っているか確認してください。

症状	原因	処置のしかた
印刷されないページがある	本機のインターフェースケーブルの種類またはポートが間違っている。	インターフェースケーブルを確認してください。
	［キャンセル］キーが押された。	ジョブの印刷中に、［キャンセル］キーを押さないでください。
	給紙トレイが空になっている。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。
	フォームを設定して印刷しようとしたときに、本機以外のプリンタードライバーで作成されたフォームファイルが選択されている。	フォームを設定する場合は、本機のプリンタードライバーで書き出したフォームファイルを使用してください。
頻繁に本機がリセットされたり電源が切れたりする	電源ケーブルがコンセントに正しく接続されていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	システムエラーが起きている。	エラー情報については、販売店または弊社に連絡してください。
メッセージウィンドウに［802.1X認証中］が表示されたままになる	IEEE802.1X 認証に失敗している。	［管理者設定］—［イーサネット］—［IEEE802.1X 認証設定］を［使用しない］に設定し、IEEE802.1X 関連の設定を確認してください。

症状	原因	処置のしかた
両面印刷時に問題がある	用紙や設定が正しくない。	封筒、ラベル、はがき、光沢紙、両面不可紙、レターヘッドでは両面印刷しないでください。 トレイ 1/2 に異なる種類の用紙がセットされていないか確認してください。
		ファイルが 1 ページ以上あるか確認してください。
		プリンタードライバーの［レイアウト］タブの［印刷種類］で［両面］を選択してください。 プリンタードライバーの［レイアウト］タブの［開き方向／とじ方向］で［短辺上とじ］［短辺下とじ］（メモ帳のように縦にめくる）、［長辺左とじ］［長辺右とじ］（ルーズリーフのノートのように横にめくる）を選択してください。 正しい用紙を使用しているか確認してください。
		N-up 設定で両面印刷を行う場合、部単位印刷の設定は必ずプリンタードライバーの［基本設定］タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
N-up 設定で 2 部以上印刷する場合に、正しく排出されない	プリンタードライバーとアプリケーションの両方で部単位印刷の設定がされている。	N-up 設定で 2 部以上の印刷を行う場合、部単位印刷の設定は必ずプリンタードライバーの［基本設定］タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
小冊子印刷時に、左綴じ／右綴じの設定通りに印刷されない	プリンタードライバーとアプリケーションの両方で部単位印刷の設定がされている。	小冊子（左開き／右開き）印刷を行う場合、部単位印刷の設定は必ずプリンタードライバーの［基本設定］タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。

症状	原因	処置のしかた
小冊子印刷時に、左綴じ／右綴じの設定通りに印刷されない	プリンタードライバーとアプリケーションの両方で印刷の設定がされている。	設定はプリンタードライバーで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
2 in 1 印刷時に設定通りに印刷されない		
異常音がする	本機内に異物がある。	本機の電源を切り、異物を取り除いてください。取り除くことができない場合は、販売店または弊社に連絡してください。
スキャンした画像の一部が欠ける	Macintosh 版の Acrobat 8 を使用している。	Acrobat のスキャン設定で、OCR 機能とフィルタ機能を無効にして下さい。
Web ベースのユーティリティで本機にアクセスできない	PageScope Web Connection のアドミンパスワード（管理者番号）が正しくない。	0 ～ 16 文字のアドミンパスワード（管理者番号）を入力してください。アドミンパスワード（管理者番号）については管理者に確認してください。 PageScope Web Connection のアドミンパスワード（管理者番号）については「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
用紙にしわができる	用紙が湿気を帯びている、または用紙が水でぬれている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	転写ローラーまたは定着ユニットが壊れている場合があります。	転写ローラーまたは定着ユニットに損傷がないか確認してください。必要であれば、エラー情報を販売店または弊社に連絡してください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については「使用できる用紙サイズ」（p.138）をごらんください。

症状	原因	処置のしかた
本機の日付、時刻が正しく保持されない	バックアップ電池が寿命です。	販売店または弊社に連絡してください。
排紙される用紙が均一に積載されない	用紙が大きくカールしている。	給紙トレイ内にセットされている用紙を、裏表逆にセットしてください。
	用紙をセットしている給紙トレイのガイド板と用紙の間に隙間がある。	給紙トレイのガイド板を用紙に突き当て、隙間が出ないようにしてください。
ハードディスクが自動的にフォーマットされる	ハードディスクの容量がいっぱいです。	[不要なファイルを削除してください]が操作パネルに表示された時、ハードディスク内に保存しているプリントジョブやフォント、フォームファイルなどを削除してください。
IPv4 環境のネットワークで接続できない	IPv6 環境が正常に動作していません。	管理者設定の［イーサーネット］の設定で［IPv6］を無効にしてください。

印刷品質の問題

症状	原因	処置のしかた
何も印刷されない	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。
	1 つ以上のイメージングユニットが壊れている。	イメージングユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	プリンタードライバーの用紙設定と実際に本機にセットされている用紙が合っていない。	本機に正しい用紙をセットしてください。
	電源が本機の仕様に合っていない。	仕様に合った電源を使用してください。
	複数の用紙が同時に給紙されている。	給紙トレイから用紙を取り出し、静電気が起きていないか確認してください。用紙をさばいてから給紙トレイに戻してください。
	用紙が給紙トレイに正しくセットされていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえて給紙トレイに戻し、用紙ガイドを調節してください。
まっ黒または一面カラーで印刷される	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。
	1 つ以上のイメージングユニットが壊れている。	イメージングユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
印刷が薄い Printer	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。
	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。
	1 つ以上のイメージングユニットが壊れている。	イメージングユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	厚紙、封筒、ラベル紙、はがき、光沢紙、両面不可紙、特殊紙、レターヘッドに印刷する場合は、プリンタードライバーで用紙の種類を指定してください。
印刷が濃い Printer Printer Printer Printer	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。
	1 つ以上のイメージングユニットが壊れている。	イメージングユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。
	原稿が原稿ガラスから浮き上がっている。	原稿が原稿ガラスに密着するようにセットしてください。 詳しくは「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.173）をごらんください。
	コピーの濃度設定が濃すぎる。	コピーの濃度を薄く設定してください。

症状	原因	処置のしかた
画像がにじむ 背景が汚れる 光沢にムラがある	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。
	1 つ以上のイメージングユニットが壊れている。	イメージングユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。
	原稿カバーパッドが汚れている。	原稿カバーパッドを清掃してください。詳しくは「本機の清掃」（p.354）をごらんください。
	原稿ガラスが汚れている。	原稿ガラスを清掃してください。詳しくは「本機の清掃」（p.354）をごらんください。
濃度が均一でない	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている、または壊れている。	トナーカートリッジを交換してください。
	本機が水平に置かれていない。	本機を平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。

症状	原因	処置のしかた
画像にムラがある、または一部分が欠ける	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる用紙サイズ」（p.138）をごらんください。
	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。
	1 つ以上のイメージングユニットが壊れている。	イメージングユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。
十分にトナーが定着していない、またはこすると画像が落ちてしまう	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる用紙サイズ」（p.138）をごらんください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	厚紙、封筒、ラベル紙、はがき、光沢紙、両面不可紙、特殊紙、レターヘッドに印刷する場合は、プリンタードライバーで用紙の種類を指定してください。
しみやカスの汚れがある	1 つ以上のイメージングユニットが正しく装着されていない、または壊れている。	イメージングユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
用紙の裏面にしみ汚れがある（両面印刷かどうかに関係なく）	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。
	1 つ以上のイメージングユニットが壊れている。	イメージングユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。
白または黒、カラーの線が同じパターンで現れる	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。
	イメージングユニットが壊れている。	異常な線が現れる色のイメージングユニットを取り出し、新しいイメージングユニットをセットしてください。
画像が欠ける	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	トナーカートリッジからトナーがもれている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。
	イメージングユニットが壊れている。	異常な現象が現れる色のイメージングユニットを取り出し、新しいイメージングユニットをセットしてください。

症状	原因	処置のしかた
横方向に線や帯が現れる Printer	本機が水平に置かれていない。	本機を平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。
	1 つ以上のイメージングユニットが壊れている。	イメージングユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。
色再現が極端におかしい	1 つ以上のイメージングユニットが壊れている、または寿命に達している。	イメージングユニットを取り出し、ローラー部に均等にトナーがのっているか確認し、イメージングユニットをセットしなおしてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少ない、またはなくなっている。	メッセージウィンドウに「トナーの残量が少なくなっています」または「トナーの交換時期です（X）」と表示されていないか確認してください。メッセージが表示されている場合、指定されている色のトナーカートリッジを交換してください。
色再現が適切でない（色が混ざったり、ページによって色再現が異なるなど）	1 つ以上のイメージングユニットが壊れている。	イメージングユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。

症状	原因	処置のしかた
色再現が不十分、または色の濃度が薄い Printer Printer Printer Printer	イメージングユニットが壊れている。	イメージングユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。

もし上記の処置を行っても問題が解決されない場合は、販売店または弊社にお問い合わせください。

ステータス、エラー、サービスのメッセージ

ステータス、エラー、サービスのメッセージは、操作パネルのメッセージウィンドウに表示されます。本機の情報を表示し、問題のある場所を見つけるのに役立ちます。表示されたメッセージを確認し、正しい処置を行ってください。

通常のステータスメッセージ

メッセージ	意味	処置のしかた
初期化処理中	初期化処理中です。	通常のステータスメッセージです。処置の必要はありません。
再起動中	本機が再起動中です。	
スリープ設定	節電機能がはたらいています。節電中になり動作していない間は、消費電力が少なくなります。プリントジョブを受信すると、または操作パネルを操作すると、ウォーミングアップ後、印刷可の状態に戻ります。	
キャリブレーション中	本機は次のタイミングで自動的に AIDC カラーキャリブレーションを行います。 • 本機の設定を変更し再起動した後 • トナーカートリッジの交換後 この処理は、本機の印刷品質を最適に保つために行われます。	
ウォームアップ中です	ウォームアップ中です。	
状態を確認してください トレイ x	設定されている用紙がセットされました。	
TWAIN/WSD 接続中	TWAIN または WSD で接続しています。	

エラーメッセージ（警告）

メッセージ	意味	処置のしかた
ソートできません 先頭ページのみ印刷します。	送信されたプリントジョブがハードディスクの容量を超えているためソート印刷ができません。	1 部ずつプリントしてください。
不要なファイルを削除してください	ハードディスクドライブの容量がいっぱいです。	必要に応じてハードディスクドライブに保存されているプリントジョブを削除してください。
イメージングユニット交換 イメージングユニットを交換してください。X	X（イメージングユニットの色を示します）のイメージングユニットが寿命を超えました。	イメージングユニットを交換してください。 詳細については「イメージングユニットの交換手順」（p.321）を参照してください。
トナーの交換時期です (X) トナーがなくなりました。 トナーを交換し、前ドアを閉じてください。X	X（トナーの色を示します）トナーカートリッジ内のトナーがなくなりました。	トナーカートリッジを交換してください。 詳細については「トナーカートリッジの交換手順」（p.317）を参照してください。
転写ベルトユニットの交換時期です 転写ベルトユニットを交換してください。	転写ベルトが寿命です。 印刷は可能ですが、印字品質は保証外です。	転写ベルトを交換してください。 詳細については「転写ベルトの交換」（p.335）を参照してください。
定着ユニットの交換時期です 定着ユニットを交換してください。	定着ユニットが寿命です。 印刷は可能ですが、印字品質は保証外です。	定着ユニットを交換してください。 詳細については「定着ユニットの交換」（p.345）を参照してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
まもなく廃トナーボックスの交換時期です 予備の廃トナーボックスを用意してください。	廃トナーボトルがもうすぐいっぱいになります。	新しい廃トナーボトルを準備してください。
トナーの残量が少なくなっています 予備のトナーカートリッジを用意してください。 X	X（トナーの色を示します）トナーが残り少なくなっています。	指定されたトナーカートリッジを準備してください。
イメージングユニットの交換時期が近づいています 予備のイメージングユニットを用意してください。 X	X（イメージングユニットの色を示します）のイメージングユニットが寿命に近づいています。	指定されたイメージングユニットを準備してください。
用紙を補給してください 用紙を補給してください。 トレイ X	トレイ X に用紙がありません。 （[管理者設定] － [ペーパーエンプティー設定] で表示されたトレイが「する」に設定されている場合に表示されます。）	表示された給紙トレイに用紙を正しくセットしてください。
トナーカートリッジ誤装着 正しいトナーカートリッジをセットしてください。 X	X（トナーカートリッジの色を示します）のトナーカートリッジが正しくありません	コニカミノルタ純正で、正しい色、正しい仕向けのトナーカートリッジを取り付けてください。詳細については「トナーカートリッジの交換手順」（p.317）を参照してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
イメージングユニット誤装着 正しいイメージングユニットをセットしてください。 X	X（イメージングユニットの色を示します）のイメージングユニットが正しくありません	コニカミノルタ純正で、正しい色、正しい仕向けのイメージングユニットを取り付けてください。詳細については「イメージングユニットの交換手順」（p.321）を参照してください。
転写ローラーユニットの交換時期です 転写ローラーユニットの交換時期です	転写ローラーが寿命です。 印刷は可能ですが、印字品質は保証外です。	転写ローラーを交換してください。 詳細については「転写ローラーの交換」（p.333）を参照してください。
USB ハブは、未対応です USB ハブの接続をはずしてください。	USB ポートにハブが接続されました。	USB ハブは接続できません。
未対応の USB デバイスを検出しました USB 機器の接続をはずしてください。	USB ポートに未対応のデバイスが接続されました。	未対応のデバイスは接続できません。
IEEE802.1X 認証に失敗しました 再起動してください。	IEEE802.1X ポート認証のタイムアウトにより、自動的にログオフされました。	再起動後、再度 IEEE802.1X ポート認証を行い、ログインしてください。
IEEE802.1X 認証中 お待ちください。	IEEE802.1X ポート認証が行われています。	認証が完了するまでお待ちください。

エラーメッセージ（オペレーターコール）

メッセージ	意味	処置のしかた
オプションの構成が変化しています。 オプションの構成が変化しています。 電源を OFF/ON してください	電源が入った状態でオプション構成が変更されました。	本機を再起動してください。
カバーが開いています カバーが開いています 確実に閉めてください	カバーが開いています。	カバーを閉じてください。
紙づまりが発生しました 紙づまりです 用紙を取り除いてください	紙づまりが起きています。	用紙が詰まっている場所を確認し、詰まっている用紙を取り除いてください。
イメージングユニットセット不良 イメージングユニットをセットし、全てのカバーを閉めてください	X（イメージングユニットの色を示します）イメージングユニットが正しく取り付けられていないか、純正ではないイメージングユニットが取り付けられています。	コニカミノルタ純正のイメージングユニットを正しく取り付けてください。
トナーカートリッジセット不良 トナーカートリッジを装着して全てのドアを閉めてください	X（トナーの色を示します）トナーカートリッジが正しく取り付けられていないか、純正ではないトナーカートリッジが取り付けられています。	コニカミノルタ純正のトナーカートリッジを正しく取り付けてください。

メッセージ	意味	処置のしかた
廃トナーボックスフル 廃トナーボックスの交換時期です 交換要領書に従って廃トナーボックスを交換してください	廃トナーボトルが廃トナーでいっぱいになりました。	新しい廃トナーボトルに交換してください。 詳細については「廃トナーボトル WB-P03 の交換手順」（p.330）を参照してください。
イメージングユニット交換 イメージングユニットの交換時期です 前ドアを開け、交換要領書に従ってイメージングユニットを交換してください	X（イメージングユニットの色を示します）のイメージングユニットが寿命を超えました。	イメージングユニットを交換してください。 詳細については「イメージングユニットの交換手順」（p.321）を参照してください。
トナーの交換時期です（X） トナーがなくなりました 交換要領書に従って正しいトナーカートリッジを交換し、前ドアを閉めてください	X（トナーの色を示します）のトナーカートリッジ内のトナーが完全になくなりました。	トナーカートリッジを交換してください。 詳細については「トナーカートリッジの交換手順」（p.317）を参照してください。
用紙サイズ不一致 以下の用紙をセットするか、ジョブを中止してください X トレイ X	プリンタードライバーで指定した用紙サイズの用紙がトレイ X にセットされていない。	表示された給紙トレイに正しい用紙をセットしてください。
手差し確認 手差しトレイの用紙を確認して［印刷］を押してください。 X	プリンタードライバーの「用紙トレイ」で「トレイ 1（手差し）」を選択しているときに、プリント開始時にトレイ 1 に用紙がセットされています。	キーを押して印刷をするか、トレイ 1 の用紙をセットしなおしてください。

メッセージ	意味	処置のしかた
用紙を補給してください 用紙を補給するか、給紙トレイを変更してください	給紙トレイに用紙がありません。 （[ユーザー設定] ー [環境設定] ー [給紙トレイ設定] ー [給紙トレイ自動切換え] が「する」に設定されている場合に表示されます。）	正しいサイズ、種類の用紙をトレイにセットしてください。
用紙を補給してください 手差しに用紙をセットするか給紙トレイを選択してください	プリンタードライバーで手差し印刷が設定されていますが、トレイ 1 に用紙がありません。	トレイ 1 に正しい用紙をセットしてください。
用紙を補給してください トレイ X に用紙を補給するか、他の給紙トレイを選択してください	トレイ X がプリンタードライバーで指定されていますが、トレイに用紙がありません。	正しいサイズ、種類の用紙を指定されたトレイにセットしてください。
用紙サイズ / 種類不一致 トレイ X に以下の用紙をセットしてください X	プリンタードライバーで指定されたトレイに指定されたサイズ、種類の用紙がありません。 （[ユーザー設定] ー [環境設定] ー [給紙トレイ設定] ー [給紙トレイ自動切換え] が「しない」に設定されている場合に表示されます。）	正しいサイズ、種類の用紙を指定されたトレイにセットしてください。
排紙トレイフル 排紙トレイの容量オーバーです。 トレイの用紙を取り除いてください。	排紙トレイの用紙が制限をこえています。	排紙トレイの用紙を取り除いてください。
メモリーフル メモリー容量が不足しています ジョブをキャンセルしてください	メモリーで処理できる量以上のデータを受信しました。	[キャンセル] キーを押し、プリントジョブをキャンセルしてください。 プリントジョブのデータ容量を少なくし、再度印刷してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
保存ジョブエラー 保存ジョブの指定が合っていません トレイ X	ジョブを保存したときのオプション構成と違っています。	オプション構成をジョブが保存された状態に戻してください。
ジョブ登録数オーバー ジョブの登録が上限値です 登録中のジョブが終了するまでしばらくお待ちください	登録されているジョブの上限をこえています。	終了するまで待つか、現在のジョブを削除してください。
スキャナーロックレバー確認 スキャナーのロックレバーを解除してください	スキャナーロックレバーがロックされています。	ジョブをキャンセルし、スキャナーのロックレバーを解除してください。
原稿を原稿ガラス上にセットしてください ADF から読込みできない原稿サイズです	スキャンしようとした原稿が ADF から読込みできない原稿サイズです。	原稿ガラスでスキャンしてください。
ADF に原稿をセットしてください 原稿を原稿トレイにセットしてください	ADF に原稿がセットされていません。	ADF に原稿をセットしてください。 サイズ混載原稿は ADF からスキャンします。
最適用紙がありません 最適用紙がありません X	印刷対象に対して適切な用紙がトレイにセットされていません。	適切な用紙をトレイにセットし、操作パネルでセットした用紙サイズを再設定してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
自動倍率の範囲外です 用紙に適した倍率は範囲外です 倍率または用紙を選択してください	自動倍率の設定が可能な範囲をこえています。	倍率を 25 ～ 400%で指定してください。
原稿を原稿ガラス上にセットしてください ADF から読込みできない倍率です	スキャンしようとした倍率が ADF から読込みできない倍率（200% 以上）です。	原稿ガラスでスキャンしてください。
両面コピーできません 両面コピーは使用できません。中止するか、以下の用紙を選択してください。 X	両面コピーできない用紙種類、用紙サイズです。	両面コピーをキャンセルするか、用紙種類、用紙サイズを変更してください。
メモリーフル（スキャン） メモリーが足りません ジョブをキャンセルします	原稿読込中に、メモリーが一杯になりました。	原稿を減らしてください。
HDD 容量オーバー HDD の空き容量が足りません 不要なファイルを削除してください ジョブをキャンセルします	ハードディスクドライブの容量がいっぱいです。	必要に応じてハードディスクドライブに保存されているプリントジョブを削除してください。
文書登録数オーバー フォルダ内に登録しているドキュメント数が上限値です ジョブをキャンセルします	登録できるジョブの上限をこえています。	必要に応じてハードディスクドライブに保存されているプリントジョブを削除してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
接続に失敗しました 宛先が正しいか、確認してください ジョブはキャンセルされます	接続できませんでした。	宛先が正しく登録されているか、確認してください。
書き込み中にエラーが発生しました 書き込み禁止になっていないか、空き容量が不足していないか確認してください	USB メモリーへの保存中にエラーが発生しました。	ジョブをキャンセルし、USB メモリーが書き込み可能か確認してください。
スキャン送信できませんでした 送信に失敗しました ジョブはキャンセルされます	スキャン送信に失敗しました。	しばらく待った後、ジョブをキャンセルしてください。
カウンターが上限値です カウンターが上限値です ジョブを削除してください	カウンターの上限をこえています。	ジョブを削除してください。
I-FAX 受信できませんでした I-FAX 受信中にエラーが発生したためジョブが正常終了しませんでした 履歴を確認してください	I-FAX 受信中にエラーが発生し、正常に終了しませんでした。	ジョブ履歴を確認してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
I-FAX 送信できませんでした I-FAX 送信中にエラーが発生したため送信できませんでした 所定時間経過後、再送信します	I-FAX 送信中にエラーが発生し、正常に終了しませんでした。	しばらく待ってから送信してください。

サービスメッセージ

このメッセージは、カスタマーサービスによる修復が必要な故障を示すメッセージです。このメッセージが表示された場合は、本機を再起動してください。問題が解決しない場合は、販売店または弊社に連絡してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
サービスコールエラーが発生しました。 主電源を OFF/ON するか、 サービスに以下のトラブルコードを連絡してください。 XXXX	サービスメッセージ内に表示されている "XX" のエラーが検出されました。 メッセージウィンドウの下部にはエラーの内容が表示されます。	本機を再起動してください。多くの場合、これによりサービスメッセージが消え、本機は復旧します。 それでもメッセージが消えない場合には、エラーの情報を販売店または弊社に連絡してください。

オプションの取り付け

14

はじめに

ご注意

本機は、純正品／推奨品以外のオプションの使用は保証の対象外となります。

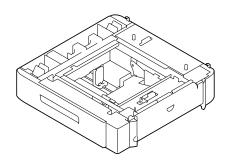
この章では、以下のオプションについて説明します。

オプション名	説明	オプション番号
給紙ユニット PF-P08（トレイ 3） 給紙ユニット PF-P08（トレイ 4）	500 枚給紙トレイ	*
ワーキングテーブル WT-P01	認証装置の設置台	*
備考：* オプション品については、弊社ホームページにてご確認ください。		

給紙ユニット PF-P08（トレイ 3/4）の取り付け

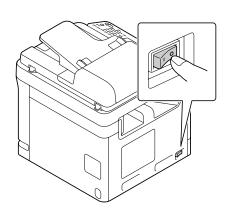
給紙ユニット（トレイ 3/4）を取り付けることができます。給紙ユニットには用紙を 500 枚までセットできます。

給紙ユニット PF-P08 の構成

■ 給紙ユニット（500 枚給紙トレイ付き）

給紙ユニット PF-P08 の取り付けかた

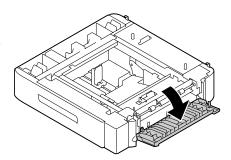
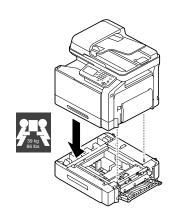
ご注意

本機には消耗品が取り付けられているため、本機を動かすときは、トナーがこぼれないよう本機を水平にして運んでください。

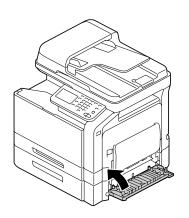
1 本機の電源を切り、すべてのケーブルを取り外します。

2 給紙ユニットを用意します。

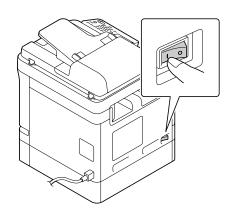
給紙ユニットは必ず平らな場所に置いてください。

3 給紙ユニットの右ドアを開きます。

必ず給紙ユニットの右ドアを開いてから本機をセットしてください。

4 本機を 2 人で持ち、給紙ユニットと位置決めピンを本機の底の受け穴にあわせて正しくセットします。

警告

本機は消耗品を含めて約 39 kgの重量があります。本機を持ち上げる場合は、必ず 2 人で行ってください。

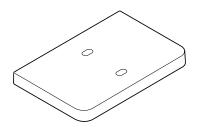
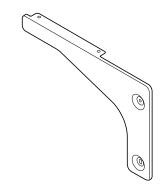
5 給紙ユニットの右ドアを閉じます。

6 インターフェースケーブルを接続します。

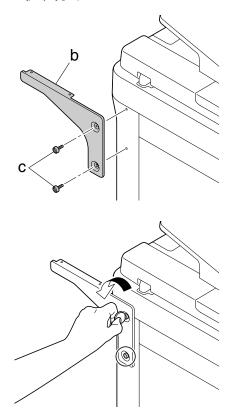
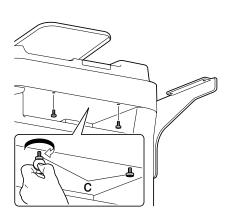
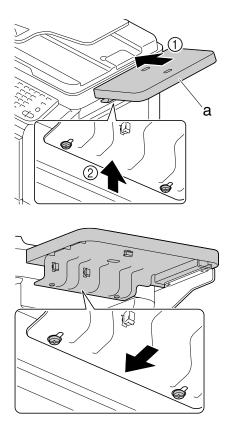
7 電源ケーブルを接続し、本機の電源を入れます。

8 装着したトレイがプリンタードライバーで正しく認識されていることを確認します。

正しく認識されていない場合は、「プリンタードライバーの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.176）を参照し、手動でオプション認識を行ってください。

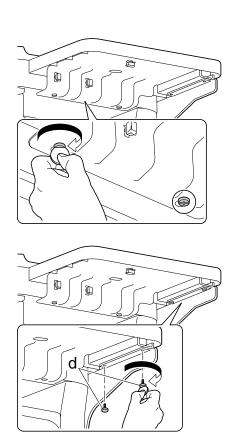
ワーキングテーブル WT-P01 の取り付け

キットの構成

ワーキングテーブル

取り付けプレート

ワーキングテーブル WT-P01 の取り付け

1 取り付けプレートをネジで固定します。

2 本機側にネジを仮止めします。

3 ワーキングテーブルを取り付けます。

4 左右をネジで固定します。

認証装置（IC カードタイプ）

15

認証装置（IC カードタイプ）の使いかた

認証装置（IC カードタイプ）は、IC カードの読取りにより個人認証を行う「IC カード認証」のシステムです。ユーザー認証が設定されている本機で、本機へのログインやプリントジョブの印刷を IC カードによる認証で行うことができます。

認証装置を使用するためには、最初にユーザーのカード ID を本機に登録します。登録されたユーザーは、カード ID による認証で、本機へのログインやプリントジョブの印刷をすることができます。ここでは本機で必要な設定のしかた、ユーザー登録のしかた、認証によるログインについて説明します。

認証装置を使用中に USB ケーブルを抜かないでください。システムが不安定になる場合があります。
IC カードは、カード読取部から 40 mm 以内に近づけたまま放置しないでください。

本機の設定

本機には本体装置認証の形式でユーザー認証を設定する必要があります。
ユーザー認証の設定は、PageScope Web Connection で行います。

PageScope Web Connection の使いかたについて詳しくは「リファレンスガイド」をごらんください。

1 PageScope Web Connection の管理者モードで［セキュリティ］タブの［認証］-［一般設定］画面を開きます。

2 ［ユーザー認証］で［デバイス］を選択します。

3 ［適用］をクリックして設定します。

4 ［認証デバイス設定］の［一般設定］画面で［認証タイプ］と［IC カードタイプ］を選択します。

■ ［IC カードタイプ］は使用する IC カードの種類を指定します。

■ ［認証タイプ］は、登録後のログインのしかたを指定します。
［カード認証］: IC カードを置くだけでログインできます。
［カード認証 + パスワード］: IC カードを置き、パスワードを入力することでログインできます。

■ ログインのしかたについては、「本機へのログイン」(p.444) をごらんください。

「本機へのログイン」(p.444) をごらんください。

5 [適用] をクリックして設定します。

■ カードの機能設定画面が表示される場合は、必要に応じて設定してください。

6 PageScope Web Connection を終了します。

続いて、ユーザー登録を行います。

ユーザー登録のしかた

ユーザー登録は Data Administrator で行い、次の 2 つの方法があります。

■ 認証装置をコンピューターに接続し、Data Administrator を使用してユーザーとカードを同時に登録する

■ 認証装置を本機に接続し、Data Administrator であらかじめ登録したユーザーと IC カードの関連付けをする

Data Administrator で登録する

Data Administrator を使用するには、本機の設定後、セットアップを行います。セットアップは、認証装置の IC Card Driver（USB-Driver）をインストールし、次に Data Administrator IC Card Plugin をインストールするという手順を行います。

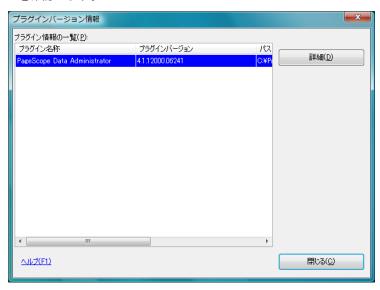
あらかじめコンピューターに Data Administrator V4.0 以降をインストールしておく必要があります。Data Administrator の動作環境やインストール手順については、Data Administrator のユーザーズガイドをごらんください。

インストールバージョンの確認

1 Data Administrator の［ヘルプ］メニューから［バージョン情報］を選択します。

バージョンが「3.x」の場合、このソフトは使用できません。
「4.x」をインストールしてください。
Data Administrator V3.x がインストールされている場合は、V4.x のインストール時に削除されます。

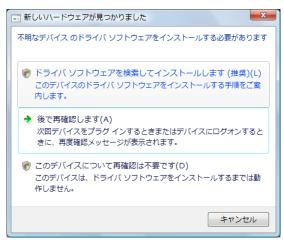
2 ［プラグインバージョン情報］をクリックします。

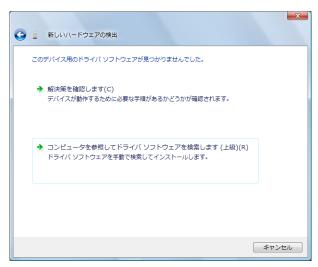
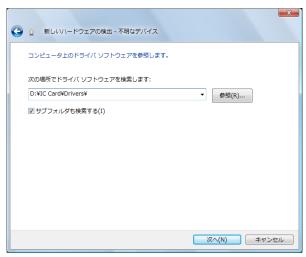
3 ［プラグイン情報の一覧］で、Data Administrator のプラグインバージョンを確認します。

– プラグインバージョンが「4.x」の場合、このソフトを使用できます。

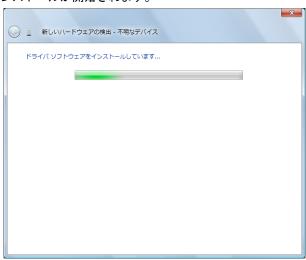
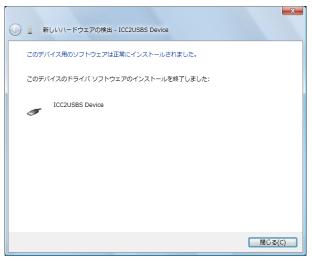
セットアップ

1 本機の主電源スイッチを OFF にし、本機から認証装置を取外します。

2 IC Card Driver（USB-Driver）をインストールします。
認証装置をコンピューターの USB ポートに接続します。
［新しいハードウェアが見つかりました］が表示されます。

3 ［ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）］を選択します。

4 認証装置に同梱されているアプリケーション CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

5 ［コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）］をクリックします。

6 ドライバーの検索場所がアプリケーションCD-ROMであることを確認して［次へ］をクリックします。

– ドライバーの検索場所がアプリケーションCD-ROMになっていない場合は、［参照］をクリックし、CD-ROM内のIC Card Driver（USB-Driver）フォルダーを選択して［OK］をクリックします。

– インストールが開始されます。

7 ［閉じる］をクリックします。

IC Card Driver（USB-Driver）のインストールが完了します。

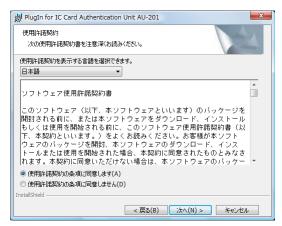
8 Data Administrator IC Card Plugin をインストールします。
アプリケーション CD-ROM 内の IC_Card_Plugin フォルダーを開き、setup.exe をクリックします。

9 言語を選択し、[OK] をクリックします。

インストールプログラムが起動します。

10 画面の指示にしたがってインストールを行います。

11 [次へ] をクリックします。

12 ［使用許諾契約の条項に同意します］を選択し、［次へ］をクリックします。

13 ［インストール］をクリックします。

14 ［完了］をクリックします。

Data Administrator IC Card Plugin のインストールが完了し、セットアップが完了します。

ユーザー登録

Data Administrator でユーザー登録するには、コンピューターと本機がネットワークで接続されている必要があります。

さらに Data Administrator でカード登録まで行うには、認証装置がコンピューターの USB ポートに接続されている必要があります。

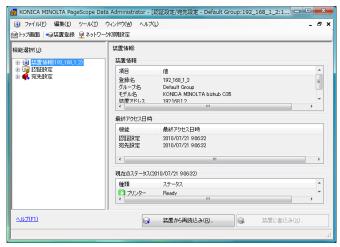
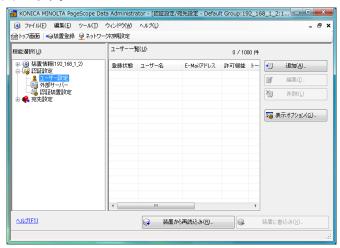
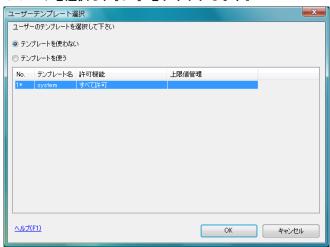
ユーザー登録時はカード ID のみ入力しておき、本機に接続された認証装置でカードを関連付けることもできます。

1 本機の主電源スイッチを ON にします。

2 Data Administrator でカード登録まで行う場合は、Data Administrator がインストールされたコンピューターの USB ポートに、認証装置を接続します。

認証装置と同一のポートに他の USB 機器を接続しないでください。USB パワーが供給不足になり正しく動作できなくなります。USB ハブを使用する場合は必ず 500 mA 以上の電力の供給できるセルフパワーの USB ハブを使用してください。
認証装置を接続後、5 秒以上経過してから操作を行ってください。

3 Data Administrator を起動させ、本機の装置情報を読込みます。
装置情報画面が表示されます。

– 装置情報の読込みについては、Data Administrator のユーザーズガイドをごらんください。

4 機能選択から［認証設定］－［ユーザー設定］を選択し、［追加］をクリックします。

5 テンプレートを選択し、[OK] をクリックします。

ユーザーの設定画面が表示されます。

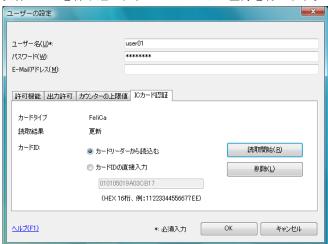
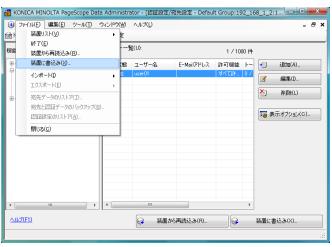
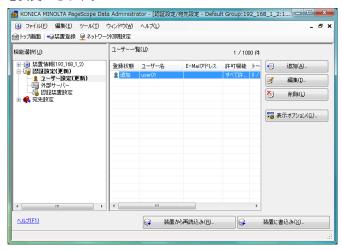
6 ユーザー名、パスワードを入力し、[IC カード認証] タブを選択します。

– 必要に応じて E-Mail アドレスなどを入力します。

7 認証装置に IC カードを置いて、[読取開始] をクリックします。

– Data Administrator でカード登録をせずに、本機に接続された認証装置でカードを関連付ける場合は、[カード ID の直接入力] をクリックし、登録ユーザーに対応するカードの ID 番号を入力します。

8 ［OK］をクリックします。

– 手順 4 〜 7 を繰り返し、すべてのユーザー登録を行います。

9 ［装置に書込み］をクリックします。

– ユーザー名を選択して［編集］をクリックすると、登録したデータを変更できます。

10 ［書込み］をクリックします。

– Data Administrator には一括コピー機能があり、認証装置の使用が設定された複数の本機に、登録したユーザーデータをまとめて設定することができます。

登録したユーザーデータが本機に設定されます。

11 [OK] をクリックします。

12 コンピューターに認証装置を接続した場合は取り外し、本機の電源をOFF にしてから認証装置を本機に接続します。

本機の電源スイッチを OFF/ON する場合は、主電源スイッチをOFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。
USB ケーブルの抜差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

ユーザー登録時にカード ID のみ入力した場合は、本機に接続された認証装置でカードを関連付けてください。

認証装置でカードを関連付ける

Data Administrator でユーザー登録とカード ID を登録した場合は、本機の管理者設定でユーザーとカードの関連付けが必要です。

1 本機操作パネルで [設定メニュー / カウンター] キーを押し、[管理者設定] 画面にします。

2 [認証設定] を押します。

3 [IC カード認証] を押します。

4 認証するユーザーを選択し、[OK] を押します。

■ [All] を押すと、全ユーザーが表示されます。[検索] を押すとユーザーを検索できます。

5 [Edit] を押します。

■ 作業を中止する場合は [Delete] を押します。

6 IC カードを認証装置の上に置き、[OK] を押します。

■ IC カードとユーザーが対応され、登録されます。

本機へのログイン

IC カードによる認証で、本機にログインする方法を説明します。

- IC カードで認証を行う場合は、あらかじめ IC カードに記録された情報を登録しておいてください。
- 認証の失敗が多く発生する場合は、正しく IC カードの情報が登録されていない可能性があります。IC カードの情報を登録しなおしてください。
- ［認証タイプ］が［カード認証］の場合は、IC カードを置くだけで認証されます。［カード認証 + パスワード認証］の場合は、IC カードを置き、［パスワード］を入力することで認証されます。
- 認証装置を使用せず、［ユーザー名］と［パスワード］を入力して［ログイン］する場合は、［本体認証］を押してください。

［カード認証］が設定されている場合

1 ［カード認証］を押します。

IC カード認証で認証 & プリント機能を利用する場合、必要に応じて［印刷開始］または［基本画面へ］を選択します。「認証 & プリント」について詳しくは、「認証 & プリント」（p.222）をごらんください。

2 IC カードを認証装置の上に置きます。

［カード認証 + パスワード認証］が設定されている場合

1 ［カード認証］を押します。

IC カード認証で認証 & プリント機能を利用する場合、必要に応じて［印刷開始］または［基本画面へ］を選択します。「認証 & プリント」について詳しくは、「認証 & プリント」（p.222）をごらんください。

2 IC カードを認証装置の上に置きます。

3 ［パスワード］を押し、パスワードを入力します。

4 ［ログイン］を押します。

技術仕様

本体

形式	フラットベット・ADF・プリンター一体卓上型
印字方式	半導体レーザービーム走査 + 乾式電子写真方式
露光方式	4 ビームレーザーダイオード + ポリゴンミラー
現像方式	乾式 1 成分 SMT 現像方式
解像度	コピー読み取り： 600 dpi × 600 dpi、600 dpi × 300 dpi、 300 dpi × 300 dpi （モノクロコピーで ADF 使用時のみ） コピー出力：600 dpi × 600 dpi スキャン読み取り： 600 dpi × 600 dpi、600 dpi × 1200 dpi、 600 dpi × 300 dpi プリント出力：600 dpi × 600 dpi
ファーストプリント時間	片面 モノクロ／フルカラー： 12.9 秒以内（普通紙で A4 の場合）
プリント速度	片面 モノクロ／フルカラー： 30.0 枚／分（普通紙で A4 の場合） 15.0 枚／分（厚紙で A4 の場合）） 両面 モノクロ／フルカラー： 30.0 面／分（普通紙で A4 の場合）
原稿	原稿種類：シート、ブック（見開き）、立体物 最大原稿サイズ：A4 またはリーガル 最大積載量：3 kg

用紙サイズ	トレイ 1（手差しトレイ）/2 幅：92 ～ 216 mm 長さ：148 ～ 356 mm 封筒 DL（幅：220 mm）は例外としてトレイ 1 で印刷可能です。 トレイ 3/4（オプション） B5（JIS）～リーガル 両面印刷 幅：182 ～ 216 mm 長さ：254 ～ 356 mm
用紙種類	• 普通紙（60 ～ 90 g/m^2） • 再生紙（60 ～ 90 g/m^2） • 封筒 • 厚紙 1（91 ～ 150 g/m^2） • 厚紙 2（151 ～ 210 g/m^2） • はがき • レターヘッド • ラベル紙 • 光沢紙 1（100 ～ 128 g/m^2） • 光沢紙 2（129 ～ 158 g/m^2） • 両面不可紙（60 ～ 90 g/m^2） • 特殊紙（60 ～ 90 g/m^2）
給紙容量	トレイ 1（手差しトレイ） 普通紙、再生紙、両面不可紙、特殊紙：100 枚 封筒：10 枚 ラベル紙、はがき、厚紙 1、厚紙 2、光沢紙 1、光沢紙 2、レターヘッド：20 枚 トレイ 2 普通紙、再生紙、両面不可紙、特殊紙：250 枚 ラベル紙、はがき、厚紙 1、厚紙 2、光沢紙 1、光沢紙 2、レターヘッド：20 枚 トレイ 3/4（オプション） 普通紙、再生紙、両面不可紙、特殊紙：500 枚
排紙容量	排紙トレイ：250 枚（普通紙：80 g/m^2）
動作時の温度	10 ～ 30°C（温度勾配 10°C/h 以下）

動作時の湿度	15 ～ 85%（湿度勾配 10%/h 以下）
電源	100 V、50 ～ 60 Hz
消費電力	最大消費電力：1200 W 以下 節電モード時：34 W 以下 電源オフ時：0 W
電流	12.8 A 以下
ウォームアップ時間	平均 45 秒（室温 23 ℃、湿度 65%で電源オンから印刷可になるまでに要する時間）
ノイズレベル	印刷時：55 dB 以下 スタンバイ時：39 dB 以下
外形寸法	高さ：550 mm 幅：530 mm 奥行：508 mm 一部突起および手差しトレイを除く
質量	約 34.6 kg（消耗品を含まず） 約 39.0 kg（消耗品を含む）
インターフェース	USB 2.0（High Speed）準拠、10 Base-T/100 Base-TX/1000 Base-T イーサネット、Host USB（USB メモリープリント /Scan to USB メモリー）
メモリー	1536 MB
ハードディスク	120 GB
機械寿命	400,000 ページまたは 5 年のいずれか早い方

消耗品の寿命の目安

消耗品	平均の寿命の目安
トナーカートリッジ	製品に付属のトナーカートリッジ： 約 2,000 ページ 交換用トナーカートリッジ： 約 4,000 ページ 交換用トナーカートリッジ（大容量）： 約 6,000 ページ 上記の数値は、ISO/IEC 19798 準拠の標準データを連続印刷した場合の印刷可能枚数です。 間欠的な印刷で使用する場合、トナーカートリッジの寿命は短くなります。
イメージングユニット	約 30,000 ページ（連続印刷） 約 20,000 ページ（2 ページ / ジョブ）
廃トナーボトル WB-P03	約 36,000 ページ（モノクロ）（2 ページ / ジョブ） 約 9,000 ページ（フルカラー）（2 ページ / ジョブ） 上記の数値は、ISO/IEC 19798 準拠の標準データを連続印刷した場合の印刷可能枚数です。
転写ローラー TF-P04	約 100,000 ページ（2 ページ / ジョブ）
転写ベルトユニット TF-P05	約 100,000 ページ（2 ページ / ジョブ）
定着ユニット FU-P02	約 100,000 ページ（2 ページ / ジョブ）

上記の数値は、A4 ／レターサイズの用紙を使用した片面印刷時の数値です。
実際の寿命は、印刷条件（印字率、用紙サイズ等）や、連続印刷（平均 4 ページのプリントジョブが消耗品には最良です）か間欠的な印刷（1 ページのプリントジョブを複数回印刷する場合）かなどの印刷方法の違い、厚紙印刷など使用する用紙種類によって異なります（短くなります）。また、周囲の気温や湿度も影響します。

カラープリンターでは、モノクロ印刷・カラー印刷に関わらず、本体の電源オン／オフに伴う初期化動作やプリント品質保持のための自動調整動作時に、すべてのトナーが微量に消費されます。
モノクロ印刷でご使用になられた場合でもカラートナーを消費し、交換が必要になります。

定期交換部品の寿命の目安

定期交換部品	平均の寿命の目安
給紙ローラー	約 300,000 ページ

国際エネルギースタープログラム対応について

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

エコマークについて

本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通して環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。

エコマーク認定番号　第 07 122 019 号
bizhub C35 は、「エコマーク事務局認定・環境保全型商品」です。

索引

I

P

あ

い

お

か

ら

り

れ

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名

電話番号

担当部門

担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。　**http://bj.konicaminolta.jp**

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号　フリーダイヤル：0120-805039（受付時間 ： 土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）